

地方史情報 100

2010年12月

「地方史情報」100号まで 100号から

お陰様で本誌「地方史情報」は本号で100号になった。思えば、名著出版の「歴史手帖」終刊をうけて、そこに連載されていた「地方史雑誌文献目録」のあとを引く継ぐべく本誌を1997年に創刊してから、13年で100号。当初は年に10回、最近は年に6回のペースで刊行してきた。ページ数も32頁であったのが、情報量の増加と発行頻度の減少とによって、寄贈雑誌を紹介しきれなくなって、通常64頁に、そしてこの100号は記念号として96頁(234誌327冊)になった。それでもなお、本誌への掲載が半年遅れになっている。これだけの雑誌を寄贈していただいても、実際に全国各地で発行されている研究雑誌の半分にも満たないであろう。

それは、本誌のデータをもとにした『地方史文献年鑑』をみていただければよく判る。その年鑑も、1999年に「1997年版」を出してから今年の「2009年版」まで、13冊を出すまでになった。本誌に掲載されている雑誌を地域別にみると、東京から遠くなるほど少なくなっているのが判る。『年鑑2009』によると、沖縄県で発行している雑誌は57誌を数えるが、そのうち岩田書院に継続的に送られてくる雑誌は僅か4誌にすぎない。そもそも本誌のことを知らない研究団体のほうが多いだろう。お互いに、それぞれの活動の状況がつかめていない。

一般的に会の活動は、研究会や見学会の実施と、会報・会誌の発行という2つの面がある。会誌を発行していないが、細々とでも活動を継続している会もあると思う。おこがましいが、できれば、そういった草の根の活動をすくいあげたい。そのためには、自分たちで記録を残しておく必要がある。たった1枚の会報でもいいから、1年に1回でもいいから、形にしておこう。個人でやることであれば、インターネットを利用してブログで書けばいいのかもしれないが、ひとりではなくて、みんなでやる。たとえひとりであっても、それに協力してくれる人たちがいる。それを形にしてほしい。そして、他の地域でも同じような気持ちで会誌を出し続けている人たちがいるのだ、ということを知ってほしい。それが持続するための力になるのだから。そのためには、会報・会誌を地元の図書館や国立国会図書館に寄贈しておいてほしい。できれば岩田書院にも送ってほしい。自分たちのために、そしてみんなのために。

電子化・情報化といわれる時代に、紙媒体で発行し続けるということは、かなりの覚悟を要することではあるが、実際にモノとして目に見える状態で提供しているからこそ、雑誌というモノや情報が集まってくる、というのは確かである。そのためにも、皆様の協力が得られるかぎり、「地方史情報」を継続していきたいと思っています。今後ともご支援くださいますよう、お願い申し上げます。(岩田書院 岩田 博)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒061-1448北海道恵庭市相生町179-5 ハウスオブ恵庭105 渡辺隆方 TEL0123-34-2130 / 〒062-0007札幌市豊平区美園七条1丁目3-1-507 高木崇世芝方 TEL011-821-2831 年5000円

◇39 2010.4 B5 4p

第14回アイヌ語地名研究大会の計画案／第1回アイヌ語地名サロンが開催される

アイヌ語・アイヌ語地名関連論文集／『続・羅臼町の地名について』編集・発行 羅臼町郷土資料室／『知里真志保 人と学問』北方研究教育センター編・北海道大学出版会発行

図書・会誌・会報・論文などの紹介

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11 TEL011-761-8014

◇47 2010.4 B5 63p 1000円

巻頭言 三十七兵村のつながり 後藤 良二
和田屯田兵村特集 後編

和田屯田被服庫の保存 関川 修司

郷土学習資料の発行について

北海道を開墾した侍たち 宿村 行雄

ペリー艦隊、箱館を揺るがす 奥田 静夫

屯田兵村公有地財産をめぐって(5)

公有地全てを稲作に投じた兵村

河野 民雄

「北鎮記念館」の紹介 平塚 清隆

屯田兵中隊本部／その他

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111
www.i0.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇319 2010.5 B4 4p

特別史跡五稜郭跡に函館奉行所を

復元 函館市教育委員会文化財課

上ノ国町・江差町の歴史・文化財

めぐり—よみがえる中世の城

館、江戸にもない北の賑わいを

訪ねて

道指定有形文化財の指定 大乘妙

典—千部供養塔／知里幸恵ノー

ト

マキシモヴィチと宮部金吾 舟山 廣治

22年度第1回役員会／札幌市で通

常総会／若葉かおる北大構内散

策のあとサッポロビール園で交

流会

博物館物語(9) 江別市「江別市

郷土資料館」「郷土資料は市民

の財産 先人の労苦から学び、

伝えたい」 石垣 秀人

各団体の活動(9) 美深町「甕れ

鉄路、後世へ伝えよう、鉄道遺

産」—NPO法人トロッコ王国

の活動 三宅 健吾

地域の団体活動 歌志内市郷土館

を支えるボランティア「ゆめつ

むぎ通信員」

紋別、アイヌ古式舞踊の宴 山田 雅也

◇320 2010.7 B4 4p

札幌で通常総会

総会を終えて 舟山 廣治

平成22年度の世界文化遺産登録推

進事業について 北海道教育庁生涯学習推

進局文化・スポーツ課

道内文化財めぐり—小樽の歴史的

建造物を訪ねて

工藤欣弥さんを偲んで 竹田 輝雄

産業遺産 函館市の産業遺産(3)

函館市漁港と函館どっくの第1

号ドライブドック 富岡由夫／山田大隆

近代化遺産の中の博物館 小樽市

総合博物館 本館・運河館 石川 直章

各団体の活動(10) 登別市 知里

真志保を語る会—登別を中心に

アイヌ文化の啓蒙 小坂 博宣

地域の団体活動 新しい利尻麒麟

獅子の頭が舞う 西谷 榮治

地域の団体活動 文化財を活用し

た地域づくり—「旧上藻別駅通

所」が国土交通大臣賞を受賞 山田 雅也

博物館物語(10) 博物館網走監獄

—文化財保存のための取り組み

今野 久代

読者の声 地域の活動・読者の声

／会員の書籍紹介

◆北海道地域文化研究 北海道地域文化学会

〒004-8631札幌市厚別区大谷地西2-3-1

北星学園大学 高橋克依研究室気付

◇1 2009.3 A4 58p

優良観光イベントによる外国人観

光客の誘致促進に関する研究—

さっぽろ雪まつりにおける台湾

人観光客の満足度に関する調査

を中心に 黄 仕豪

観光地の魅力向上に果たすフィル

ム・コミッションの役割と地域

連携 齊藤 郷華

北海道における医療システムの人

類学的研究—岩見沢市美流渡を

事例として 小西 信義

地域の形成と宗教施設—札幌・厚

別地域を事例として 細川 健裕

利尻島の生活史から見えるもの

島の未来へ 因幡の麒麟獅子の

発見調査と獅子舞の復活 西谷 榮治

地誌学からみた北海道のイメージ

の変遷 山下 克彦

北海道移民の展開—北海道移民史

研究の現状から 桑原 真人

北海道厚岸郡厚岸町糸魚沢の「厚

岸かぐら」について 車塚 洋

◇2 2010.3 A4 71p

講演記録 北海道地域文化が問

われること 大濱 徹也

美流渡の友子—お互いの「健康」

を気にする規範の仮定要因とし

て 小西 信義

アイヌ民族の伝承における八王子

千人同心 古川 寛武

コミュニティにおける日常生活

Risk 対処—地域再生プロジェ

クトからの一考察 長谷川武史

北海道の祭りとイベント

—観光振興の視点 森 雅人

森に生きる(1)~(7) 脇 昇

「書簡からみた宮部金吾」の講演

を聞いて 卜部 信臣

書評・紹介

高橋克依『篠路村烈々布素人芝

居』響文社 阿部 敏夫

北見市立留辺薬小学校『昔の暮

らしを学ぼう』を編集して 戸部 千春



* 巻頭文も編集後記も付いていないので、創刊の趣旨の詳細は本誌からでは分からないが、北星学園大学の研究室に事務局を置き、札幌国際大学、札幌大学、北海道大学などの比較的若い研究者や、北海道開拓の村、利尻町立博物館、厚岸町海事記念館等の地域博物館の学芸員・職員による研究団体と思われる。収録された論考は、例えば、「北海道における医療システムの人類学的研究」や「地誌学からみた北海道のイメージの変遷」のように、大きく意欲的なテーマが並ぶが、紙幅の関係もあってか、いずれも序論あるいは問題提起に止まっている。広大で形成形態も異なる北海道全域を一つの地域として捉えることには困難もあろうかと思うが、地域、テーマ相互の関係性の中で研究が進展することを願うものである。

◆北海道れきけん 北海道歴史研究会

〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12
田中貢方 TEL011-667-2137
homepage3.nifty.com/tm3053/

◇73 2010.6 B5 8p

「新」という字に思う 田中 貢
アイヌを訪ねて(1)
—松林哲五郎の旅日記より 久々湊昭三
平成22年度定期総会を開く

◆岩手の古文書 岩手古文書学会

〒020-0805岩手県盛岡市東新庄1-14-4 佐々木和夫方 TEL019-624-1850 1987年創刊

◇24 2010.3 A4 104p 3000円

巻頭言 近江商人来盛四百年記念行事に参加して 森 ノブ
森嘉兵衛資料集「東奥古傳」 白根 光久
岩動家に残る古医療本 佐々木淑子
阿部千秋「日記」(5) 千田千鶴子
白虎隊の扁額(漢詩)について 藤澤久五郎
藩境における御境古人が伝える心得書 小野 祐貴
星川正甫の『郷村私説』について 第二部 小川 桂史
評伝 那珂梧楼(下) 高野豊四郎
書評 箱石祐一著『小楢山の系譜を探る』 菊池 正則
上杉の城下町を訪ねて 小瀬川理子
「天地人博」上杉の城下町米沢を訪ねて 瀧澤 定美
学会記事
吉田大肝煎文書(24) (明和二年) 寛政元年 日用書留帳(9)
村井茂右衛門
「楢山佐渡」書状(3)

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会

〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688

◇237 2010.5 B5 8p

始源の眼 武田 牧雄
二戸市の文化財保護行政 鳩岡 矩雄
地域住民とめざす世界遺産 高田 和徳
鹿踊に魅せられて 小関 新喜
県立博物館は地域の宝箱 大河原伸一
今、古文書が面白い 木村 良夫
続平泉志(1) 及川 和哉
愛護協会総会 8月1日、県民会館

で青少年フェス／6月の現地研修は黒石寺と正法寺で

◇238 2010.7 B5 8p

平泉を訪れて 錦 泰司
これからの文化施設—その側面 池田 克典
平泉藤原氏の歴史・文化と一関 藤堂 隆則
遠野市立博物館
リニューアルオープン 長谷川 浩
門中組虎舞の歩み 新沼 利雄
さまざまな「しし」と「とら」が出演 究極のワザも披露／事業と予算決まる 県民俗芸能協議会
続平泉志(2) 柳之御所 及川 和哉
正法寺と黒石寺 現地訪ね研修会
6月の郷土史学習会／文化財行政研修に14人

◆ホツマ ホツマ研究会

〒020-0026岩手県盛岡市開運橋通3-35-201
TEL019-653-5554 年3000円

◇64 2010.4 A5 6p

誌上討論 千葉富三大兄編著『甦る古代「日本の誕生」』の疑問点について 小野寺白龍
筑紫繁栄の基を築いた業績と「はしきよし」の奥深さについて 千葉 富三
新企画「合同ホツマ研究会」大会

◆キリスト教文化研究所研究年報

宮城学院女子大学キリスト教文化研究所
〒981-0961仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1
TEL022-277-6210

◇43 2010.3 A5 169+66p

〈文章以前〉からの抒情
—『鶴』論 九里 順子
地誌考証と偽書批判—相原友直

『平泉雑記』の義経蝦夷渡り説比定論を中心に 菊池 勇夫
紀元二千六百年と二校の奉安殿 大平 聡
ポーゼン州のユダヤ教徒の法的地位(1815～1845)に関する一考察 ポーゼン州議会における議論と1833年の暫定規定から 割田 聖史
日本史に対する興味・関心を高めるにはどうするか—大河ドラマを切り口として 丸山 仁
神認識の言説
—『雷・完全なる心』の場合 新免 貢
「三すくみ」の美学、あるいは趣味・経済・批評—美術史家の立場から 森 雅彦

◆国史談話会雑誌 東北大学国史談話会

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1
東北大学文学研究科日本史研究室気付
TEL022-795-6064 1957年創刊
www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/

◇50 2010.3 A5 368p

《今泉隆雄先生退任記念号》
序 大藤 修
川原寺の瓦当范の移動と造営寺院 小笠原好彦
列島北部日本海沿岸地域における律令的支配の特質 渡部 育子
不改常典試論 中野渡俊治
日本古代の浪人に関する基礎的考察 岡崎 玲子
古代陸奥国の「名取以南一十四郡」と多賀・階上二郡の権置 佐々木茂楨
徳政相論と桓武天皇 鈴木 拓也
東山御文庫卷子本『続日本後紀』の独自条文について 鹿内 浩胤
9世紀前半における奥羽北部の城柵 樋口 知志

元慶の乱の「史闕」記事をめぐって 熊谷 公男
 平安時代の徭丁と徭田—色役・雑徭制度変質に関する一考察 永田 英明
 「外記の家」の年中行事書 遠藤 基郎
 安東氏の津軽退去について 古内 龍夫
 名島城の成立過程とその歴史的意義 丸山 雍成
 スペインの対日戦略と家康・政宗の外交 平川 新
 水害と村替
 —奥州守山藩木賊田村の事例 柳田 春子
 寛政7年、郡奉行再設置以前の秋田藩境口番所 渡辺 英夫
 さむらい達の天保飢饉—仙台藩の天保4・5年飢饉と藩士・藩官僚 佐藤 大介
 盟神探湯の源流再考 山田 仁史
 霊場と祈り—モリ供養を中心に 伊藤 清郎
 紹介 今泉隆雄先生還暦記念論文集『杜都古代史論叢』 佐藤 和道
 思い出 今泉隆雄先生との思い出(会員による)
 同窓通信 国史談話会大会記事・会員通信・研究室ノート
 今泉隆雄先生年譜並びに著作目録

◆仙臺文化往来 『仙臺文化』編集室
 〒982-0021仙台市太白区緑ヶ丘1-19-6
 渡邊慎也方 TEL022-249-6530 2005年創刊
 ◇10 2010.5 A4 8p
 子どもたちも楽しんだ“番ぶら” 渡邊 慎也
 “地下水流”脈々
 いま仙台でなにが…(8) 渡邊 慎也
 納所辨次郎の出生地について
 失われた風致地区の美林 渡邊 慎也
 記録は語る“美林消滅”
 会員往来／アンケートから

◆歴史 東北史学会
 〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学文学部 日本史研究室 TEL022-217-6064
 年4000円 1949年創刊 www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/
 ◇114 2010.4 A5 174p 2100円
 九州島の細石刃文化研究における方法論上の問題—特に編年と型式の関係を巡って 村田 弘之
 東晋の哀帝と皇統継承問題 三田 辰彦
 天保期、高抜地をめぐる地域社会と権力—羽州村山郷松橋村上組を事例として 森谷 圓人
 戦前期における地方都市百貨店とその影響 加藤 諭
 米内光政内閣期の政策・新聞・陸軍 手嶋 泰伸
 書評
 中川学著『近世の死と政治文化—鳴物停止と穢—』 片岡 耕平
 平川新著『全集 日本の歴史 第一二巻 開国への道』 武井 弘一
 今野日出晴著『歴史学と歴史教育の構図』を読む 太平 聡
 大会記事

◆秋田歴研協会誌
 秋田県歴史研究者・研究団体協議会
 〒010-1341秋田市雄和新波本屋敷90
 工藤一紘方 TEL018-887-2007 1996年創刊
 akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html
 ◇43 2010.4 B5 18p
 会長就任挨拶 更なる御協力を 塩谷 順耳
 特集 加入団体の現況 事務局
 用語解説 借知、差上高・指上高、半知、四六 半田 和彦
 歴史情報
 異色の歴史家・太田實を悼む—

「歴史小説」への取組みなど 田口勝一郎
 平成21年度 第2回秋田県公文書館懇話会 渡辺 英夫
 「玉米郷三拾六歌」の保存を願って 佐藤晃之輔
 百寿翁の健筆をことほぐ
 —神宮寺細谷宗家純一氏 神宮 滋
 秋田歴研協のホームページについて 高本明博／高橋一倫
 文献情報／催しもの情報

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会
 〒011-0909秋田市寺内兎桜1-5-55
 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
 w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
 ◇70 2010.5 B5 16p
 『秋田風俗問答答』と菅江真澄—真澄の知識がどのようにに生かされたか 田口 昌樹
 真澄の一枚(2)
 象潟からの鳥海山のながめ 菊地 利雄
 「久保田居住の文人・真澄」新野直吉氏 田口 昌樹
 「浦の虎子ものがたり」を上演
 浦城の歴史を伝える会 田口 昌樹
 白井秀超と白井幾代(世)二は同一人 田口 昌樹
 図書紹介 『真澄研究』第14号
 秋田県立博物館／『安永稔和詩集 ひかりの抱擁』安永稔和著／『真澄学』第5号 真澄学編集委員会 田口 昌樹
 真澄短信
 山の民俗 鍵懸と花立 田口 昌樹

◆季刊東北学
 東北芸術工科大学東北文化研究センター(発売：柏書房) 〒990-9530山形県山形市

上桜田3-4-5 TEL023-627-2168 年10000円
 gs.tuad.ac.jp/tobunken/
 ◇23 2010.5 A5 271p 2000円
 『特集 遠野物語百年』
 開かれた〈野の学〉—遠野物語・郷土研究・一国民俗学 永池 健二
 『後狩飼記』『遠野物語』と坪井民俗学 小川 直之
 『後狩飼記』から『遠野物語』への道行き—柳田民俗学の豊饒と不幸 川野 和昭
 『遠野物語』のオシラサマ 内藤 正敏
 明治43年の『遠野物語』
 —奇妙な「作者」の誕生 川野 里子
 『遠野物語』からみた童話のありかたについて 河合 俊雄
 『遠野物語』と心理療法
 —異界につながる物語の魅力 岩宮 恵子
 遠野物語にみる動物観
 —一人からの距離 三浦 佑之
 『遠野物語』に描かれた自然と人間 今石みぎわ
 柳田国男のスイス
 —山、川、そして郊外 岡村 民夫
 狩猟文化研究、その百年の孤独 田口 洋美
 「国日記」にみる弘前藩の漁師
 —『後狩飼記』を起点にして 村上 一馬
 済州島の民俗(23) 小麦作の東と西—生業民俗論(16) 高 光敏
 東シナ海の古層(3) わたしは毎晩泣いている—(平島放送記録)を読む(3) 稲垣 尚友
 あの頃のこと(3) 女友達(2) 金 利恵
 モノから見る韓国(8) スジヨ 李 恵燕
 〈内省の学〉の再生に向けて(書評) 川森 博司
 手書きの温もりで研究の原点を(書評) 村井 吉敬

連載・写真曼荼羅(6)

遠野物語の風景 内藤 正敏

◆庄内民俗 庄内民俗学会

〒997-0036山形県鶴岡市家中新町10-18
致道博物館内 TEL0235-22-1199

◇35 2010.5 A5 96p

〈戸川安章・清野久雄両先生を偲ぶ〉

はじめに 犬塚 幹士

庄内民俗学会「ことはじめ」と戸

川安章先生 岡田 照子

ありし日の清野久雄先生

清野久雄先生の略歴・著作目録 清野 誠

清野久雄先生を偲ぶ 犬塚 幹士

清野久雄先生を偲んで 高野 栄成

清野久雄先生を偲ぶ 後藤 義治

「千貫長者」(庄内の昔話)から学

ぶ—黎明期の日本昔話研究の資

料として 佐藤 玄祐

西覚寺田植踊を見学して 梅木 壽雄

山の民間信仰 後藤 義治

コラム 資料紹介「木造天部立像」

矢馳の「お庚申さま」に学ぶ 塩野 俊恭

コラム 資料紹介「描かれた猿子渡り図」

荷渡信仰はなぜ庄内地方にないの

か 伊藤 登啓



何でも背負えるバンドリ 渡辺 幸任

山岳信仰と空海 難波 耕司

*平成18年に100歳をもって亡くなられた戸川安章氏と、翌19年に後を追うように97歳で亡くなられた清野久雄氏を偲ぶ。

戸川氏についてはすでに先号で追悼号が組まれており、本号では戸川氏と共に昭和25年の庄内民俗学会創立の発起人であった岡田照子氏(現伊勢民俗学会会長)が、戸川氏の戦前の歩みや柳田国男との出会い、発起人会の様子などを振り返る。冒頭、昭和57年に「庄内民俗 復刻合本」を刊行した際に、戸川氏が「この1冊は過去をふりかえるために出したのではない」と序文に書いたことを紹介しているのは印象的である。

一方の清野氏も創立発起人の一人である。明治44年に山形県狩川村(現立川町)に生まれ、県立酒田中学校から國學院大學に進み、江の島神社に勤めた後帰郷し、出羽三山神社や地元の中学校に勤めた。昔話の収集や町の文化財調査に尽力した。収録された著作目録によれば、『庄内昔話集(全国昔話集成37)』(岩崎美術社、昭和59年)をはじめとする著書、共著、論文掲載書は13冊、雑誌掲載論文は85点に上る。戸川氏同様に戦前に柳田や、折口信夫との出会いが民俗研究に取り組む大きなきっかけになったものと思われる。

まさに双頭の星が落ちたという感がある。もってご冥福をお祈りする次第である。

◆聴雪 新庄古文書の会

〒996-0084新庄市大手町2-65
大場英一方 TEL0233-23-2786

◇14 2010.6 B5 99p

巻頭言 戯去戯来 沓澤 正昭

特別寄稿 真木村辰之助一家出奔

一件について 大友 義助

入門講座の学習

佐藤茂平文書「御祭禮帳」

解説 伊藤 勉

正野家文書「新庄寿永軒見聞集」

(1) 解説 大泉 友子

中級講座の学習

峯金太郎収集文書「塵寰録」

解説 土屋 道郎

荒木家文書「此度鄉村取扱別而

被仰出書 并惣御代官中所存

之趣申付帳」

解説 新國 吉朗

角沢楯にまつわること 大場 英一

川船諸色運賃扣 武田 清夫

新庄駅(奥羽南線)開業を前にして

富田 允雄

清水町日本陣絵図をながめて 矢口 實

大蔵村清水「あらがね」歌碑の裏

面を読む 矢口 實

最上義光家臣団とその陣立て 八嶽 清一

古代秋田への旅 土屋 道郎

紙魚の日向ぼっこ 早坂 誠

新庄古文書の会「会務報告」



◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報

〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299

◇176 2010.4 B5 12p

キリシタン「池黒村 美濃」の痕

跡を尋ねて(上) 須崎 寛二

米沢藩の山林政策及び入会地の問

題—第196回学習会から

北条郷の金山—第197回学習会から

宮内の賑わいと小滝街道—第198

回学習会から

赤場宿駅の伝馬数と「馬士」 須崎 寛二

◆まんだら 東北文化友の会会報

東北芸術工科大学東北文化研究センター

〒990-9530山形市上桜田3-4-5

TEL023-627-2168 年10000円

gs.tuad.ac.jp/tobunken/

◇43 2010.5 B5 64p

《特集『遠野物語』100年に寄せて》

東北ルネサンス・プロジェクト

in 仙台 赤坂憲雄対論「東北・

知の系譜」『遠野物語』を語る

山折哲雄/小池光/赤坂憲雄

遠野からの声

遠野の魅力に光りをあてる 前川さおり

遠野物語100年までの歩み 小井口 有

地域へ—新しい波を訪ねる(3)

出会いを生きる人々『遠野物

語』100年の街を訪ねて 森 繁哉

特別寄稿 犬の宮伝説と秦氏

—東北部の開拓(下) 気野 春樹

リレーエッセイ「東北を撮る」

ドキュメント映画を志して 渡辺 智史

東北ルネサンス・プロジェクト

in 仙台 小説家・ライター講

座レポート

池上冬樹の東北文学雑感(3)

結城哀草果と大佛次郎の終戦 池上 冬樹

考古学者が映画を観ると(3)

夢と冒険の考古学 安斎 正人

会員の声(2) 食の思い出 会津

の農村の食風景 佐藤真理子
 特派員レポート(3)
 昭和の歌声—歌謡黎明期を支え
 た歌姫 早坂 実
 農家あっちの話、こっちの話 板野 暁
 東北の中の庄内を語る—庄内
 (鶴岡・酒田)地域学の発信 阿部 等
 地域誌だより(16)
 津軽弘前城築城400年 杉山 陸子
 佐々木喜善と山田野理夫 滝沢真喜子
 高成田享さんの『話のさかな』千葉 由香
 深まることも聞き書き 菅家 博昭
 表紙によせて
 —『遠野物語』の時代 内藤 正敏

◆村山民俗 村山民俗学会
 〒990-0821山形県山形市北町3-3-45
 市村幸夫方 TEL023-684-5708 年3000円
 www.chance.gaiax.com/home/imichiaki

◇24 2010.6 B5 91p
 東根市龍泉寺の「ムサカリ絵馬」
 奉納にみる絵師の関与 門口 実代
 「オナカマ」と呼ばれた瞽女 志賀 祐紀
 元城の田の神祭りの持続と変化—
 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内堀
 回字元城の事例 齊藤やよい
 春日の仏師とは何か 伊藤 登啓
 映像に描き出された韓国のムーダ
 ン 岩鼻 通明
 蛙の大助譚に語られる禁忌と祟り
 村田 弘

葉山信仰の諸相(3)
 —山形県外のハママ信仰 鈴木 聖雄
 近世後期の左沢天満宮祭礼とシシ
 踊り 菊地 和博
 〈山の神ライン〉と山形市街 蔵王
 熊野岳から巳亥線をたどる 大江 良松
 残された一枚の絵—S.Sekine「寺

川堰図」から歴史を読む 野口 一雄
 石塔から見る「相撲供養塔」
 —西置賜郡白鷹町を中心に 加藤 和徳
 肴町荒沢地藏 市村 幸夫
 会の歩み(2009年度)

◆福島県史料情報 (財)福島県文化振興事業団
 〒960-8116福島市春日町5-54 TEL024-534-
 9193 www.history-archives.fks.ed.jp

◇27 2010.5 A4 4p
 須賀川産馬会社(『大日本博覧絵』、
 佐藤健一家文書174号) 渡邊 智裕
 「松川合戦」論の問題(1) 本間 宏
 茂庭の生活誌(1) 小暮 伸之
 旧二本松藩士がみた文明開化 小暮 伸之
 発行され続けた「官報」 今野 徹
 福島県歴史資料館 平成22年度前
 半の行事予定

◆福島の民俗 福島県民俗学会
 〒963-8851福島県郡山市開成3-3-7
 開成館内 TEL024-923-2157 1973年創刊
 www.geocities.jp/fukushima-folklore/
 ◇38 2010.3 A5 99p
 2009年度公開講演 男性産婆にい
 た時代—わが国における近代出
 産文化史の再構築のために 板橋 春夫
 『会津農書』にみる馬の民俗 佐々木長生
 会津地方の鳥追い歌
 —悪口歌を中心に 後藤麻衣子
 二本松神社例大祭の「呼び起こし」
 行事考察 喜古 康浩
 二本松藩領内の宝暦型太鼓台の発
 生と文政二年型太鼓台への造り
 替え—福島県内の祭礼囃子の源
 流(12) 相原 達郎
 生活の中の「養兎」
 —昭和十年代の福島県にみる 渡部 恵一

『遠野物語』挿入図版についての
 考察 岩崎 真幸
 昭和初期の農村生活
 —玉川村小高区有文書より 岩谷 浩光
 愛宕花園神社の子育詣りについて
 吉田 博令

書評・書誌紹介 会津若松市史研
 究会(執筆 佐々木長生)『人の
 一生と暮らし—人生儀礼・民間
 信仰』会津若松市史25(会津若
 松市)／大須賀幹軒(校注 夏井
 芳徳)『磐城技藝家小傳』いわ
 き新書1(纂修堂)／夏井芳徳『じ
 ゃんがらじゃんがら』いわき新
 書2(纂修堂)／永井小学校PT
 A編(夏井芳徳校注)『永井の
 昔ばなし—ふるさとの民話と伝
 承』いわき新書3(纂修堂)

関 東

◆下妻の文化
 下妻市文化団体連絡協議会
 〒304-0067茨城県下妻市下妻乙349
 TEL0296-43-3418 1976年創刊

◇35 2010.5 A5 171p(抄)
 特別寄稿
 退任を迎えて 小倉 敏雄
 為桜学園 横倉 和夫
 私の先祖は北畠親房? 折戸喜美男
 下妻養護学校について 高野 恭一
 のぞみはるかに ゆたかなこ
 ろ 富岡 勉
 子どもの読書について 外山 一夫

随想編
 松本筑峯先生との思い出 粉川 孝
 回想 小島 亮
 社に伝わる梵鐘について 山内 光洋
 草笛の宿 外山 崇行

母校の歴史を訪ねて(2) 中島 成行
 膳波ノ江(8) 角田 惟也
 歌手になった娘 人見 健一
 記紀を読む・余話 島田 武男
 天童禅寺訪問 本橋 隆一
 慣行是正 栗原 忠夫
 やぶれ笠 出浦 智枝
 大町節分祭解説 大塚 武彦
 井上下妻藩上屋敷及び下屋敷跡
 の現況について 佐久間秀樹
 先生 鈴木 賢一
 今も夢に見る怖かった体験 千勝 弘巳
 野花に魅せられて 稲川 洋子
 将棋悠々(12) 鈴木 和順
 ドーナツ盤レコードの思い出 國府田 晋
 老いのつぶやき 神郡 あさ

報 告
 平成21年度“活動のあと” 各 団 体
 「武相荘」研修視察 横瀬 靖彦
 一年のあしあと 寺田 陽子

◆史 境 歴史人類学会
 〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
 筑波大学大学院人文社会科学研究所内
 TEL029-853-4403 1980年創刊

◇60 2010.3 A5 137p 2000円(抄)
 《学会創立30周年記念号》
 記念号に寄せて 明石 紀雄
 「史の境」の途半ばで 西澤 龍生
 〈シンポジウム「働き」と性差〉
 趣旨説明 シンポジウム「働き」
 と性差」のねらいと論点
 基調報告 男の働き・女の働き
 —労働・稼ご・生殖 波平恵美子
 パネル報告
 近代化の日独機業における〈女
 の労働〉〈男の労働〉 姫岡とし子
 小規模家族経営における女性の

働き—日本における織物業に
着目して 湯澤 規子
男性産婆の発見—助産分野にお
ける性差と働き 板橋 春夫
コメント 佐藤千登勢／徳丸亞木
日中戦争前期、湖北国統区にお
ける司法権の行使とその限界—戦
区検察官と県長の摩擦を手が
かりに 三橋 陽介
婚礼記録の継承—家における記録
の保有状況を手がかりに 門口 実代
太平洋戦争下の思想錬成教育例—
高等商船学校の戦時改革と道義
科教育 鈴木 健一
アーチ裁判所における離婚裁判史
料 赤松 淳子
書評
小森正明著『室町期東国社会と
寺社造営』 湯浅 治久
岩本真一著『超克の思想』 長尾 宗典
湯川洋司・古家信平・安室知編
『日本の民俗』全13巻 武井 基晃

◆長塚節の文学 長塚節研究会
〒300-2707茨城県常総市本石下4639
TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊
◇16 2010.4 A5 59p 1000円
長塚節の人物像—奥田稟之助・伊
藤景一の思い出から 桐原 光明
對州巖原港にて 長塚 節
子規と節と月ヶ瀬 橋本 俊明
幻生花と流線
—長塚節と石原八束の接合 成井 恵子
「蛆同様に哀れな百姓」 安田 暁男
月が瀬梅溪と名張乙女
—子規・花袋そして節 松野 高尚
追悼 糸さんを偲ぶ 河合 宏
節、夜雨の交流について 糸 正照

長塚節さんを悼む 糸 正照

◆水戸史学 水戸史学会
〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊
◇72 2010.6 A5 88p
楓巷余韻 歴史家としての菊池謙
二郎先生 名越 時正
大日本史叛臣伝の構成について 梶山 孝夫
「述而不作」といふこと 照沼 好文
水戸藩と宝蔵院流十文字槍術につ
いて 松井 典夫
水戸史学に於ける景行・成務天皇
御事績の研究 堀井 純二
義公の足跡を訪ねて(19) 住谷 光一

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
◇75 2010.4 A4 4p
《特集 古文書入門講座》
黒羽芭蕉の館古文書入門講座の十
年間 新井 敦史
栃木県立文書館古文書研修会につ
いて 月井 剛
古文書・古典籍を読む(14)
二宮尊徳直筆日記 船木 明夫
新刊紹介
柏村祐司編著『栗山の昔話』 宮田 妙子

◆ぐんま地域文化 助群馬地域文化振興会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
◇34 2010.5 B5 40p
《旧新田・尾島町地域特集》
歴史を掘る 上丹生屋敷山遺跡出
土 鉄鋌 永井 尚寿
群馬のエスペラント運動 田所作太郎

第17回 石川薫記念地域文化賞
発掘情報 笠松遺跡 長谷川博幸
図録 ぐんまの文化財 新田荘歴
史資料館と縁切寺満徳寺資料館
穴原 雅己

ぐんまの歴史入門講座
第110講
東山道駅路と周辺の遺跡 小宮 俊久
第111講 中世世良田環濠集落 須永 光一
第112講 日光例幣使道 木崎宿
の素描 野澤 時次
第113講 中島知久平邸 島田 孝雄
第114講 新田・尾島地区の石造
文化財 石造物の見方(23) 秋池 武
古文書解読入門講座(21)—古文書
から歴史を読む 上野・武蔵両
国の国境争論—国境争論幕府裁
許絵図(貞享二年)を事例として
諏訪 和雄

座談会 ぐんまの戦後史を語る
群馬県の道路・橋梁建設事業(2)
内山道美／山本肇／山口敏夫
／武井上巳／矢嶋雅夫／岩崎
芳次／飯塚敬／山本世紀

ぐんまの地名
尾島の軽浜と石田川 澤口 宏
地域づくりと文化遺産 無形民俗
文化財(伝統芸能)の継承と地域
の活性化 宮田 毅
ぐんまのくらしと民俗 生品神社
の鎧矢祭と東照宮の御新始め式
正田 喜久

ぐんまの人物誌
毛呂権蔵・義郷 小此木實次
ぐんまの郷土芸能 太田市新田木
崎町の木崎音頭(節) 茂木 晃
研究・学習サークル活動紹介
新田荘史跡ガイドの会 青木 達郎

ぐんまの自然と風土 ぐんまの自
然と風土 湧水池に次々と侵入
する外来の水生植物 青木 雅夫

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立
文書館内 TEL027-221-2346 年4000円
members3.jcom.home.ne.jp/gunmabunka/
◇302 2010.4 A5 114p
随想
伝承・地名と中世史研究 久保田順一
県指定史跡造石法華経供養遺跡
津金澤吉茂

昭和20(1945)年2月16日・館林上
空の空戦を追って 菊池 実
富岡銀行の生糸荷為替—明治十年
代における生糸資金の流通 伊藤 克枝
名勝楽山園の保存整備
—雄川堰の水利用 小安 和順
《『群馬文化』300号記念 群馬地域文化シン
ポジウム「地域史研究の交流と未来」特集》
会長挨拶 石原 征明
基調講演 地方史研究の課題 竹内 誠
開催趣旨 群馬系地域文化研究協議会
報告
埼玉県における地域史研究の現
状 重田 正夫
長野県地方史学界の動向と信濃
史学会の活動 山浦 寿
栃木県史学界の現状と県歴史文
化研究会の活動 千田 孝明
群馬県地域文化研究協議会の活
動 宮崎 俊弥
パネルディスカッション
右島和夫／佐藤孝之
群馬地域文化シンポジウムに参加
して 佐藤 顕
シンポジウム「地域史研究の交流

と未来」に参加して 乾 賢太郎
 産業考古学会 2009年度総会及び
 研究大会(高崎)の報告 大島登志彦
 「シンポジウム 埴輪から上毛野・
 東国・畿内」報告 深澤 敦仁
 伊勢崎市阿弥陀古墳の調査成果 勢藤 力
 博物館・美術館めぐり
 群馬県立歴史博物館
 新刊紹介
 若狭徹著『もっと知りたい は
 にわの世界』 深澤 敦仁
 小山友孝著『歴史民俗研究—上
 州の風土と歴史—』 飯島 康夫
 大野高義著『僕の軍隊生活』 八木 啓次
 宮崎俊弥著『群馬県農業史(上・
 下)』 福田 博美
 都九十九一著『餅なし正月の世
 界』 横田 雅博

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
 TEL027-223-2785 年4500円

◇214 2010.5 A5 64p
 《特集 東吾妻町(旧吾妻郡吾妻町・東町)》
 東吾妻町 指定文化財地図／東吾
 妻町 指定文化財一覧／東吾妻
 町の文化財 東吾妻町教育委員会
 郷土の歴史を語る 吾妻こけし 小池 利夫
 「れきさんサロン」 大崎岸子／岡田昭二
 小淵しちものがたり(4)
 小淵しちの生涯(3) 古屋 祥子
 高山彦九郎日記による歴史散歩
 (21) 『丁酉春旅』(1) 細谷村
 ～八王子宿 正田 喜久
 絵手紙で歩く 上毛かるた(37) 小林 生子
 義重山大光院の秘佛 細谷 清吉
 柱野前川紀事之碑一考(3) 石山 幸宏
 近代現代の建造物概観—榛嶺から

子麓の歴史的建造物 小山 宏
 歴史散歩 二題 山崎 正

◇215 2010.7 A5 56p
 《特集 みどり市(旧笠懸町・大間々町・勢多
 郡東村)》
 みどり市文化財マップ／みどり市
 の文化財 みどり市教育委員会文化財課
 みどり市の観光スポット
 みどり市観光政策課
 れきさんサロン
 平田経子／岡本静子／村上かすみ／
 大木正子／中里イサ子／加藤鶴男
 群馬県師範学校の創立者
 楢取素彦の事歴 尾池 武彦
 角田金五郎が記録した「スペイン
 風邪」 旧勢多郡芳賀村周辺の
 実相 加藤 鶴男
 高山彦九郎日記による歴史散歩
 (22) 『丁酉春旅』(2) 正田 喜久
 玉椿を訪ねて 井野 修二
 横子の要害 佐藤 征男
 絵手紙で歩く 上毛かるた(35) 小林 生子
 歴史散歩の報告
 分倍河原合戦と多磨壺園 山崎 正

◆双文 群馬県立文書館
 〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
 TEL027-221-2346
 www.edu-c.pref.gunma.jp/kyoui/monjokan/
 ◇27 2010.3 A5 138p
 行政文書からみた明治初期の群馬
 県 富岡 守
 アーカイブズにおける記録史料の
 歴史教育への活用について—韓
 国国家記録院の実践を例として
 阿久津 聡
 江戸幕府撰上野国絵図の系統的研
 究—群馬県立文書館所蔵国絵図

及び関連史料の検討 中島 潔

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4
 ◇122 2010.6 B5 4p
 寶治の板碑断片—甘楽町白倉路傍
 四方田 悟
 病気見舞いの本義 板橋 春夫
 第87回例会記事

◆郷土はとがや 鳩ヶ谷郷土史会
 〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
 花岡武司方 TEL048-281-3509 1977年創刊
 ◇65 2010.5 A5 97p 1000円
 巻頭言 手前味噌になりますが
 復刻 『鳩ヶ谷町々史』のグラビ
 ア紹介
 自分史で語る鳩ヶ谷現代史 私の
 鳩ヶ谷原風景—終戦前後の思い
 出(下) 金井 英一
 明治天皇の肖像画を描いた日本人
 花岡 武司
 浦寺の歴史 加藤 信明
 現代より後世へ伝え残したい人を
 訪ねて(2) 級の一人一人が日
 本一の人に—鳩ヶ谷小学校の大
 正生まれの同級生 同時代史探訪書留部会
 鳩ヶ谷史譚(9) 『埼玉県警察史』
 に鳩ヶ谷を採す 平野 整
 古文書・文献による歴史研究 玉
 龍山保正寺(法性寺)二世震龍景
 春禅師と震龍派(4) 若松 哲夫
 鳩ヶ谷の生物(12)
 鳩ヶ谷から消えたヒバリ 藤波不二雄
 新刊紹介 半年間に届いた本から
 スモール.h.グテイ
 「はとがやに里山をつくる会」発足
 藤波不二雄

小谷三志をめぐる人々(62)
 小谷三志研究史上の人々(5) 岡田 博

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
 〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方
 TEL049-281-4983 年4000円

◇301 (57-1) 2010.4 A5 52p
 近世初頭の芝村周辺の民俗 沼口 信一
 振武軍の勇士・杉山銀之丞
 —もう一人の沢尻平九郎 内野 勝裕
 河越城代大道寺氏の研究(4)
 —史料編年でみるその実像 大圖 口承
 埼玉県における小学校運動会の変
 遷に関する一考察(下) 石井 昇
 加須市のジャンボ鯉職の歴史 中村 賢司
 神と仏の復縁 大熊 晋一
 資料紹介
 或る反戦的通信 佐藤 繁
 「吉見百穴の図」一幅 奥田 豊

第609回 草加市見学
 第610回 研究発表会
 第611回 公開講演会

◆日本の石仏
 日本石仏協会(発売:青娥書房)
 〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
 TEL042-971-6512 年8000円
 www.l.pbc.ne.jp/users/sekibutu/
 ◇134 2010.6 A5 80p 2100円
 巻頭随想 陝西省石窟の旅から 坂口 和子
 《特集 石仏探訪Ⅷ》
 新四国三十三所の石仏 岡本 十三
 ぶらり石仏紀行—交野山、学能堂
 山、鈴鹿越 たなかよしゆき
 ながらの石佛調査 石川 博司
 平成の庚申塔 多田 治昭
 現時点で見た群馬の蚕神信仰
 —県内の石造蚕神調査から 角田 尚士

日光修験大田和宿の石仏・法印行
 恵 田中 英雄
 弥生人の自然石信仰と縄文人の石
 棒信仰 西田 栄一
 名号塔の知識(2) 岡村 庄造
 「石」を知る(24) 小松 光衛
 石燈籠入門(44) 嘉津山 清
 石仏写真と私(24) 杉本 康希
 あ・ら・か・る・と—私の石仏案内
 大津和弘/水野英世
 会員の広場 荒井昭/大久保修/森永五
 郎/島田常雄/梶田道行
 「石仏写真展2010」報告 杉本 康希
 第85回石部説見学会報告
 東京練馬区の石仏 門間 勇
 一泊石仏見学会報告 伊勢・伊賀
 の石仏を訪ねる 中森 勝之
 はがき通信 門間勇/直江清久
 石仏談話室/石仏交流

◆ぶい&ぶい 無為無為 日本史史料研究会
 〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860 武蔵
 野学院大学国際コミュニケーション学部
 神野潔研究室 TEL04-2954-6131 2008年創
 刊 www17.plala.or.jp/t-ikoma/
 ◇13 2010.5 A5 24p
 「護持僧」と「御持僧」 関口 崇史
 足利貞氏の讃岐守任官と出家時期
 —『錢阿寺文書』中の二通の足
 利貞氏発給文書から 前田 治幸
 書評 大塚紀弘著『中世禅律仏教
 論』(山川出版 2009年11月) 小野澤 眞
 書籍紹介 湯山学『関東上杉氏の
 研究』(湯山学中世史論集1 岩
 田書院 2009年5月) 鈴木 由美
 ◇14 2010.6 A5 28p
 一遍墓塔造立者考
 —時衆・律僧と兵庫津 大塚 紀弘

備前国浦上政宗に関する一考察 渡邊 大門

◆富士山遺文拾遺 まるはとだより発行所
 〒334-0013埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5
 岡田博方 TEL048-281-4118
 ◇49 2010.4 B5 8p
 古今東西宝語(49)
 アナクロニズムに陥った日本
 不二道先師遺文懇耕記(1) 弥陀
 の四十八願(1)—初めから横道
 にそれるけど 岡田 博
 有縁機縁録 新刊紹介 長澤源夫
 著『二宮尊徳の遺言』/世拙亭
 黙公著『狂歌ごよみ』
 ◇50 2010.5 B5 8p
 古今東西宝語(50)
 成長から成熟へ
 不二道先師遺文懇耕記(2) 弥陀
 の四十八願(2)—初めから横道
 にそれるけど 岡田 博
 有縁機縁録 新刊紹介 澤戸寛聡
 著『江戸時代自治文化史論』/
 林康子歌集『冬のターミナル』
 ◇51 2010.6 B5 8p
 古今東西宝語(51)
 先づ米国を説きて
 不二道先師遺文懇耕記(3) 許さ
 れぬ罪、汲まれる他行—弥陀の
 四十八願中の特言二項 岡田 博
 有縁機縁録 新刊紹介 一橋大学
 大学院社会学研究科・若尾研究
 室『書物・出版と社会変容』/『岩
 田書院図書目録2010』

◆富士山文化研究会会報
 〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
 中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年4000円
 ◇30 2010.5 B5 8p

平成22年度総会日程/見学会報告
 富士山文献紹介 特別展「渋谷の
 富士講—富士への祈り—」図録
 /平成18年度第2回企画展「あ
 らかわと富士山—遙かな富士み
 ぢかな富士—」
 図書館等の蔵書閲覧サービスにつ
 いて/見学会報告2/都留馬車
 鉄道の絵ハガキ
 ◇31 2010.7 B5 2p
 会則の確認と見学会の御案内

◆郷土史研通信 八千代市郷土歴史研究会
 〒276-0023千葉県八千代市勝田台3-24-10
 牧野方 TEL047-484-9728 年3000円
 ◇70 2010.5 A4 6p
 お知らせ
 平成22年度定期総会の報告
 萱田に関する多角的な資料調査報
 告 村田 一男
 参加感想文
 歴史ウォークと尾道の階段 三橋 俊一
 「千葉県郷土史フォーラム」参加
 の報告 田村 勲
 新事業「佐倉道を歩く」の内容/
 新道標発見の報告

◆千葉史学 千葉歴史学会
 〒263-0022千葉県市稲毛区弥生町1-33 千葉
 大学文学部内 TEL043-251-1111 年4000円
 history.lchiba-u.jp/~chibareki/
 ◇56 2010.5 A5 133p
 巻頭随想 私と千葉歴史学会 加藤 公明
 初代会長 小笠原長和さんを偲ぶ
 小笠原先生の思い出 宇野 俊一
 小笠原長和先生の追懐 三浦 茂一
 小笠原長和先生の思い出 川戸 彰
 小笠原先生の御厚恩に感謝する

川名 登
 池田 宏樹
 伊藤 喜良
 佐藤 博信
 中里 裕司
 遠山 成一

歴史随想
 板倉中の裁判資料と朝鮮問題 加藤 時男
 中西月華と原安民と子規 齊藤 功
 郷土に残る殿様の墓 岸波 宗岳
 上総・安房の古代氏族について 亀谷 弘明
 里見氏家臣団組織の成立 川名 登
 地域社会の女性観とその変容—千
 葉県君津郡中川村の事例から 後藤 康行
 郷学至徳堂の釈奠儀礼 三浦 茂一
 史料紹介
 下河辺与方書簡 紺野 浩幸
 堀田家麻布日ヶ窪町上屋敷拝領
 関係史料—佐倉藩政文書から
 みた屋敷替 土佐 博文
 書評 見城悌治著『渋沢栄一「道
 徳」と経済のあいだ』 三村 達也
 新刊紹介
 渡辺尚志著『百姓の主張 訴訟
 と和解の江戸時代』 金谷千亜希
 大谷貞夫著『江戸幕府の直営牧』
 筑紫 敏夫

◆西上総文化会報
 〒292-0833千葉県木更津市貝淵1-11-4
 TEL0438-25-2003
 ◇70 2010.3 B5 124p
 巻頭言 会報70号発刊によせて 藤浪 弘美
 墨跡に見える高柳村の人びとと正
 木幽谷 三浦 茂一
 折口信夫(釋道空)と木更津と 高崎 繁雄
 房総の坂の上の雲 橋田 昭雄
 会津に眠る悲運の佐賀城主松平重

治公 鈴木 貢
和語で編纂された古事記 飯田 昭二
関東大震災の記録から 諏訪 貞夫
上総国久留里藩黒田氏の歴史的位
置—城普請と大坂加番をめぐっ
て 筑紫 敏夫
郷土の作家「瀧由之介作品集」編
集余話 上杉 義隆
日本百名山と山岳信仰 中嶋 美夫
ある歴史学者の言葉から 金子 馨
私の生涯と戦争(2) 葉丸比呂志
過ぎ去りし日日を思う 細矢 光夫
故郷回想(2) 曾根 英範
垣間見る江戸の敵討・深川六軒堀
猿子橋 西村 京一
移動研修レポート
栃木県藤岡町・茨城県古河市を
訪ねて—田中正造の足跡と土
井利位・鷹見泉石の業績 石川 明
小田原箱根戊辰戦蹟地と真鶴・
湯河原を訪ねて—請西藩主林
忠崇の戊辰戦蹟 鬼形むつ子
小田原・箱根の史蹟旅に想う 大網 克子
長狭街道をゆく 橘田 昭雄
第575回例会
西上総文化総会と懇親会
第576回例会 移動研修Ⅰ
古河市と渡良瀬遊水池方面
第577回例会 研究発表会Ⅰ
日本の百名山と山岳宗教 中嶋 美夫
望陀郡あれこれ 木村 智行
第578回例会 移動研修Ⅱ 小田
原箱根戊辰戦蹟地と真鶴湯河原
第579回例会 第61回西上総文化展
第580回例会 祝賀と忘年の会
第581回例会 研究発表会Ⅱ
上総久留里藩の歴史的位 筑紫 敏夫
置—城普請と大坂加番をめぐっ
て 藤浪 弘美
置—城普請と大坂加番をめぐっ
て 筑紫 敏夫
郷土の作家「瀧由之介作品集」編
集余話 上杉 義隆
日本百名山と山岳信仰 中嶋 美夫
ある歴史学者の言葉から 金子 馨
私の生涯と戦争(2) 葉丸比呂志
過ぎ去りし日日を思う 細矢 光夫
故郷回想(2) 曾根 英範
垣間見る江戸の敵討・深川六軒堀
猿子橋 西村 京一
移動研修レポート
栃木県藤岡町・茨城県古河市を
訪ねて—田中正造の足跡と土
井利位・鷹見泉石の業績 石川 明
小田原箱根戊辰戦蹟地と真鶴・
湯河原を訪ねて—請西藩主林
忠崇の戊辰戦蹟 鬼形むつ子
小田原・箱根の史蹟旅に想う 大網 克子
長狭街道をゆく 橘田 昭雄

第582回例会 移動研修Ⅲ
長狭街道をゆく
歴史ミニ情報
◆房 総 川城文庫・藩政史研究会
〒299-4311千葉県長生郡一宮町白山8-7
TEL0475-42-3034
◇129 2010.6 B5 8p
譜代小藩 伊勢国加納八田藩(治
田) 一宮藩以前の陣屋は東阿
倉川藩に陣屋を設置 川城 昭一
◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方 TEL04-7196-3375 年3000円
◇105 2010.4 B5 8p
新年懇談会のご報告/石仏・新刊
案内『筑波の山々と石仏たち
一、不動明王』
石造物を読む(2)
香取市石納の出羽三山塔 米谷 博
会員寄稿 正元元年と正嘉二年の
板碑について 小西 則子
石仏探訪(1)
旧本埜村・龍湖寺周辺の石仏 石田 年子
白井市の石仏見学会に参加して 土井 照美
◇106 2010.6 B5 6p
22年度定期総会終了
石仏探訪(2)
千葉県最古の浅間宮 石田 年子
東葛二手庚申塔を追う 入谷 雄二
◆アーカイブズ
独立行政法人国立公文書館
〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp
◇39 2010.3 A4 94p
《電子媒体による公文書等の管理・移管・保

存・利用システムについて—平成21年度実
務担当者研究会議》
〈平成21年度実務担当者研究会議〉
電子媒体による公文書等の管理に
ついて 杉本 重雄
「電子媒体による公文書等の適切
な移管・保存・利用にむけて—
内閣府・国立公文書館の取り組
みから—」(国立公文書館 中島
康比古講師)について 水野 京子
「電子媒体による公文書等の適切
な移管・保存・利用システムに
ついて」(国立公文書館 八日市
谷哲生講師)について 野口 真広
「一元的な文書管理システムにつ
いて 文書管理業務の業務・シ
ステム最適化計画」(総務省行
政管理局行政情報システム企画
課 秋山英己講師)について 鹿島 晶子
「地方公文書館における電子公文
書管理の現状について—埼玉県
の場合—」 太田 富康
〈グループ討論から〉
公文書館からみた現用文書管理シ
ステムの問題と歴史的公文書管
理システム開発上の課題—Aグ
ループの討論 村上 大輔
現用文書管理システムの構築・運
用をめぐる課題と解決策及び将
来的なシステムのあり方につい
て—Bグループの討論 樺原 直樹
全自治体が実施可能な電子的公文
書管理に向けて—Cグループの
討論 西 光三
理想の文書管理システムをめざし
て—Dグループの討論 井上 洋一
平成22年度実務担当者研究会議
リーフキャストによる脆弱

化した資料の修復
有友至/中島郁子/阿久津智広
つくば分館の業務について
アジア歴史資料センターの広報活
動について 森川 博文
開館22年を迎えた大阪市公文書館
庄谷 邦幸
記録管理学会の紹介 山崎 久道
◆赤米ニュース 東京赤米研究会
〒186-0005東京都国立市西3-7-29 アゼリ
ア国立II101 長沢方 TEL042-577-6855
◇159 2010.6 B5 8p
2010年版赤米栽培マニュアル
6月の赤米作り
おたより
各地の赤米作り(12)
山梨県の赤米地名 菅野 郁雄
赤米雑話(118) 長沢 利明
◇160 2010.7 B5 8p
2010年版赤米栽培マニュアル
7月の赤米作り
おたより
各地の赤米作り(13)
岡山県総社市国司神社の赤米栽培
記 菅野 郁雄
赤米雑話(119) 長沢 利明
◆あしなか 山村民俗の会
〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
サトービル TEL03-5663-6748 年5000円
www8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇288 2010.4 B5 20p
北海道渡島地方の馬具—列島南北
両端のハミなし制御具 山田 哲郎
江戸富士塚を巡る(1)
—千駄ヶ谷富士・高松富士 酒井 幸光
民俗夜ばなし—北国の農山村から

浅野 明
山里だより(15)
“白面”のタヌキと疥癬病
—奥多摩・青梅市根ヶ布 中嶋 捷恵
お札・お守りにも期限切れ?!
—丹波・美山町 西浦 左門
武蔵野美術大学 民俗資料室見学
記—現地探索行事報告 鳳気至一廣

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1861 1993年創刊
◇84 (36-4) 2010.2 A5 100p 1000円
《特集 部落の人々の移動と越境》
特集にあたって 友常 勉
民俗学と人権・同和問題—自治体
史編さん事業の現場から 上田 喜江
聞き取り 15周年を迎えた阿波木
偶箱廻しを復活する会 辻本一
英、中内正子、辻本絵蘭 友常 勉
上州にやってきた阿波木偶箱廻し
—赤城人形大一座 友常 勉
「南葛定卒業式不起立1円裁判」
に起って—日の丸・君が代の強
制は許せない(後) 木川 恭

◆足立区立郷土博物館だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
TEL03-3620-9393 1996年創刊
◇58 2010.4 A4 4p
特別展「東京都のおもちゃづくり
—町まるごとファクトリー—」
／企画展「江戸琳派—抱一・其
一・其栄・向栄—」／収蔵浮世
絵展「あそんでまなぶ オモシ
ろうきよえ」／収蔵資料展「む
かしの道具」、「おもしろ絵詞
地口行灯」／舞台展示／郷土芸

能大会／郷土芸能鑑賞会／区民
教養講座／リニューアル一周年
を迎えました／オリジナル缶バ
ッジができました／5月18日は
「国際博物館の日」

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇506 2010.4 A4 4p
囚人墓地のその後 高野 恒幸
千葉さなについて あさくらゆう
都市近郊の農産物を追う(28)
しめ飾り(7) 萩原ちとせ

◇507 2010.5 A4 4p
亀有大谷田物語—昭和30年代の私
伊藤 純
青木春岱(22)
三人めの弟子の発見 青木 昇
都市近郊の農産物を追う(29)
菖蒲(1) 萩原ちとせ
歌川芳藤と立版古 真田 尊光

◇508 2010.6 A4 4p
続・千葉さなについて—千葉定吉
家まつわる誤伝について あさくらゆう
亀有大谷田物語(2)
—昭和30年代の私 伊藤 純

◇509 2010.7 A4 4p
寄合旗本真田家の屋敷—江戸時代
前期の絵図にみえる保木間村か
ら 多田 文夫
亀有大谷田物語(3)
—昭和30年代の私 伊藤 純

都市近郊の農産物を追う(31)
菖蒲(3)(終) 萩原ちとせ
資料紹介 国芳が描いた怪談と化
物 郷土資料館学芸班

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇265 2010.4 A4 4p
足立区文化財保護指導員 退任に
あたり書き伝えたいこと(1)
解剖人墓修理について 瀬田 一男
文化財保護活動を終えて 相川謹之助
文化財保護は寺院の誇りと忍耐
堀川 和夫
足立の登録文化財を観る 延命寺
山門／大鷲神社本殿／大聖寺本
堂
西新井大師境内記念碑拝見報告
◇266 2010.5 A4 4p
平成22年度足立史談会総会報告
新年度役員改選
退任のあいさつ 安藤 義雄
足立の登録文化財を観る
総持寺三匠堂
足立区文化財保護指導員 退任に
あたり書き伝えたいこと(1)
文化財点検の日々 矢沢幸一朗
足立史談カルタ紹介
い「市場のおこりは河原町」
4月探訪報告
五色桜復活にかけた思い
◇266付 2010.5 A4 2p
荒川五色桜の里帰り 渡辺 隆夫
区政50周年記念 区民教養講座
荒川五色桜のはなし 飯島 智恵
平成22年度 第19期史談大学講座
案内
◇267 2010.6 A4 4p
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(101) 新教育指針 第
一部 後編 新日本教育の原点
第一章 個性尊重の教育 堀川 和夫

春季区民教養講座講演報告
足立史談カルタ紹介
ろ「六月村の炎天寺」
町の歴史告知板
千葉佐邦住居跡 プレート設置
5月葛西浦探訪報告
◇268 2010.7 A4 4p
「桜並木工事中 明治期の水門」
二つの煉瓦遺構
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(102) 新教育指針 第
一部 後編 新日本教育の原点
第一章 個性尊重の教育 堀川 和夫
足立の登録文化財を観る 大聖寺
本堂 一棟／応現寺山門 一棟
／舎人氷川神社本殿 一棟
町からの告知板 新刊案内 太田
君恵著・詩文集「大正の女」 安藤 義雄
6月北小金・本土寺界隈探訪報告

◆あるむぜお
府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32 TEL042-
368-7921 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇92 2010.6 A4 10p
府中宿に〇△がやってきた!(1)
浪人・山伏・座頭・虚無僧 花木 知子
展示会案内
特別展 あしもとネイチャーワ
ールド 見て、触れて、探して
みよう!身近な昆虫の世界 中村 武史
企画展 蓮の画帳—百蓮譜 花木 知子
最近の発掘調査 武蔵国衛跡から
「國」の墨書土器が出土 宮町
三丁目 野田憲一郎
NOTE 府中御殿 馬場 治子
博物館で生物多様性を知る!(1)
生物多様性って何? 中村 武史

平成21年度寄贈・寄託資料一覧／
平成21年度利用状況
収蔵資料あれこれ
一軒に複数の稲荷様 佐藤 智敬

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682

◇258 2010.5 A5 45p

寄稿 櫻井徳太郎展記念講演録

櫻井徳太郎先生一人と学問(後)

佐々木宏幹

田遊びと神武東征を追う

主役は三足鳥(前) 成澤 誠司

一枚の写真から(4) 農村地帯だ

った頃の中台・若木の風景 泉 貞代

史跡を訪ねて(15)

23区の古民家を巡る(下) 猪瀬 尚志

写真ニュース(18) 桜川の御嶽神

社に伝わる「おびしゃ」 井上 富夫

ひろば

大塚初重先生からのお便り 事務局

誌画集『こもりうたのように』

紹介 大澤 鷹遼

◇259 2010.7 A5 49p

《特集 回顧 太平洋戦争と私》

他所行きのモンペ=標準服で記念

撮影 泉 貞代

戦後引揚げ、民族の大移動 坂田 宏一

太平洋戦争特集に寄せて

一吉村昭作品を中心に 猪瀬 尚志

寄稿 板橋ゆかりの画伯・文化勲

章受章者 佐藤太清先生の画業

と生涯 石塚 輝雄

田遊びと神武東征を追う

主役は三足鳥(後) 成澤 誠司

写真探訪 板橋の地名(11)

富士大古道と「南坂」 大澤 鷹遼

写真ニュース(19) 新規七件の区

登録文化財が決定 井上 富夫

ひろば 谷口貢先生からのお便り

事務局

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12

加藤恒彦方

◇373 2010.5 B5 26p

ハイキング程度の山? 杉田 敏夫

西上州山地における信仰の山々に

祀られる石神仏の諸相(上) 松尾 翔

所謂「コンビニ登山」に想う 関口 洋介

武蔵七党後記 染谷 鷹治

三峯神社登拝路いまむかし 町田 尚夫

矢岳二題 湊 祐二郎

花野 佐藤 八郎

山行報告

◇374 2010.7 B5 32p

研究会の継続と発展 成川 茂雄

西上州山地における信仰の山々の

祀られる石神仏の諸相(下) 松尾 翔

下見山行と調査山行 関口 洋介

武甲山開山祭 浦野 要

奥武蔵研究会発足時の昭和24年を

回顧 染谷 鷹治

大洞川・井戸沢敗退行 湊 祐二郎

奥研川柳 木本 和男

神様アルコールは如何なものだ

ようか? 石山 桃子

山行報告

◆学習院史学 学習院大学史学会

〒171-8588東京都豊島区目白1-5-1

学習院大学文学部史学科研究室内

TEL03-3986-0221 年3000円

◇48 2010.3 A5 147p

江戸時代の青蓮院門跡と入木道 田中 潤

昭和天皇の政治・外交方針と軍事

認識—昭和初期の海外出兵への

対応をめぐる 濱田 英毅

1707年の合同に対するスコットラ

ンド人の論理と認識 武田 和久

大名佐竹家の婚礼構造

—儀式・親類書・御取持 高橋 博

講演

都市平泉研究の問題点 入間田宣夫

フランス近現代における居住空

間の変遷 中野 隆生

◆季刊 Collegio 之潮

〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505

TEL042-328-1503 www.collegio.jp

◇40 2010.4 B6 68p 300円

『江戸・東京地形学散歩』の読者

のために(4) 日本橋台地・江

戸前島・日比谷入江 松田 磐余

貝塚が移転する話 安孫子昭二

150年前の江戸を実測復元する(6)

迷走劇「歌舞伎の叛乱」 中川 恵司

東京電車線路物語(19) 多摩川が

削った台地の崖を上下する線路

井口 悦男

フランス古地図音楽散歩(22) サ

ン=ジェルマン=デ=プレ教会 関根 敏子

東京文学地図帖 戦後編(23)

葛西橋 植田 満文

中西悟堂を歩く(20) 第六台場 西村 眞一

小型図紹介(4)

新東京大観/葛飾区 山下 和正

大陸彷徨(4) ロマノフカ行(5) 島田 英常

17世紀シベリアの地図化過程(7) 佐々木路子

コラム 江戸の崖・東京の崖(1)

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10

大澤栄美方 TEL03-3907-0040

◇96 2010.5 B5 8p

第327回月例研究会

丸参富士講と伊藤伊兵衛 榎本 龍治

第329回月例研究会

占領下の赤羽駅(1) 松本 守博

第328回月例研究会

「雑兵物語の世界」展を見て 馬場 永子

寄稿 見果てぬ夢に生きた児玉南

柯(2) 豊島 信夫

◆交通史研究 交通史研究会

〒154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1

国士舘大学文学部 地理学教室

TEL03-5481-3245 www.soc.nii.ac.jp/jstc/

◇71 2010.4 A5 61p

文政13年おかげ参りについての再

検討—波及範囲、施行の実態、

参宮者数等 中井 陽一

江戸幕府伝馬制度と地域金融構造

—東海道藤沢宿の分析を中心に

大石三紗子

書評 増田廣實著『近世移行期の

交通と運輸』 丹治 健蔵

例会報告要旨/巡見紹介/展覧会

情報

◆式内社のしおり 式内社顕彰会

〒151-0053東京都渋谷区代々木1-1-2

神社本庁内 TEL03-3379-8048

◇80 2010.6 A5 192p

ごあいさつ 矢田部正巳

『出雲国風土記』にみるヤシロと

ミヤの姿かたち 錦田 剛志

日向三代の神話と式内社 甲斐 亮典

黒沼神社探訪

—奥羽に残る重層信仰の考察 石垣 仁久

中国の神話と日本の謎の神

蚩尤と兵主神 田邊 英治
支部だより 東北支部／関東支部
／北陸支部／東海支部／近畿支
部／四国支部／九州支部

◆史叢 日本大学史学会

〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部史学研究室内
TEL03-3329-1151

◇82 2010.3 A5 76p

六御県に関する試論—延喜式祝詞
から見た成立と歴史的意義 堀川 徹
「新しい中世」の時代の到来と歴
史的対応の試み—今後の自力
救済論のあり方に関する試論 鈴木 國弘
研究ノート 享保改革期飯沼新田
開発について—下総国仁連町名
主鈴木善右衛門を例に 長尾 政紀
「環境史」関連文献目録（都道府
県史） 椎名則明／下川雅弘
／関屋雄一／吉原潤

◆下町文化

江東区教育委員会生涯学習部生涯学習課
〒135-8383東京都江東区東陽4-11-28
TEL03-3647-9111 www.city.koto.eg.jp

◇249 2010.4 A4 8p

平成21年度新指定・登録文化財の
紹介 指定文化財 前原家文
書、富士せんけん・亀戸天神・
六阿みだ・あさくさ道道標／登
録文化財 新大橋親柱、和倉橋
親柱、震災復興橋梁図面、美辰・
その女歌碑、富士信仰歌碑、保
持者追加認定 染色
江東区文化財保護条例制定30周年
第28回時雨忌全国俳句大会記念講
演会 芭蕉の花鳥諷詠 星野 高士

平成22年度芭蕉記念館特別展「風
雅の伝統—和歌と俳諧—」／平
成22年度中川船番所資料館企画
展「江東区にも遺跡はある—江
東区埋蔵文化財展」

江東歴史紀行

江東区にみる坂本龍馬の痕跡 龍澤 淳潤
文化財掲示板

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋区北郵便局私書箱50号
TEL03-3967-1948 年6000円

◇69 2010.4 A4 6p

金沢城橋爪門復元へ—河北門につ
づき今春復元工事着手
第3回中国の城郭・長城旅行会か
ら 大同・北京・山海関の城郭
と長城 西ヶ谷恭弘

最近の注目される城郭関係図書か
ら 森本基嗣著『戦国山城を攻
略する』、西ヶ谷恭弘著・監修『新
版 名城を歩く』12巻
城郭ニュース 和田岬砲台が前面
修復／浜松城天守曲輪門調査
各地の城郭研究会活動から／史学
会活動報告

◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066東京都世田谷区成城6-1-20
TEL03-3482-9068

◇33 2010.3 A5 92p

「沖縄的な知」は商品なのか—人
びとの日常的な〈つながり〉の
視点から 村松 彰子
反転再生する時空間—メディアと
フィールドワーク 今関 光雄
新しいミュージアム構想に関する
一提言 中江 圭

都市と後背地

—生存の基盤と生活の基層 木下 聖三
役割交替と〈伝承〉概念の相関性
—主婦権と当屋の「ワタシ」儀
礼周辺から 加藤 秀雄

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042東京都台東区寿2-9-9
北村国男方 TEL03-3844-2008
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/

◇47 2010.4 A4 18p

はじめに 望月 崇
隅田川・四万十川有効河川提携20
周年記念訪問 糸井 守
四万十川訪問報告 片田 宏一
隅田川大学公開講座 フィールド
ワーク(FW)13 江東内部河川
の1つ、小名木川沿いに北砂界
隈を歩く 大野秀樹／鈴木俊一
隅田川大学公開講座 江戸東京の
食文化・川文化—浅草の食文化
繁栄の原点を探る 丸山真司／齋藤興平
第10回「母なる隅田川を描く展」
開催をふりかえって 小谷野なつさの
第4回大名庭園サミット東京大会
に参加して 沼尻 重男
第23回隅田川市民サミット講演会
隅田川を中心とした河川再生—
隅田川の整備計画について 西村 行正
隅田川大学公開講座 東京モータ
ーボート倶楽部の設立と活動 領塚 正浩
隅田川大学公開講座 フィールド
ワーク(FW)14 芝浦・港南・
天王洲運河を歩く—東京湾岸の
新しい水辺状況視察 望月 崇
◆西郊民俗 西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1

大島方 年2000円

www1.ocn.ne.jp/~oinari/
◇211 2010.6 B5 41p
離島調査から50年後の筆親筆子関
係 藤原 洋
新潟市内のウバサマ信仰と講—阿
賀野市の華報寺と高德寺を視野
に 松崎 憲三
千駄ヶ谷の榎稲荷 大島 建彦
亀戸の頓宮神 長沢 利明
ハチ、ヤマドリ、カモシカ、サル
の民俗—富山県田婦負郡八尾町
谷折の場合 森 俊
野兎のミミサケ・カタミミ考(下)
—「野兎のミミにまつわる民俗」
補遺 天野 武
奈良の天狗像(上)—昔話・伝説・
世間話からの考察 高橋 成

◆全日本郷土芸能協会会報

〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク
ハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290
年2000円 www.jfpaa.jp

◇59 2010.4 A4 26p

飯田お練りまつり 長野県飯田市
第15回総会／第16回総会のおしら
せ／第30回まつり研究会「飯田
お練りまつり」見学記
新たな指定など／平成21年度文化
庁事業『「下伊那のかけ踊り」
調査報告書』完成／平成22年度
高円宮殿下記念 地域伝統芸能
賞決定
平成21年度国際民俗芸能フェステ
ィバル報告 国と文化、子供た
ちの楽しい交流 齊藤 芳子
春の民俗芸能情報2010／第12回
全国こども民俗芸能大会／第7

回伝統文化研修セミナー／第13
回全国獅子舞フェスティバル・
飯田市
第4回獅子博物館表彰式を開催 高橋 裕一
第5回八丈島芸能文化交流会に参
加して 加藤 義雄
「島根の神楽」芸能と祭儀企画展
に出演して 佐々木昌延
鬼よ燃えろ！ 菅原 晃
第20回全国地芝居サミット in 長
浜 開催概要／かながわ伝統芸
能祭 地芝居2010
地芝居探訪(33) 松浦 鳥夫
雪国越後の塩沢歌舞伎 北河 直子
私家版「五島列島・芝居小屋・中国
演劇」と編著者松原剛氏のこと
地芝居公演情報 4月～6月
娘義太夫「竹本津賀広」(3) 菅野 芳治
松平流傍目八目(35)
マツリの行方—視点の転換 松平 誠
民俗楽器(35) ブータンのチベッ
ト仏教チャムにみる天界 山本 宏子
誌上講座(59) 第27回アジア文化
芸術交流促進会議(FACP)の報
告から 中坪 功雄
会員行事カレンダー祭暦 2010
4月後半～7月／会員紹介／会
員情報／会員かわら版
良書紹介 お国自慢お練話シリ
ーズ 八つ鹿踊りと牛鬼／ひなち
ゃんの歳時記

◆全国地名保存連盟会報
〒176-0012東京都練馬区豊玉北2-13-15
TEL03-3994-4021
www.geocities.jp/chimeihz/
◇71 2010.5 A4 6p
不動産業者・開発業者は地名への

関心を 呉林 肇
「全国地名保存連盟」第28回総会
のお知らせ
「全国地名保存連盟」の今後の活
動を私はこのように考える 古田 禎昭
九州・鳥栖の観光ボランティア 田中 健一
秋田の竿燈と旧地名 齋藤 廣志
逆転の発想から地名保存を提案す
る 宇田川大介

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇206 2010.4 A4 2p 100円
勉強にも隠し芸にも役立つ
記憶術の実際
◇207 2010.4 A4 2p 100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(17)
◇208 2010.5 A4 2p 100円
「ちよぼくれ」と「ちよんがれ」
◇209 2010.6 A4 2p 100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(18)
◇210 2010.6 A4 2p 100円
大締一代記
◇211 2010.6 A4 2p 100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(19)
◇212 2010.7 A4 2p 100円
書写年の判明している日本最古の
牛頭天王の祭文 信濃国分寺所
蔵(文明12=1480年書) 牛頭天
王之祭文
◇213 2010.7 A4 2p 100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(20)

大締一代記(2) (原作) 藤本甲南
／(著作) 光田憲雄

◆多摩地域史研究会会報
〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
文化財COM内 TEL042-521-0186
◇93 2010.5 B5 20p
第70回例会報告
伊奈石砕石遺跡と石造物 内山 孝男
立地と景観から考える多摩の中世
(前期)寺院—江戸期の地誌・絵
図と近代地形図を手がかりに
(12) 馬場 喜信
江戸時代における高尾山薬王院と
周辺農民の境相論について 安宅 達利

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
たましん国立支店内 TEL042-574-1360
年1200円 www.tamashin.or.jp
◇138 2010.5 A5 146p
《特集 空中写真で地域を読み解く》
空中写真というもの、空中写真か
らわかること 山岡 光治
中央線(中野—吉祥寺)間の景観と
空中写真 佐藤 洋
昭和初期撮影の空中写真—玉川上
水・南井の頭田園住宅・山本有
三郎 矢野 勝巳
湧水を訪ねる小さな旅
深大寺界限と「ハケ」 宮澤 達也
国分寺周辺の鉄道と地域 柴田 祥彦
国立から谷保、多摩川へ
—地域の変遷を見つめる 大久保正明
東村山周辺の丘陵、川、交通 荒畑 隆
横田墓地
くるとまわって見てみれば 和田 仁
多摩丘陵の今昔 相澤 善雄

高尾山・八王子城の植生を望見す
る 菊地 幹雄
さし絵のなかの多摩(48) 拜島宿
と原舟月の額—拜島村密蔵院浄
土寺真景全図 齋藤 慎一
洋風建築への誘い(27)
山口貯水池(狭山湖)の迎賓館 伊藤 龍也
建物随想記(22) 縦長窓への憧れ
酒井 哲
東村山上水場—創設の経緯と50年
の足跡 北澤弘美／小島範子
御門訴事件の旧跡を巡るフィール
ドワークとパネル展 飯畑 幸男
多摩のみほとけ(1) 調布市深大
寺 銅造釈迦如来倚像(国指定
重要文化財) 齋藤 経生
本の紹介
小平市中央図書館編『小平の歴
史を拓く(上) 古文書目録解
題編(下) 史料集解題編』北原 進
竹谷毅負編『富士塚考 江戸高
田富士 築造の謎を探る』城川 隆生
まちの情報ハブ・図書館(1)
多摩市立図書館 阿部 明美
八王子市図書館 山中 広子

◆地方史研究
地方史研究協議会(発売:岩田書院)
〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5
名著出版内 TEL03-3816-0739 年6600円
◇344 (60-2) 2010.4 A5 90p 1143円
会告 第51回日本史関係卒業論文
発表会について
第61回大会を迎えるにあたって
北総地域の水辺と台地—生活空
間の歴史の変容
戊辰戦争期における「草莽隊」の
志向—下野国利鎌隊を事例とし

て 宮間 純一
元禄期加賀前田家における諸大夫
家臣の再興とその意義 清水 聡
嘉永二年の年番辞退申し出にみる
宿組合の問題点 橘 敏夫
公文書館機能と自助の精神—第35
回全史料協全国大会(福島大会)
の意味するもの 富永 一也
公文書管理の現状について—第35
回全国歴史資料保存利用機関連
絡協議会全国大会に参加して 藤井 康
シンポジウム「ふるさと濃飛の歴
史—「岐阜県歴史資料館」所蔵
文書の魅力—」に参加して 高橋 伸拓
展示批評 滋賀県立安土城考古博
物館・特別史跡安土城発掘調査
20周年記念・平成21年度秋季特
別展「戦国の城—安土城への道
—」 宮坂 新
研究例会報告要旨 山田 英明
◇345 (60-3) 2010.6 A5 130p 1143円
盛岡藩における元禄16年「新法」
事件について 蝦名 裕一
幕府広域役の負担原則と地域社会
—琉球使節淀川通航時の綱引役
を事例として 飯沼 雅行
第51回日本史関係卒業論文発表会
要旨
〈シンポジウム 基礎的自治体の博物館・資
料館の「使命と役割」〉
「基礎的自治体の博物館・資料館
の「使命と役割」—地方史研究
協議会版 評価基準作成へ向け
て—」開催にあたって
博物館・資料館問題検討委員会
博物館評価制度の導入は改善か改
悪か 水嶋 英治
地域における基礎的自治体立博物

館・資料館の「使命と役割」 桑原 功一
地方史研究協議会主催シンポジウ
ム「基礎的自治体の博物館・資
料館の「使命と役割」—地方史
研究協議会版 評価基準作成へ
向けて—」参加記 千枝 大志
第29回「陵墓」限定公開 コナベ
古墳見学会参加記 大罵 聖子
房総のむら(風土記の丘資料館)に
ついて 千葉県立房総のむら
展示批評 安城市歴史博物館企画
展「徳川家康の源流 安城松平
一族」 堀江登志実
企画例会「シリーズ地方史の現場」
報告要旨 蛭田廣一/庄司明由/三野行徳
研究例会報告要旨 北村厚介/野本禎司

◆中央史学 中央史学会

〒192-0393東京都八王子市東中野742-1
中央大学文学部 日本史学研究室内
TEL042-674-3790
c-faculty.chuo-u.ac.jp/~s-sato/shigaku/
◇33 2010.3 A5 226p
公開講演 最後の歩兵奉行—「太
平年表録」を読む 大口勇次郎
来日宋海商の廻却と廻却官符 河辺 隆宏
戦国期境目地域における在地領主
の動向—上野国沼田地域と小川
可遊斎を中心として 大貫 茂紀
幕末期武家参内に関する空間的考
察—諸大名の間と仮建を中心と
して 久住 真也
幕末の志士田中光顕と維新政権 松尾 正人
『出雲国風土記』異同一題
—「功鳥」と「悪鳥」 佐藤 豊
2008年度神奈川相模原市大日野
原遺跡の発掘調査
永田悠記/訥美保子/小林謙一

書評

小林謙一・国立歴史民俗博物館
編『歴博フォーラム縄文時代
のはじまり—愛媛県上黒岩遺
跡の研究成果—』 山口 欧志
『白門考古論集2』編集委員会・
中央大学考古学研究室編『白
門考古論叢Ⅱ—中央大学考古
学研究会創設40周年記念論文
集—』 井出 靖夫
峰岸純夫・入間田宣夫・白根靖
大編『中世武家系図の史料論』
上・下巻 前嶋 敏
峰岸純夫著『中世社会の一揆と
宗教』 柳澤 誠
落合功著『地域形成と近世社会
—兵農分離制下の村と町—』、
落合功著『近世の地域経済と
商品流通—江戸地廻り経済の
展開—』 宮坂 新
岡崎寛徳著『改易と御家再興』内野 豊大
新刊紹介
池上悟著『石造供養塔論攷』 永田 悠記
森安彦編著『武蔵国多摩郡関前
新田名主井口忠左衛門と御門
訴事件』 松尾 正人
藤野保著『江戸幕府崩壊論』山本 英貴
博物館・資料館探訪
京都大学大学文書館 清水 善仁
中央史学会彙報 第34回総会記事
/大会研究発表要旨

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方 FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com
◇82 2010.5 B5 4p
報告 講演会「近代文化遺産と産

業遺産」 平井 東幸
報告 見学会「東京大学大学院工
学系研究科総合研究機構」 多田 統一
整備、公開前の横浜赤煉瓦大倉庫 河合 恭平
関連団体情報/新入会員紹介/第
9回理事会の議事概要
茨城県阿見町の赤煉瓦建築物(2)
旧霞ヶ浦海軍航空隊ポンプ室 八木 司郎
◇83 2010.7 B5 8p
報告 研究会「群馬の産業遺産で
みる産業考古学の新たな視点」平井 東幸
報告 見学会「産業技術総合研究
所」[アサヒビール茨城工場] 袖須 紘一
報告 石巻・仙台の産業遺産探訪 吉田 修
産業考古学基礎講座のご案内
三菱一号館美術館が4月6日にオー
ブン 平井 東幸
関連団体情報/第10回理事会の議
事概要/編集委員会規定/第11
回理事会の議事概要
報告「産業遺産を保存展示するセ
ルロイドハウス」 平井 東幸
茨城県阿見町の赤煉瓦建築物(3)
旧霞ヶ浦海軍航空隊第一士官宿
舎 八木 司郎
報告 見学会「大塚製靴 横浜工
場」 袖須 紘一

◆東京の文化財

東京都教育庁地域教育支援部管理課
〒160-0023東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL03-5320-6862 1979年創刊
◇109 2010.3 A4 8p
〈東京都指定文化財の新指定〉
新たに指定するもの 旧三井家拝
島別邸/稲荷台遺跡出土品/武

蔵府中のくらのみ祭／日野宿脇
本陣

既に指定しているものの種別を変
更し、追加するもの 海禅寺境
域

既に指定しているものに附として
追加して指定するもの 銅造地
蔵菩薩坐像

インタビュー 野鍛冶職人の仕事
府中市八幡町「かじ福」相原
丈三氏(満81歳)

わがまちの文化財・檜原村

人里・五社神社の文化財

わがまちの文化財・神津島村

神津島のかつお釣り行事

文化財の調査

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454

◇327 2010.5 A4 4p

清水次郎長のこと 河勝 大
豊島氏関係史料を読む(13)

関東管領上杉房顕と豊島氏(3) 伊藤 一美
「服部半蔵幸隆」人物考(9)―高松
廃寺の仁王像銘をめぐるM氏書
簡によせて 日向康三郎

◇328 2010.7 A4 4p

石神井川の歴史 芦田正次郎
昭和史雑感

昭和天皇と将軍達(10) 鎌田 茂男
豊島氏関係史料を読む(14)

上杉顕定と豊島氏 伊藤 一美

◆練馬古文書研究会会報

〒177-0053東京都練馬区関町4-15-3-603
鈴木方 TEL03-3920-3627

www.2u.biglobe.ne.jp/~shiba/

◇44 2010.6 B5 4p

講演録 江戸周辺鷹場と練馬地域
根崎 光男

書状講座(4)

稲葉景通書状(折紙) 柴辻 俊六
千川用水の水車稼ぎと千川家の立
場 清水 掬甫

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264 年2500円

◇91 2010.5 B5 4p

第91回例会 高野台という地名を
めぐって―高野と高原 正井 泰夫
女性グループ主催 旧小樽村・土
支田村観察会 矢谷由美子
城山―ジョウヤマ、中世的地名 下島 邦夫

◆文化財研究紀要

北区教育委員会生涯学習推進課
〒114-0022東京都北区王子本町1-15-22
TEL03-3908-9325 1987年創刊

◇23 2010.3 B5 168p

貞享期における地域寺院の朱印状
頂戴願いと幕府の対応―武州豊
島郡下村西蓮寺・同郡稲付村静
勝寺の事例をもとに 保垣 孝幸

中里峡上遺跡発掘調査報告―北区
中里3-9-10地点 安孫子昭二／山内淳司

桐ヶ丘遺跡発掘調査報告―北区赤
羽北3-11(袋町公園)地点

平成20年度 区内遺跡本発掘調
査・確認調査・試掘調査報告
北区古文書調査会活動報告(平成
20年度) 北区古文書調査会

文化財係事務事業の概要と実績
(平成21年度)

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所内
TEL045-481-5661 年5000円

◇141 2010.4 B5 90p

被災した民俗文化財「明泉寺燈籠」
の研究 日高 真吾

シナ布生産技術の多様性―伝承、
文献、現在の生産による比較を
通して 来村 創

削りかけ状祭具にみる人と樹木と
の関わり―人々の認識と生態学
的視点から 今石みぎわ

香時計(時香盤)について(2)―廻
船「虎繁丸」の常香盤・音楽法
要と時計香炉 神野 善治

モノが語る石井家のくらし―東京
都狛江市石井家の民家解体に伴
う民具調査について

石野律子／芝崎浩平／宮本八恵子
第126回研究会報告 木食僧(佛)
研究の八十年―木食佛はも民芸
か 西海 賢二

第127回研究会報告 「木曾周辺の
自然と民俗」および「民具の保
存について」 小林 弘昌

書評 津山正幹著『民家と日本人
―家の神・風呂・便所・カマド
の文化―』 大久根 茂

書誌紹介 葛飾区郷土と天文の博
物館展示解説書『首都圏の酒造
り』 川向富貴子

展示批評・展示紹介
柏崎ふるさと人物館「モノ売り
―行商に出る人・行商を待つ
人―」 野堀 正雄

奈良県立民俗博物館「奈良県の
牛耕用具特別公開 農具にみ

る古代の息吹」 河野 通明
くにたち郷土文化館「水車の時
代―くらしと産業を支えた水
車の力―」 安齋 順子

京都府立丹後郷土資料館「丹後
の民具・総まくり」 横出 洋二

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学部 大日方研究室内

◇79 2010.5 B5 66p 1500円

《特集 書物からみる近世女性の「知」》
特集にあたって 民衆史研究会委員会
近世前期における仮名教訓書の執
筆・出版と女性 勝又 基

女筆の時代と女性たち 小泉 吉永
民衆史研究会2009年度大会シンポ
ジウムコメント 中野 節子

シンポジウム討論要旨
書評

畔上直樹著『「村の鎮守」と戦
前日本―「国家神道」の地域
社会史』 北浦 康孝

長谷川裕子著『中近世移行期に
おける村の生存と土豪』 似鳥 雄一
展示会短評

千葉県立中央博物館ほか平成21
年度出土遺物巡回展「房総発
掘ものがたり―地下50cm、文
字の世界」 岩本 健寿

国立歴史民俗博物館総合展示第
六展示室「現代」オープンに
あたって 佐川 享平

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会

〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学演劇博物館内

TEL03-3203-4141 年6000円

◇48 2010.3 A5 75+36p
 「三匹獅子舞」の儀礼論—行列と舞という二重構造に着目して 伊藤 純
 秩父神楽と「上州神楽」について
 —秩父神楽に於ける演劇的演目の起源をめぐって 森林 憲史
 秋田県仙北神楽とその「山の神舞」について 小田島清朗
 書籍紹介
 星野絃著「村の伝統芸能が危ない」 宮田 繁幸
 山路興造著「京都 芸能と民俗の文化史」 福持 昌之
 吉川祐子著「下賀茂の籠獅子と神楽—静岡県賀茂郡南伊豆町—」 入江 宣子
 民俗芸能研究文献目録—平成19年 俵木 悟

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会
 〒184-8501東京都小金井市貫井北町4-1-1
 東京学芸大学音楽・演劇講座 加藤富美子
 研究室気付

◇35 2010.3 B5 95p
 兵庫県西播磨地方に伝わる梯子獅子の研究—その演目構造と囃子についての一考察 大渡 敏仁
 戦後における登米能の伝承 田村にしき
 生國魂神社夏祭り獅子舞、囃子の復興の過程と現状について—実践者の立場から 原田壽幸／岡村ひかる
 地方公共団体による民俗芸能の記録作成・記録の保管をめぐる課題—平成20年度文化庁委嘱事業「地方公共団体が保有する民俗芸能の保護政策に係る資料の収集とデータベース化」報告 福田 裕美
 中国トン族の多声合唱を採訪して

星野絃／小林公江／加藤富美子／伊野義博
 〈第23回大会報告「民俗音楽にみる川と道の十字路」〉(2009 浜松)
 基調講演 日本民俗音楽にみる川と道の十字路 星野 絃
 シンポジウム 民俗音楽にみる川と道の十字路 小島美子／吉川祐子／西角井正大／星野絃／入江宣子
 研究発表要旨
 静岡県磐田市掛塚の貴船神社祭礼と掛塚囃子 小野寺節子
 能『翁』における能管演奏技法—アシライと合セ吹キの様相 新海 立子
 登米地方における能と謡の伝承について—戦後を中心に 田村にしき
 台湾原住民音楽文化の変容—鄒族の事例から 薛 羅軍
 地方公共団体による民俗芸能の記録作成・記録の保管をめぐる課題—平成20年度文化庁委嘱事業「地方公共団体が保有する民俗芸能の保護政策に係る資料の収集とデータベース化」報告 福田 裕美
 民俗音楽の教材化におけるインサイダーとアウトサイダー 山本 宏子
 紀州・日高地方の神社祭礼に見る「オニ・ワニ・獅子」の伝播と固有の変容 大渡 敏仁

◆民俗地図研究 民俗地図研究会
 〒150-0011東京都渋谷区東4-10-28
 国學院大學 若木タワー 1105研究室
 2009年創刊

◇2 2010.3 A4 85p
 北関東におけるワラデッポウの分

布 三輪 京子
 宮城県の鳥追い行事の様相 山田 栄克
 岩手県におけるミタマメシの分布 安藤 有希
 宮城県における山車祭の分布 鈴木 志乃
 群馬県川場村の道標とその目的地の特徴 末永 千尋
 貧乏神祭祀の分布 加藤まどか
 初誕生に「つき転ばす」こと—「転生」の事例として 生方 徹夫
 弘法水伝説の地域分布における一考察 関根 綾子
 昔話における「教えのこぼし」—末尾のこぼしに注目して 豊島 明
 「雨蛙不孝」の主人公の姿と俗信 熊倉 史子
 明治期新聞資料における東京の「怪異」 三柴 友太
 木遣唄・地搦唄・石搦唄における西行 西井 美雪
 「ちょっとそこまで」はどこまでなのか—都市における移動距離の認識と実態 加藤 紫識
 都市生活者の行動範囲—T家を事例として 高久 舞
 寺廟の分布からみる台湾高雄市の空間構造 孫 瑩珊
 文献にみるベトナム南部のホーチミン市 ケーゲンフンタオ
 『長野県史 民俗編』の民俗地図 倉石 忠彦

◆無形文化遺産研究報告
 東京文化財研究所
 〒110-8713東京都台東区上野公園13-43
 東京文化財研究所無形文化遺産部
 〒03-3823-2241 2007年創刊

◇4 2010.3 A4 217p
 実施段階に入った無形文化遺産保護条約 宮田 繁幸

アジア太平洋地域の無形文化遺産—代表一覧表記載案件の分類と専門機関の役割 松山 直子
 無形文化遺産保護の挑戦—日本国内およびアジア太平洋諸国を訪れて 星野 絃
 近代の京焼から「伝統」を考える—近代京都の陶芸家における古典学習について 森下 愛子
 染色技術の記録・保護への取り組み—製織・製糸・縫製を中心に 深津 裕子
 大里七夕踊にみる民俗芸能の伝承組織の動態 俵木 悟
 八朔の馬節供 西讃岐地方の団子馬製作を中心に 服部比呂美
 資料紹介
 梅村豊撮影歌舞伎写真(2) 金子 健
 国立音楽大学附属図書館寄贈
 竹内道敬旧蔵音盤目録(4) 飯島 満

◆武蔵野 武蔵野文化協会
 〒184-0005東京都小金井市桜町3-7-1
 江戸東京たてもの園気付 年4000円
 1918年創刊

◇347 (84-1) 2010.5 A5 75p
 《特集 武蔵の上円下方墳とその周辺》
 特集・武蔵の上円下方墳とその周辺によせて 坂詰 秀一
 武蔵国の七世紀 佐藤 信
 国史跡武蔵府中熊野神社古墳と多摩の古墳 塚原 二郎
 天文台構内古墳の石室と地域首長墓としての位置づけ 沼上 省一
 埼玉県の上円下方墳
 宮塚古墳と山王塚古墳 塩野 博
 清水柳北1号墳と石のカラト古墳—埋葬施設の異なる駿河と畿内

の上円下方墳 高麗 正
 福島県白河市野地久保古墳の調査
 鈴木功／鈴木一寿
 武蔵陵墓について 紺野 英二
 古墳築造技術に対する土木(地盤)
 工学的視点から考察 田中 邦熙
 講演会記録 鎌倉武士と女性
 —源家三代将軍を事例に 彦田三枝子
 平成20・21年度総会報告
 『武蔵野』創刊90周年記念事業の
 報告—講演と公演会の開催

◆明治維新史学会だより
 〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1
 駒澤大学第1研究館文学部歴史学科
 小泉雅弘研究室 2004年創刊
 www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/
 ◇13 2010.5 B5 12p
 創立30周年記念大会を開催するに
 あたって 大会運営委員会
 〈2010年度第40回明治維新史学会大会報告要
 旨〉
 幕末政治史の研究史から
 —私的総括と見えてくる課題 高木 不二
 廃藩置県と明治維新 落合 弘樹
 維新変革期における民政と民衆 三澤 純
 皇室の神仏分離・再考 高木 博志
 明治維新史研究と国際関係の視点
 鶴飼 政志
 明治維新の歴史的位置 佐々木寛司
 2009年度明治維新史学会秋期大会
 記事
 〈2009年度明治維新史学会秋期大会討論要旨〉
 岸本覚氏「大名家の祖先顕彰と政
 治改革」 小泉 雅弘
 白石烈氏「幕末政治の対外危機意
 識の変遷」 宮下 和幸
 天野嘉子氏「井上毅と参事院—フ

ランスの諸規定と『参事院章程』
 の比較を中心に— 兒玉 圭司

◆明治大学博物館友の会会報
 〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
 TEL03-3296-4448 年3000円
 www.meiji.ac.jp/museum/
 ◇24 2010.4 A4 10p
 わたしの「転向」
 —学兄・小林三郎博士を思ふ 倉田 公裕
 分科会活動報告 近代化産業遺産
 「豊川油田」と神田・昌平橋の
 話 佐々木榮一
 2009年度新規入会者アンケート調
 査報告 平井 孝雄
 講演会報告 古文書へのアプロ
 チ「江戸と地方の史料調査から」
 鈴木 弘
 講演会&見学会報告「DOGU」
 展報告会と東博「土偶展」見学
 記 蔵 由美
 講演会報告 有田焼雑感—外山先
 生の講演を聴いて 豊島 直弥
 見学会報告
 彩の国さきたまの古墳めぐり 石川むつみ

◆目黒区郷土研究 目黒区郷土研究会
 〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
 長澤英男方 TEL03-3711-3959
 ◇663 2010.4 B5 8p 150円
 江戸五色不動の謎(13) 田丸 太郎
 会報にみる目黒の昔(28)「立会
 川緑地帯遊歩道成る」佐々木逸
 巳 編集部
 目黒地名の由来を尋ねて(2) 目黒 英夫
 アメリカ橋 仲野 基道
 ザリガニの思い出 栗山 佳也
 ガマ蛙と私 平山 元也

千代ヶ池伝承 竹田 務
 ◇664 2010.5 B5 8p 150円
 3月の見学会参加記
 中野寺町から落合へ 山内美貴子
 江戸五色不動の謎(14) 田丸 太郎
 明治29年の地図 橋口 明子
 目黒地名の由来を尋ねて(3) 目黒 英夫
 環状7号線日丘橋 栗山 佳也
 柿の木坂の移り変わり 昔「子供
 の遊び」平成6年1月町会誌抜
 粋 柿の木坂町会
 路線バスに乗って区内案内(8)
 (渋72系統)「渋谷駅東口～五反
 田駅」線の内、中里橋～元競馬
 場 平山 元也
 ◇665 2010.6 B5 8p 150円
 バス見学会参加記 春の甲斐路に
 史跡・文化財を訪ねて 花井 鉄弥
 維新と目黒不動尊勝蔵院 田丸 太郎
 エビス農園 橋口 明子
 目黒地名の由来を尋ねて(4) 目黒 英夫
 長泉院の大銀杏 仲野 基道
 大輪さんを悼む 長澤 英男
 大輪敏男さんを悼んで 平山 元也
 大輪さんの思い出 下山田允子
 袈裟合戦(1) 竹田 務
 ◇666 2010.7 B5 8p 150円
 5月見学会参加記
 隅田川の橋めぐり 山内美貴子
 明治維新と目黒不動尊勝蔵院(続
 き) 田丸 太郎
 会報にみる目黒の昔(29)「み魂
 遷しとけこ坂」浅海行夫／「空
 川の源流を探る」松田素風
 目黒地名の由来を尋ねて(5) 目黒 英夫
 立源寺のケヤキ林 栗山 佳也
 城南郷土史研究協議会報告
 本年度の行事、世田谷区が 平山 元也

熊谷直夫先生を悼む 下山田允子
 袈裟合戦(2) 竹田 務

◆郵便史研究 郵便史研究会
 〒112-0011東京都文京区千石2-42-7
 田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円
 1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.jp
 ◇29 2010.3 B5 54p 2000円
 日本海線大家七平汽船 佐々木義郎
 創業時中間都市発料金について 谷 喬
 ていばーく(通信総合博物館)資料
 紹介(13) ドイツ(日耳曼国)郵
 便博物館に出品された「郵便取
 扱之図」 井上 卓朗
 文蔵リサーチ余録 ネットで見つ
 けた郵便史の古典 星名 定雄
 旧刊紹介(3) 森井ユカ『ポスト
 オフィスマニア』 鈴木 克彦
 小包送票異聞(3) 特殊取扱い 加藤 秀夫
 データシート
 近刊紹介『郵政資料館 研究紀
 要』／専修大学文学部日本近現
 代史ゼミナール編『ケータイ世
 代が「軍事郵便」を読む』／山崎
 善啓著『明治の柏郵便局の面影』

◆洋学史研究 洋学史研究会
 〒116-0014東京都荒川区東日暮里3-12-17
 松本英治方 TEL03-3891-6482 年5000円
 1984年創刊
 ◇27 2010.4 A5 127p
 東海道本陣史料にみるカピタンの
 旅 片桐 一男
 咸臨丸乗組水夫の見たアメリカ 河元由美子
 史料紹介『四十五様』について 片桐 一男
 書評
 W.ミヒェル・鳥井由美子・川
 鳥真人共編『九州の蘭学—越

境と交流— 濱口 裕介
江越弘人・浦川和男校訂『異国
船渡来雑誌』 松本 英治
例会コメント 浦川和男『異国
船渡来雑誌』—開国前半世紀の
外事秘録—(2009年12月5日例
会)に対するコメント 片桐 一男

◆隣人 草志会

〒197-0004東京都福生市南田園1-8-19
菅井憲一方 TEL042-552-0903 1984年創刊

◇23 2010.3 A5 154p

評伝 橋川文三—その人間と思想

(2) 一高時代 宮嶋 繁明
路地裏のユートピア

—川本三郎『大正幻影』覚書 櫻沢 一昭

「難船図」絵馬のこと 松本三喜夫

牛(丑)の民俗 小作 寿郎

雄峰寺探訪記 佐藤 誠

南米体験のこと 小峰 勲

メイラン神父 覚書—八王子に来

たカトリック宣教師の足跡 茅原 健

南多摩「昭和史」の素描—浪江虔

と薄井清の生涯を通じて 杉山 弘

『林芙美子随筆集—落合町山川記』

—林芙美子と尾崎翠 菅井 憲一

版画家・三井壽が兄からもらった

軍事郵便を読む—南画家の父飯

山から受けた影響(1) 新井 勝紘

◆歴史民俗

早稲田大学第二文学部歴史・民俗系専修

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1 早稲

田大学文学部内 歴史・民俗系専修室

TEL03-5286-3765 2002年創刊

◇7・8 2010.3 A5 115p

『歴史民俗』第7・8合併号に寄せて

久保健一郎

「蘇我蝦夷」像の変遷 木村 浩子

マムルーク朝時代のカーリミー商

人—イブン・ハジャルの史料に

見る二つの家系 河手 瑠美

西アジアにおけるワインの起源的

考察—考古学と文献史学からの

アプローチ 中村 裕一

血盆経信仰の実態 牛山 悟

「人柱」のリアリティ 富重 千春

移りゆく葬制—沖縄県島尻郡粟国

村の事例より 中山 洋

2008年度・2009年度卒業論文題目

一覧

◆論集 きんせい 近世史研究会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1

東京大学文学部日本史学研究室気付

TEL03-3812-2111 1978年創刊

◇32 2010.5 B5 96p

延宝期の公家領主と幕府上方支配

機構 野村 玄

加賀藩前田家における公家との交

際—「通路」と家格をめぐる

江戸前期の長崎開港について

—佐賀藩を例に 鷲尾 朗

近世在方における酒造業の展開

—郡山藩領を素材として 松田 暁子

近世史研究会活動報告

◆小田原史談 小田原史談会

〒256-0816神奈川県小田原市酒匂2-24-13

植田方 TEL0465-48-9072 年3000円

odawara-shidan.hustle.ne.jp

◇221 2010.4 B5 28p

小田原の郷土史再発見 秋山眞

之、終焉の地と天神山周辺の別

荘(前) 石井 啓文

旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝

北条氏綱のもう一人の子供 三津木国輝

蘇我・宗茂そして曾我への一六〇

〇年の覚書(2) 市川一郎・清司

小田原藩浅田兄弟の敵討

『孝貞義鑑』散策(5) 鈴木 好

〈小田原シルバー大学「自主研究報告」紹介〉

小田原に魅せられた文化人のエピソード

早野耕平／徳永千恵子／青木祐

伸／大竹巖／桂重昌／山田健次

足柄平野の酒

浅見勝／飯沼忠雄／久保田豊／

森田榮宏／田代智恵子／秦弘枝

近世の歴代小田原城主

星野隆／居原田邦男／佐藤瑛子／

鈴木八郎／辻野由実／吉田栄一

箱根路変遷の歴史を辿る

今井義男／小屋敷隆俊／須藤貞秀／

石田俊博／山田武明／貴田スミ子

中世から現在までの小田原城の変遷

阿部正治郎／神尾秀雄／小磯寛／

杉山慶一／柏木美喜枝／蓑宮香代子

「酒匂川治水四百年を考える小田

原・足柄住民の集い」開催され

る／「小田原史談会」集会でパ

ネル展示

片岡日記(47) 片岡永左衛門

史談再録(11) 小田原の消防と火

災下)『小田原史談』第53号(昭

和44年1月号) 清水専吉郎

豊川稲荷初詣の旅に参加して 内田美枝子

◆開国史研究 横須賀開国史研究会

横須賀開国史研究会

〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11

横須賀市企画調整部文化振興課内

TEL046-822-9478 年1000円 2001年創刊

◇10 2010.3 A5 200p 800円

口絵資料紹介・解説

「海軍水雷学校」 山本 詔一

総会記念講演 「開国」とは何だ

ったのか—いわゆる「鎖国」と

の関連で考える 荒野 泰典

浦賀の郷兵について 浅川 道夫

ペリー艦隊浦賀来航直後に流布し

ていた「太平のねむりをさま上

喜撰」狂歌 齋藤 純

日米和親条約における領事駐在規

定をめぐる考察—日本側交渉団

が意図的に条文を改編したのか

今津 浩一

私見、ペリー記念碑と日露戦争

—米国より里帰りの資料から 碓井 文昭

『浦賀史料』異国船渡来之節御褒

美之控を読んで 大河内将俊

『閑談規則』の現代語要約(6) 大出 鍋蔵

文久二年の竹内使節団によるフラ

ンス訪問の意義について 塚越 俊志

「古文書を読む会」十年の記録 深谷 進

研究会一年の活動 事務局

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20

西海賢二方 年1000円

◇121 2010.5 B5 6p

プライベートと歴史 時枝 務

城下町の民俗的世界

—小田原の年中行事(10) 西海 賢二

◆史談足柄 足柄史談会

〒250-0192神奈川県南足柄市関本440

南足柄市教育委員会内 TEL0465-74-2111

1962年創刊

◇48 2010.4 A5 102p

調査研究報告 福澤神社(2) 福

澤神社社殿の移転に伴う石造物

群の測量調査及び新社殿の基礎掘削工事に伴う立会い調査結果について 調査研究部
大口堤文命宮再建について 市川 勉雄
百丈禪師椅像と極楽寺記録を指定文化財に 内田 清
市外史跡探訪
近江琵琶湖周辺への旅 重田 武男
報徳記が世に出る時代考証 関田 昇
地域資源フォーラムに参加して 押田 洋二
市内史跡探訪
生駒から塚原(日向・日影)へ 大庭 進
役員研修会の報告 埼玉県小江戸川越方面・市立博物館・本丸御殿・喜多院を訪ねて 総務部
ひろば 内田紀世史/実方一興
第34回南足柄市民文化祭・文化財展 事業部
平成21年度会務報告 事務局

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方方
◇119 2010.4 B5 24p
市民参加と遺跡の整備・活用 須田 英一
さば神社を考える(11) 西村堅一郎
未来の地域博物館設立実現のために 桑原安須美
西富貝塚出土土偶の系譜について 一仙台市伊古田遺跡出土土偶との類似性 染谷 七重
資料紹介
最近採集した磨石(凹石) 永山 鶴一
「大学博物館めぐり」を企画・参加して 榊原 智之
「相模国府の発掘調査」展の見学報告 浜野 祐之
「国宝土偶展」を見学する 米 諄

“歴博バスツアー”に参加して 野村 和子
遺跡調査発表会・速報展参加の記
天野 弘一
横穴墓往還(6)
一等々力溪谷横穴墓群 上田 薫
平成21年度湘南考古学同好会活動の記録 活

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 1980年創刊
◇64 2010.3 A5 20p
聞き取り 小田原高女の勤労働員
体験 話し手・稲葉千鶴子
地元に残る戦争史料の紹介 昭和初期の短期現役兵・八田禮の内務班日誌 井上 弘
交流紹介 空襲全国連八王子・多摩大会と東海交流会参加記 矢野 慎一
書評 「民衆史を掘り起こす民衆」—『戦時下の小田原地方を記録する会30年のあゆみ』を読んで 加藤 好一
調査報告
沖縄県渡嘉敷島の戦争遺跡 矢野 慎一
書籍紹介 木村四郎著『戦時回顧』／本会発行の書籍案内
読者からの手紙 市原 壽文

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円
◇28 2010.6 A5 108p 500円
足柄学講座 歴史編
女性史への道 宇佐美ミサ子
「箱根御関所日記書抜」考(1)
一箱根宿の馬士 加藤 利之

二宮尊徳とロバート・オウエン 尾上 武
酒匂だより「ライラックの花」 町田紀美子
さらば! 歌舞伎座 田中 豊
ボクの映画館(8)
続・西部劇!西部劇! 平倉 正
自由律俳人 岡野宵火 井上 敬雄
散華寂靜—近藤弘明展を観る 佐宗 欣二
「土木の神様」加藤清正公 富家 和男
相模周辺に廃仏毀釈の痕跡を探る
(2) 箱根権現、伊豆山権現 平賀 康雄
村芝居よオー(4) 特別な一瞬 本多 博
始まりの人(2) 慧可大師 茂木 光春
亀右衛門咄(5)
御用の儀之れ有り候 青木 良一
近代神奈川の書籍文化(4)
横浜の書籍雑誌閲覧所 高野 肇

◆三浦一族研究 三浦一族研究会

〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市企画調整部文化振興課内
TEL046-822-8116 年1000円 1997年創刊
◇14 2010.3 A5 180p 800円
口絵資料紹介・解説
木造毘沙門天立像 上杉 孝良
総会記念講演 源頼朝のご落胤と伝ご落胤—三浦氏を含めて 鈴木かほる
講演会 戦国大名後北条氏と三浦氏の攻防 小和田哲男
九州における三浦一族の展開 藤本 頼人
基礎講座 中世社会と三浦一族—南北朝・室町時代 真鍋 淳哉
学習講座第1回 愛に生きた北条政子—歴史の選択とその意志 伊藤 一美
学習講座第2回
鎌倉の「七口」と鎌倉古道 伊藤 一美
地域文化振興事業 家族でめぐる横須賀歴史さんぽ—「衣笠城合戦を歩く」 芳賀 久雄

研究ノート 三浦一族と京都の朝廷、貴族との関係に関する考察 安田 直彦
史跡めぐり
平成21年度第1回～3回 荒井 正美
会員コーナー
新井城史跡めぐりとその謎を検証する 坪 三次
三浦一族研究会 平成21年度史跡めぐりに参加して 佐々木 成
三浦一族関係文献目録(14) 中里 行雄
研究会一年の活動 事務局

◆民具マンスリー

神奈川県日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円
◇505 (43-1) 2010.4 A5 24p 350円
伝狩野派筆「四季耕作図屏風」を読む—新潟県立歴史博物館寄託資料 野堀 正雄
『会津農書』にみる選別用具の変遷 佐々木長生
◇506 (43-2) 2010.5 A5 24p 350円
「養蚕往来」の諸本 飯田 孝
時代を映す助産道具たち 早川美奈子
◇507 (43-3) 2010.6 A5 24p 350円
陸前高田市広田町のジョウギ—技術・用具の普及をめぐって 石垣 悟
民具短信 隠れ穴説の魅力 藤木 久志
書籍紹介 『木の文化の形成—日本山野利用と木器の文化』 須藤 護
◇508 (43-4) 2010.7 A5 24p 350円
勝浦市法花地区の盆棚—お盆に仏壇を空にする風習を伝える 立花 弥生
「子供川遊びの図」について 秋保 良

◆悠久
鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315
◇120 2010.4 A5 172p 680円
《特集 月読命信仰》
口絵 かぐやから見た月
エッセイ 月が作り出すドラマ 小池田洋子
日本神話のなかの月読命 菅野 雅雄
月読信仰の展開 大和 岩雄
伊勢の月読信仰 石垣 仁久
月をつくる 松原 武実
月の歌 久保田 淳
小論文 絵にまつわる月 武田 恒夫
小論文 月山信仰 岩崎 真幸
コラム 月にまつわる雅楽 南 惣一郎
八幡宮紹介
有磯正八幡宮（富山県高岡市）

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会
〒223-0056横浜市港北区新吉田町3255
八城東郷方
◇64 2010.5 B5 52p
平成22年度を迎えて 八城 東郷
平成22年度定期総会開催／平成22
年度全国歴史研究会新年会開催
／神奈川歴史研究会・新年特別
講演会報告
承久の乱と北条義時の死の謎 加藤 導男
足利尊氏・義詮・義満・義持
室町幕府初期の生き様と盛衰 横山 忠弘
江戸時代鎖国期における対外関係
の諸相について(4) 荻島 和男
田丸中務大輔直昌 竹村 紘一
発表者紹介(平成21年10月～12月)
エッセイ アフリカ・タンザニア
のチャイルド・スポンサーとな
って 八城 東郷

歴史一口メモ(24) 前部 謙蔵
クイズ(11)の解 上田 重次
平成21年度秋の一泊旅行
歴史研究会・第25回全国大会
首都圏大会報告 加藤 導男
平成21年秋の歴史散歩
エッセイ 私と四国遍路(1) 齋藤 宗久
龍の子・鼯鼠と亀踏碑 田邊 英治
倭国の曆雑考(2) 記紀の曆形態 間淵二三夫
真説・八甲田山「死の雪中行軍」
(1) 鈴木 英男
三浦半島
—風土と人を見つめる(1) 竹村 清繁
幕末の密約秘話「成破の盟」 堀江 洋之
発表者紹介(平成22年1月～3月)
本間さんの死を悼んで 丹下 重明

中 部

◆郷土史燕
燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会
〒959-1295新潟県燕市白山町2-7-27
TEL0256-63-4131 2008年創刊
◇3 2010.3 A5 236p
慶応2年 長岡藩「寄場」開設につ
いての一考察 亀井 功
旧吉田町の天神様について 菅井 シヅ
地名の不思議
米納津の地名について 幸田 昭
水と闘った先人たち
—長所・打越事件のこと 北澤 昭松
割地と地租改正について 塚本 智弘
史料紹介
「宝永七歳 万事歳歳之覚 寅
ノ九月廿六日」 本間 則久
高崎県の飛び地領と新潟県—竹
山屯の足跡をたどりつつ 亀井 功
文化六年 地藏堂組田畑御案内
帳(2) 西海土寿郎

義士 方柳礼三
良寛資料館・古文書整理室
当道座 座頭(盲人)たちの組織
と活動 亀井 功
「越後相撲騒動」の紹介 渋谷 啓阿
吾が渡部の紹介 玉木 玉雄
分水地区埋蔵文化財調査の思い出
渋谷 啓阿
坂道ばかりをたどる旅 石黒 克裕
吉田郷土史研究会研修「鳥屋野逆
ダケの藪」と「福島湯周辺施設」
を訪ねて 大江 登

◆郷土新潟 新潟郷土史研究会
〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15
伊藤善允方 TEL025-266-3076 年4000円
1963年創刊

◇50 2010.3 A5 143+77p
巻頭言 「郷土新潟」第50号記念
号に寄せて 伊藤 善允
「郷土新潟」第50号発刊を祝う 篠田 昭
新潟湊と蒲原の地主 原 直史
近世新潟に漂着した難破船と海難
救助慣行 菅瀬 亮司
資料紹介 旧村松町愛宕原出土の
四斤砲弾 稲垣 森太
〈特集 私の思い出〉
歩行者と車の運転の変遷 青木 道
郷土史との出会い 池田 富春
私と「郷土新潟」 石黒 正英
金塚友之丞先生との出会い
—担任であった金塚先生 石附 七司
我が地の氏神 蒲原神社考 伊藤 善隆
新潟地震と記憶 伊藤 善允
『岩室村史』に寄せて 井上 慶隆
終戦直前の新潟の記憶、そして戦
災実調査 植村 敏秀
学童集団疎開と終戦 大谷 晴夫

新潟の今昔とともに 岡村 澄子
出会い そして思い出 小川 千代
「ご批判」から学んだこと 小川 敏偉
わたくしの「にいがた」 小熊 英雄
私の歴史研究
ささやかな成果紹介 小野塚 繁
戦時中の盆踊り唄 唐津 正夫
私の思い出 「職場の思い出より」
毛島 宏
先人の越後平野での水との闘いに
感謝する 小山 正春
刈羽の祭り行事「めんだし」 近藤 忠造
幼き頃の新潟町の記憶 齋藤 倫示
少年時代の映画の思い出 齋藤 義明
郷土史研究と私 櫻井 ミツ
戦いの中での学生生活
そして戦い終わって 笹川 玲子
私の思い出 佐藤千恵子
新潟大火と思うこと 菅瀬 亮司
予期せぬ出会い 高橋邦比古
追憶 「近世の新潟湊と舟運」に
ついて—例会発表から 土田 隆夫
新潟郷土史研究会と私の研究 中野 三義
歳々々々人同じからず 中村 義隆
吾が越後一期一會 樋浦 紘一
私の思い出 大和デパート新潟店
の閉鎖を知って 深澤 一彦
往事茫茫—新潟県史の時代 本間 恂一
「四月二十三日」 山上 卓夫
道 山崎 昌子
新潟地震での電力配電線復旧作業
の思い出 渡辺 博
『郷土新潟』第50号記念号までの
こぼれ話 和田 右苗
会の活動
平成21年度春の史跡探訪旅行 石塚 端夫
平成21年度秋の史跡探訪旅行 毛島 宏
第23回「越後と会津を語る会」

について 齋藤 倫示
平成21年の歩み
『郷土新潟』総目録／編・著者名
索引／事項索引／例会演題・行
事一覧／史跡探訪旅行一覧

◆高志路 新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100
www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/
◇376 2010.7 A5 41p
糸魚川市山寺、日吉神社の祭礼 佐藤 和彦
野兎のメダマにまつわる民俗(2) 天野 武
小特集 亀塚練馬
亀塚練馬見聞記録 金田 文男
亀塚練馬と辻 鶴巻 武則
二つの見学記 大竹 信雄

◆長岡あーかいぶす
長岡市立中央図書館文書資料室
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立互尊文庫 2階 TEL0258-36-7832
2005年創刊
www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/monjo/
◇9 2010.6 A4 4p
文書の虫—北越新報に見る大洪水
の記録 桜井奈穂子
歴史公文書は語る(4)
新潟県産業博覧会の舞台裏 小林 良子
展示コーナーで所蔵資料を紹介！
／「郷土史交流室」を活用して
みませんか？ 田中 祐子
長岡の碩学(9)
小川當知(文政4(1821)-?) 田中 洋史
開催中の行事—詳しくは文書資料
室へどうぞ！ 石井 順子
古文書クイズ(9)—ちょっと一息
史料保存こぼればなし(2) 救援

物資に貼り付けられたラベル 渡邊 勝明

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立中央図書館文書資料室内
TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊
◇47 2010.5 B5 259p
《50周年記念号》
〈50周年記念特集〉
50周年の節目の年を迎えて 今井 雄介
記念講演 研究会運営の現場から
—先人と未来へ 稲川 明雄
歴史の法廷への証言を 吉澤 俊夫
長岡郷土史研究会に望むこと 内山 弘
牧野家ゆかりの地を訪ねて 古田島吉彌
現地を楽しく歩く考える 田所 仁
吉澤俊夫先生の思い出 脇屋 雄介
『長岡郷土史』創刊時の人々
—内山喜助氏のことなど 小林 宏
研究会発足のころ、そして今 田所 和雄
50周年に寄せて
違恩に 青柳 保子
「平成の大合併」がもたらした
「地方の中央集権化」と「地
方文化の衰退」—今、その岐
路に立つ 石田 哲彌
郷土史研究会わたくしの夢 石塚 寿一
二人の回想録に見る玉番田争議
について 小片 莊平
「長岡郷土史研究会」50年の足跡
恩田 孝重
歴史に何を学ぶか
—河井さんと歩んだ3年間 嘉瀬 宏美
伝統と変革 金垣 孝二
古文書解読を振り返って 樺澤 幸子
温故知新 河野 政雄
豊田小学校校名に由来 桜井 修
三つの記憶 桜井菜穂子

長岡郷土史研究会の会員として
田中 洋史
奮闘中の『関原町史』刊行 東樹 隆一
史実に学ぶ 中島 榮一
「忠辰公と十分盃」の一考察 中村 祥一
長岡駅地下道のこと 西 和美
郷土史研究会と私 長谷川久志
重層的な郷土史研究を 広井 忠男
創立50周年に思う 山谷 恒雄
長岡郷土史研究会 50年のあゆみ
—略年表
出雲崎町ヤナクネ城跡について 鳴海 忠夫
栃尾における上杉謙信の事績(2) 石田 哲彌
上杉謙信の川中島合戦
—その勝敗と分国論 土井 重男
近世小物成の成立過程 本山 幸一
秋葉権現本末争い・寛保三年の事
件で蔵王堂の歴史が見える 鰐淵 好輝
土合村の字名・属名・地名 鈴木 孝
長岡藩校「崇徳館」[学規]の訓
読の試み 今井 雄介
『河井継之助傳』と曾祖父「肥田
野長三郎」(2)—北越戊辰戦争の
草莽隊(上) 吉崎こずえ
関原の戊辰戦争 太田 修
金垣家の「餅ののし板」に残る北
越戊辰戦争の記録 金垣 孝二
『誌録』と杉本鉞子 青柳 保子
度量衡製作の金井助三郎 内山 弘
盲聾啞教育に生涯を捧げた 小西
信八 中島 榮一
河上伊吉・機那サフラン酒蔵・鍍
絵の謎とその推理 小林 芳郎
花火師・中川繁治二代と正三尺玉
報告五十四(神谷号) 長谷川健一
山本五十六の絶望と再起—軍縮条
約予備交渉帝国代表となって 古田島吉輝

戦時中の食生活の「食塩」不足の
時代 近藤 久
「一九四五・長岡戦災焼失図」「一
九四五・建物地図」思い出
しながら 十二 東大新江 桜井 修
長岡高等工業学校に思う 山谷 恒雄
旭町架道橋の建設のことなど 清水 誠一
栃尾鉄道の歴史 長岡—悠久山間
反町 忠夫
国重文 越後闘牛と欧州闘牛の比
較文化紀行 広井 忠男
巡見報告
柏崎市・北条地区探訪記 嘉瀬 宏美
大國実頼と天神山城址を訪ねて
板垣 憲一
開催報告
平成21年度 古文書解読講座 稲垣美知子
報告 新潟県中越地震及び中越
沖地震の被害状況(6)(最終) 金垣 孝二

◆新潟史学 新潟史学会
〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
新潟大学人文学部史学研究室内
TEL025-262-6830
◇63 2010.5 A5 75p 1000円
古代越後の蒲原・沼垂郡—新潟市
西区の四十石遺跡にふれて 小林 昌二
越後守護上杉家年寄の領主的展開
—越後・信濃の市川氏を中心に
片桐 昭彦
上杉景勝の揚北衆掌握と直江兼統
阿部 哲人
書評 上越市立総合博物館編『高
田藩 榊原家史料目録・研究』小宮山敏和
新刊紹介 田村裕・伊藤充監修、知
っておきたい新潟県の歴史編修
委員会編、田中聡編集統括『知
っておきたい新潟県の歴史』竹田 和夫

◆まきの木 巻郷土資料館友の会
〒953-0041新潟市西浦区巻甲3069-1
TEL0256-72-6757 年1000円 1978年創刊

◇92 2010.4 B5 18p
稲島村掛持庄屋 田中吉左衛門家
のこと 亀井 功
史料紹介
弥彦・角田山の未記録種の再発
見 長島 義介
年季奉公請状—いわゆる飯盛り
女下女奉公契約証文 亀井 功

「友の会」と「巻史学会」合同の
秋の研修旅行「糸魚川の旧跡
を訪ねて」 大屋 桂子
出版案内『忘れられた三〇〇年
—御竹山の歴史—』(亀井功著)、
『岩室讃歌—この美しき里に生
まれて—』(山上健著) 多賀 良
平成21年度巻地区学会の動向／郷
土資料館日より

◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262

◇128 2010.4 B5 24p
良寛遺墨解説(86) 加藤 僖一
良寛尊像つれづれ(90) 出雲崎
茂木作次氏の良寛さま 涌井 茂
折々の良寛(17)「良寛 ころ
のうた」良寛詩歌三六五日 長谷川義明
良寛180年忌記念 全国良寛会比
叡山大会／講師紹介 佐藤全弘
氏
私と良寛 佐藤 全弘
私の良寛 梶川 芳友
良寛百八十年忌を迎えて—良寛坐
像・灯火万葉について 吉井 和子
良寛年譜 最新版 富澤 信明

もう一つの「焚くほどは」 梅津 昇
「平安京」散策(2) 藤田 邦子
追悼 立松和平さんと良寛 柳本 雄司
トピックス／新刊紹介／会報・会
誌紹介

◆砺波散村地域研究所研究紀要
〒939-1382富山県砺波市花園町1-78
TEL0763-32-2339 1984年創刊

◇27 2010.3 B5 76+18p
講演
生きたシステムとしての文化的
景観 金田 章裕
砺波散村が語りかけること
—“散村力”をめぐる— 橋本 征治
野尻野南部の開発と岩屋口用水 佐伯 安一
笈ヶ岳の山頂遺跡と「点の記」 千秋 謙治
砺波散居村における子どもの遊び
空間の世代間変化 石崎恵理／大西宏治
砺波郡鷹栖村の幕末肝煎津右衛門
の「過去記」について 中明 文男
調査報告 簡易水道開通前の飛騨
屋集落の水利用 杉森 孝一
研究ノート
礪波地方の洪水史に関する若干
の考察 山路 晴彦
砺波市鷹栖の桶・樽職人 宮島
良一 加藤 享子
史料紹介 寛永十七年砺波郡十二
組村名付帳 佐伯 安一
報告 庄川上流域見学会実施報告
／砺波散村地域学習講座／平成
21年度活動記録 事務局

◆北陸石仏の会会報
〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方
TEL0763-32-2772 3000円 1993年創刊

◇36 2010.7 A4 4p

笠舞地藏尊 滝本やすし
例会報告 第39回例会 福井県敦
賀の石仏探訪
北陸石仏の会第40回例会 神通川
下流左岸(呉羽～四方)の石仏探
訪

◆富山県立山博物館研究紀要
〒930-1406富山県中新川郡立山町芦峯寺
93-1 TEL076-481-1216 1994年創刊
www.pref.toyama.jp/branches/3043/3043.htm

◇17 2010.3 A4 117p
検証「立山開山」について 米原 寛
岩峯寺衆徒の身分支配 野口 安嗣
芦峯寺宿坊家の尾張国檀那場と三
禅定(富士山・立山・白山)関係
史料 福江 充
「三禅定」考—成立と『三の山巡』
にみる実態 加藤 基樹

◆石川県輪島塗芸術館紀要
〒928-0063石川県輪島市水守町四十苅11
TEL0768-22-9788 1986年創刊
www.city.wajima.ishikawa.jp/art/

◇5 2010.3 A4 57p
「鷲蒔絵衝立」
—張間禱一と金剛石目塗 細川貴久美
近世輪島塗の精製漆用クロメ鉢に
ついて 四柳 嘉章
輪島市門前地方(谷口・納納屋・
俊兼・滝之上)の漆掻きについ
て 松岡竹千雄
タビする木椀 プータンから東ア
ジアへの視点—輪島市海外漆文
化調査補遺 関次 俊雄
漆の美学 中室 勝郎
輪島塗技術保存調査に係る工房調
査報告(2)「髹漆」宮越強氏 高柳 浩子

◆石川県立歴史博物館紀要
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
TEL076-262-3236 1988年創刊
www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/

◇22 2010.3 B5 165p
北前船再考—研究と展示 濱岡 伸也
山積みされた天神堂
—キャラクター消費の文化史 大門 哲
研究ノート 北国版画協会の歩み
本谷 文雄
史料紹介
「今村捨三家資料」について 塩崎 久代
回想録「過去の郷里を追想して」
(5) 本康 宏史

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
TEL076-262-3236 1986年創刊
www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/

◇95 2010.4 A4 6p
春季特別展「シャルジャ、砂漠と
海の文明交流—アラビアの歴史
遺産と文化—」
貸出中の館藏品／主な刊物のご
案内／行事日程／催事日録／次
回の展覧会 夏季特別展「トキ
舞う空へ—鳥と人の文化史—」
れきはくトリヴィア
記念スタンプ誕生

◆加南地方史研究 加南地方史研究会
〒923-0903石川県小松市丸の内公園町
小松市立博物館内 TEL0761-22-0714
1955年創刊

◇57 2010.3 B5 140p
小松の寺社奉納物—棟札 山前 圭佑
小松市建聖寺と同寺所蔵(版本)大
般若経について 室山 孝

河岸端通りの賑わいと変遷 橋本 正準
 近世小松の変死事件編年表—小松
 旧記に見る小松の町人の生きざ
 ま 大西 勉
 二人の法敬坊順誓 城至 勝義
 百姓の持ちたる国と本願寺・直参
 制の民主的機能について 小枝 俊弘
 文明六年の加賀国一向一揆 福田 義光
 顕彰碑・紀功碑を訪ねて 竹下 一郎
 小松ステーション 五十嵐一雄
 湖南省(河南)投降敗戦会議 池端 大二
 加賀の小松を詠む 山本 恭子
 那谷観音通夜物語(1) 犬丸 博雄
 史料紹介
 那谷観音通夜物語(2) 犬丸 博雄
 糞虫一揆関連史料等—馬場町々
 有文書から三点 山前 圭佑
 隨想 天地人をゆく青空教室—N
 H K大河ドラマ「天地人」の舞
 台探訪 橋本 正準

◆加能史料研究 石川県地域史研究振興会
 〒920-0964石川県金沢市本多町3-2-15
 石川県立図書館史料編さん室
 TEL076-223-9579 1985年創刊
 ◇22 2010.3 A5 86p 1500円
 畠山義総と三条西実隆・公条父子
 —紙背文書から探る 末納 豊
 戦国期の伊勢氏と加賀国一所領経
 営と文芸活動をめぐって 石田 文一
 『加能史料』未収録木簡の紹介 三浦 純夫
 『加能史料』未収録木簡の紹介(2)
 石川県立図書館史料編さん室
 加能地域史研究文献目録(中世、
 近世)

◆加能民俗 加能民俗の会
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1

石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
 年4000円 1950年創刊
 ◇153 (12-11) 2010.3 A5 5p
 私の民俗ノートより(2) 前田佐智子
 会務報告

◆加能民俗研究 加能民俗の会
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
 石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
 年4000円 1972年創刊
 ◇41 2010.3 A5 46p
 白山の山案内人—奥山人の複合生
 業の一端(1) 橋 禮吉
 雪国におけるたとえ言葉 天野 武
 嫁威し肉付き面の伝承をめぐって
 —寺院縁起と口承文芸 藤島 秀隆

◆能登のくに 能登を知る会
 〒927-1214石川県珠洲市飯田町14-71
 西山郷史方 TEL0768-82-0297 年1000円
 ◇8 2010.4 B5 8p
 伝承文学に見る輪島
 研修会・現地説明会案内

◆北陸の民俗 北陸三県民俗の会年会記録
 富山民俗の会・福井民俗の会・加能民俗の
 会 〒920-0963金沢市出羽町3-1
 石川県立歴史博物館内 加能民俗の会
 TEL076-262-3236 1983年創刊

◇27 2010.3 B5 45p
 《第34回 北陸三県民俗の会年会記録》
 能登のタブノキ 藤平 朝雄
 お寺に伝えられた民間薬 稗田美穂子
 〈共通課題—環境と民俗〉
 蛭狩りの近代
 —〈磔場〉から〈公園〉へ 大門 哲
 狩り小屋の民俗
 —主としてドヤを中心に 森 俊

里の虫との関わり 山岸 誉
 石川県の民俗研究動向／福井県の
 民俗研究動向／富山県の民俗研
 究動向

◆峡南の郷土 峡南郷土研究会
 〒409-3601西八代郡市川三郷町市川大門17
 90-3 市川三郷町教育委員会学術文化係
 TEL055-272-6094 1967年創刊
 ◇50 2010.3 A5 48p
 巻頭言「峡南の郷土」第50集記
 念特集の発刊を祝す 塩島 博光
 河浦山薬王寺十六世住職は石田三
 成の三男であった 塩島 博光
 松崎町依田家の墓 山梨で発見 二宮 明雄
 観音像は、女性ではなかった 二宮 明雄
 南朝の忠臣 南部師行 依田 達
 市川さんヤイ(2) 中倉 茂
 幕末の甲斐国海外渡航報告書のこ
 となど—広瀬保庵ほか 樋泉 明
 市川大門の眞言宗「福壽院」の歴
 史 河西 密雄
 中世身延山支院考 沼田 晃佑
 元会長(顧問)後藤義雄氏の追悼
 「峡南の郷土」第40～49集の記録
 (バックナンバー)
 総会・臨地研修

◆飯田市美術博物館研究紀要
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
 TEL0265-22-8118 www.iida-museum.org
 ◇20 2010.3 A4 142p
 飯田市・開善寺所蔵『開善常住録』
 —翻刻と解説 織田 顕行
 「手長足長」彫刻の発生とその展
 開—近世山車彫刻の図様に関す
 る研究 水野 耕嗣
 中世城館跡出土資料を中心とした

茶道具—南信州の茶臼・茶湯釜
 馬場 保之
 南信州の石造五輪塔の変遷 岡田 正彦

◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所
 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
 TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp
 ◇45 2010.4 A4 4p
 歴史研究所の平成22年度事業概要
 ／飯田アカデミア2010／歴史研
 ゼミ／BOOK 第1回地域史惣
 寄合報告集 地域史の現在
 リレーエッセイ 飯田＝シャルル
 ヴィル・メジュール史学交流 吉田 伸之
 「飯田町の暮らし3」につづき、ジ
 ユニア・ライブラリー2でも、
 取材にご協力いただいた、開島
 登さんに「水引のまち飯田」刊行
 に寄せてお話を聞きました。
 ◇46 2010.6 A4 4p
 第3回歴史学オリエンテーション
 を開催します／飯田アカデミア
 ／2010年度研究計画をご紹介します
 ます／定例研究会／歴史ゼミ
 市民の声 文字のデザインと私と
 の出会い 林 武史
 リレーエッセイ
 学び続ける半世紀 齊藤 俊江

◆伊那 伊那史学会
 〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
 TEL0265-22-6017 年5500円
 ◇983 (58-4) 2010.4 A5 52p 500円
 《考古学特集》
 口絵
 松尾城跡三の郭出土の茶湯釜 馬場 保之
 石鍾の諸形態と多様な用途 渡辺 誠

縄文集落における土偶のあり方
—増子新切遺跡の場合 桐原 健
下伊那と諏訪の弥生時代にみる相
違 神村 透
伊久間原遺跡採集の削器と鋸齒縁
石器—明かすべき石器石材の入
手場所と考察 市橋 雄一
飯田市鶯ヶ城跡と鬼釜遺跡の発掘
調査概報 曳地 隆元
吉川庄作氏旧蔵の遺物が寄託され
た 今村 善興
平成21年 下伊那考古学年報 岡田 正彦
◇984 (58-5) 2010.5 A5 50p 500円
口絵 御家断絶を恐れた大名の心
境—幕府老臣宛飯田藩主堀親貞
書状 今牧 久
信州遠山の「御役樽木」 前澤 健
阿南町新野における近世～明治期
の馬生産と馬市場 塩澤 元広
幻の天龍美術館(前)
—長野県で最初の美術館か 鎌倉 貞男
高森町歴史民俗資料館特別展「下
伊那の国学と本学神社」を観て
手塚 勝昭
◇985 (58-6) 2010.6 A5 50p 500円
口絵 喬木村富田諏訪神社の幣束
今村 理則
シンポジウムの開催にあたって 今村 理則
〈伊那谷研究団体協議会第8回シンポジウム
地名からみる伊那谷の自然と歴史〉
基調報告 地名からみる伊那谷の
自然と歴史 原 董
研究発表
シカの生息密度は、地質・地名
と関係しているかも知れない
!?—三峰川地滑り地帯・丹沢
・南信濃等のジオツアーに参
加して 木下 進

神坂峠周辺の金属関係地名 羽場 睦美
石造五輪塔に関する地名 岡田 正彦
全体研究会
特別寄稿 伊賀良の寂円道場—地
名の資料化をとおして 宮澤 恒之
◇986 (58-7) 2010.7 A5 50p 500円
口絵 鳩ヶ嶺八幡宮・郊戸八幡宮
に奉納された堀侯揮毫の扁額 櫻井 弘人
篤胤歿後の門人 清内路村の原信
好—附 平井鍊胤の書簡と亀山
嘉治の歌 林 登美人
幻の天龍美術館(後)—中央の政・
官界や書・画壇からの賛助も得
た美術館 鎌倉 貞男
資料「飯田大火見舞」から読み解
ける義援金・義援物資と罹災児
童・生徒、教職員の様子 石井 秀昌
座光寺村 明治22年の村会議員選
挙 今村 善興
「あきはみち」に寄せる人々の心
(24) 大原千和喜
アサギマダラとフジバカマ 林 清隆
お練りにまつわることごと 依田 時子
◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
TEL0265-78-6719 年5000円
◇639 (54-4) 2010.4 A5 40p 500円
《考古特集号》
神子柴文化の探究(1)—遊動から
半定住生活への胎動 田中 清文
偶感 中越遺跡の壺形土器 桐原 健
飯島氏を考える
—若森社遺跡調査から 太田 保
残された遺物と教育利用
—発掘調査体験を通して 福澤 浩之
耳飾りの譜系について
—上伊那地方の原始・古代 御子柴泰正

古文書の窓(94) 村方の記録に見
る明治初期貨幣制度改革の実状
伊藤 一夫
師匠の背中(2)より(19)
小さな殺生 若林 徹男
◇640 (54-5) 2010.5 A5 40p 500円
良寛さんは母の三回忌に出雲崎に
いた—天明4年(1784)金鳳寺に
巡錫したことから 小原 洋一
「手良村報」に見る昭和初期の暮らし(4)
大不況下の暮らしを中心に 宮原 達明
神子柴文化の探究(2)—遊動から
半定住生活への胎動 田中 清文
思い出の人・思い出の事(2)
向山雅重先生(民俗画家) 桃澤 匡行
明音寺の富小路家より寄進された
駕籠について 矢澤 喬治
文化短信
上伊那視聴覚ライブラリー 氣賀澤厚典
考古あれこれ(6)
中川村出土の土偶 寺平 宏
師匠の背中(2)より(20)
酒飲みの鏡 若林 徹男
◇641 (54-6) 2010.6 A5 40p 500円
《自然と人間との関わり特集》
「郷学官」共同の森林活動—伊那
市手良・水無山での取り組み 井元 幸子
石造文化財などから見た木曾駒ヶ
岳信仰 高田健三/湯川喜義/田口計介
南箕輪の野鳥観察
南箕輪中学校科学技術クラブ
薄田有矢/有賀達郎/橋爪龍之介/
伊久間美樹/大澤友貴/羽場珠里
大正時代の東駒ヶ嶽登山案内 山岸 貢
思い出の人・思い出の事(3)
宮脇昌三先生(国文学者) 桃澤 匡行
古文書の窓(95) 文政十二年規定
書(高遠領・田原村) 池上 正直

師匠の背中(2)より(21)
土手の草刈り 若林 徹男
◇642 (54-7) 2010.7 A5 40p 500円
江戸時代における耕地の開発—高
遠藩領川下郷境村についての考
察 酒井 巖
明治期から平成期に至る小字の変
遷について—辰野町の場合 小林 辰興
思い出の人・思い出の事(4) 土
屋文明先生(歌人・文化勲章受
章者)、松井芒人先生(アララ
ギ派歌人) 桃澤 匡行
天狗党水戸浪士の和田嶺合戦絵巻
について 矢澤 喬治
養蚕かるた(4) 山本 勝
考古あれこれ(7) 古東山道にお
ける天竜川渡河点を考える 田中 清文
文化短信 「伊那谷学」・「伊那谷
まるごと博物館」構想について
山口 通之
師匠の背中(2)より(22)
雨期の農具の始末 若林 徹男
◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円
◇81 2010.6 B5 8p
柳田民俗学と教育現場の蜜月は再
来するか 小田 富英
下栗での民俗調査から(中) 浮葉 正親
柳田国男研究 『明治大正史世相
篇』第12章「貧と病」読んで 原 幸夫
伊那近代思想史研究会(29) 森本
史料紹介 愛國勤労党「国際聯
盟を脱退し満蒙國策を断行せ
よ」 齊藤 俊江

◆上田盆地 上田民俗研究会
〒386-0014長野県上田市材木町1-2-47
上田市立図書館内 TEL0268-22-5999
1960年創刊

◇40 2010.3 A5 68p
祢津の歩く巫女—ノノウ
その実像を追って 石川 好一
芸能に登場する巫女 益子 輝之
上田地方の神子たち 宮沢裕紀子
「高田瞽女」さんについて 金井喜平次
上田藩士芦田勘兵衛の葬送・追善
について—芦田柔太郎筆「新葬
略記」より 寺島 隆史

◆佐久 佐久史学会
〒385-0052長野県佐久市原83-4 白田辰雄
方 TEL0267-62-3168 年2500円

◇59 2010.3 A5 72p
口絵写真 国重要文化財
新海三社神社東本社 柳澤 全三
民話絵物語(51) 津金寺の仁王様
大日方寛／原勝実

私の「佐久史考」(1)
「佐久」の語源を追って 小林 基茂
信濃国府の発見と古代佐久「七郷」
白田 明
史料提供 平賀氏歴史年表 木内 勝
銅鈿と太陽信仰
—鈿の役を引き継いだ鏡 柳沢 賢次
読者の広場
一遍上人と小田切の里 山口 勝秀
一遍上人と故郷の思い出 松井 智子
獅子舞の思い出
—小田井宿九十九会 小林太郎／他
軽井沢物語
剣に代ふる—尾崎罌堂 塩川 治子
学校新聞創刊と尾崎罌堂 中山 恭成
漢詩講座 第25回

—白楽天「長恨歌」(5) 木村 良一

◆史学 義仲 木曾義仲史学会
〒390-1401長野県松本市波田町5904-5
千村清文方 TEL0263-92-6815 年3500円
1999年創刊 shigakukai.hyu.jp

◇11 2010.3 A5 100p
特集 全国版 山吹御前の伝承ス
ポット
日蝕と水鳥の戦い 志村 平治
平成臨時仮想法廷 高坪 守男
冷や汗の義仲講演 松原 重雄
平家物語が語らなかった歴史の真
実 西川 早苗
木曾義仲悪者説への反論 今井 弘幸
北条早雲の里を訪ねて
—備中伊勢氏 國定美津子
中原兼遠公・木曾義仲公八百年祭
記念献句大会作品集 風越句会
—木曾の現代文化史料の保存 楯 英雄

◆信濃 信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.com

◇723 (62-4) 2010.4 A5 80p 900円
《考古学特集号》
先史時代研究における胎土分析 水沢 教子
土偶雑感—出土状態から中期の土
偶 桐原 健
旧長野市内域の条里的な地割—新
幹線関連の発掘調査成果から 原 明芳
研究ノート
特殊扁壺とひょうたん柄杓 宮島 智広
資料紹介 北安曇郡八坂村生婦平
出土の八稜鏡 山本 紀之
◇724 (62-5) 2010.5 A5 82p 900円
橋爪玄惟とその子孫の足跡—近世

後期・小県郡青木村の医師・文
化人 橋詰 洋司
第一次上田合戦前後における真田
昌幸の動静の再考 寺島 隆史
善光寺金堂再建に至る裏咄 仁科 叔子
信州安曇野 歌枕探訪 伝承地名
攷—信濃路に聴く歌枕 松尾芭
蕉の吟行と安曇野に残る歌枕
有明山についての考証 草間 美登
書評 北熊井区誌編集委員会編
(塩尻市)『北熊井区誌』 小野 和英
◇725 (62-6) 2010.6 A5 88p 900円
《隣県特集号
隣県地方史学界の動向—平成21年(2009)》
新潟県地方史研究の動向
石原正敏／前嶋敏／渡部
浩二／田邊幹／池田哲夫
群馬県地方史研究の動向
深澤敦仁／築瀬大輔／丑木幸男
岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓
埼玉県地方史研究の動向
石坂俊郎／新井浩文／実松幸男
富山県地方史研究の動向
古川知明／久保尚文／
高橋延定／太田久夫
山梨県地方史研究の動向
網倉邦生／西川広平
長野県地方史研究の動向
桜井秀雄／福島正樹／山崎会
理／田玉徳明／細井雄次郎
◇726 (62-7) 2010.7 A5 82p 900円
明治期から平成期に至る小字の変
遷について—長野県上伊那郡辰
野町の場合 小林 辰興
明治中期以後、長野県教導職の終
末状況—制度廃止前後と、その
後の神道教派 田川 幸生
信濃国高遠藩士・阪本天山は易経

の構成をどう考えたか—その説
卦三篇の説を検証する 林 洋一
資料紹介 徴兵検査—壮丁連名簿
と国民兵役名簿から—木曾旧日
義村役場兵事資料より(中) 神村 透
研究の窓 役場日誌に見る戦時中
の村の様子 関口 楳邨

◆千曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13 上小
教育会館内 TEL0268-24-2182 年3000円

◇144 2010.6 A5 63p
新発見の尺牘や墨蹟による新見解
別所安楽寺樵谷惟仙禅師の生涯
(2) 桜井 松夫
上田川西地区の中世を歩く(3)
戦国時代の浦野城 尾見 智志
奈良時代の信濃国府の所在地に関
する考察 金澤 道弘
江戸時代の金銭の計算について
—銅一匁の銭を知ること 大澤 廣
窓(3) 天明の浅間山大噴火で避
難した農民 倉嶋 勝夫
連載講座
古文書解読講座 第137回 寺島 隆史
平成22年度 東信史学会総会報告
地区だより

◆テラス 飯田市美術博物館ニュース
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
TEL0265-22-8118 www.iida-museum.org

◇84 2010.3 A4 4p
飯田お練りまつり協賛特別展 信
州飯田藩主堀侯—日本を動かし
た郷土の外様大名—上郷考古
博物館平成22年度速報展 発掘
された古代の飯田2010 / 企画
展 第7回飯田市藤本四八写真

文化賞受賞作品展
館長コラム わら筆のことなど 滝沢 具幸

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年3000円
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇270 2010.4 A5 48p 700円
小林計一郎の原点(1)
一茶の話(上) 小林計一郎
東の酒屋徳左衛門考 矢野 恒雄
『見集録 坤』の紹介(7)―『見集
録 坤』の紹介を終わって 鬼頭 康之
(追悼 小林計一郎先生)
小林前会長先生を偲んで 常盤 眞重
意中の人 古川 進
「計ちゃん先生」の思い出 古川 道子
小林計一郎会長さんの逝去を偲び
て 中島 重人
長野郷土史研究会との出会い 樋口 勝
先生のご冥福をお祈りします 塚本 照美
『長野』261～270号目次
講談「真田三代記」(24) 小林 一郎
◇271 2010.6 A5 48p 700円
小林計一郎の原点(2)
一茶の話(下) 小林計一郎
歴代本因坊と信州(1) 一世算砂 中田 敬三
須田相模守満親と本願寺 志村 平治
欠落者考 吉岡 知雄
秋山好古、対旭館(御本陣藤屋)に
一泊 八木 輝夫
追悼 小林計一郎先生
小林計一郎先生を偲んで 丸田 修治
小林先生の優れた教え 長澤 要
先生を偲んで 戸津 在雄
講談「真田三代記」(25) 小林 一郎

◆長野県民俗の会通信

〒390-0222松本市入山辺1403 木下守方
TEL0263-50-9911 年5000円
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇217 2010.5 B5 8p
「道祖神」演歌論覚書 倉石 忠彦
松本平の「オフリョウ」神事の覚
え 木下 守
新コーナー「葉書でつぶやく」
長野県民俗の会第171回例会のご
案内 事務局
◇218 2010.7 B5 8p
松原諏方神社と御柱祭 内山 大介
韓国 仮面劇鑑賞記(1) 倉石あつ子
第172回例会のご案内 事務局

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園
内 TEL058-265-0010 1985年創刊
◇74 2010.4 A4 8p
北斎漫画の伝承版木と摺りあがっ
た作品(北斎漫画15編15丁)
特別展 葛飾北斎生誕250年記念
「北斎漫画―江戸伝承版木を擦
る―」
岐阜市・富山市都市間交流事業
特別展 美濃と越中を結ぶ考古
展Ⅱ「城と都市―遺跡から見る
戦国と江戸―」
加藤栄三・東一記念美術館 ～花
は散るゆえに美しい～ 加藤栄
三・東一「花・はな展」
歴博セレクション 和傘の世界
博物館ニュース みんなあつまれ
!!お手玉大会/信長学推進にむ
けて/平成21年度受贈資料
館蔵資料紹介 桐丸紋散長柄鉾子

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会
〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館
内 TEL058-275-5111 年2800円 1973年創刊
www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm

◇113 2010.3 B5 28p
輪中文化景観の保全に思う 新谷 一男
平成21年度講演会 織田信長研究
の諸問題―岐阜時代を中心にし
て(抄録) 小和田哲男
近代の経済変動と地域金融機関の
変遷―西濃地域を中心として
(2) 山田 賢二
美濃加茂地域の古代寺院(1)
深貝郁子/窪佳世
書窓の風
岐阜 JR岐阜駅北口・信長ゆ
め広場と信長の稲葉山城攻略
時期について 鈴木 秀雄
美濃 旅役者・嵐璃橋之丞とそ
の娘川田芳子? 馬淵 旻修
飛騨 西村宏一さんのお仕事 福井 重治
郷土関係新刊書目録(99)
郷土関係逐次刊行物文献目録(98)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532 TEL0538
-32-3546 www.4.tokai.or.jp/child-cj/
◇35 2010.4 A4 4p
京都 吉祥院六斎念仏 菅原組 吉川 祐子
◇36 2010.5 A4 4p
脇町あつての島田の大祭り 吉川 祐子
◇37 2010.6 A4 4p
若者から天社殿、そして保存会へ
天宮舞楽伝承組織の変動 吉川 祐子
◇38 2010.7 A4 6p
総社神社の麦酒祭り
滋賀県甲賀市水口町 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学
情報学部 荒川章二研究室内 年4000円
◇379 2010.4 B5 4p 200円
共同研究「静岡県の戦後史」(仮)
の出版に向け執筆者を募集しま
す!(再募集) 橋本 誠一
4月例会レジュメ 朝鮮通信使に
関する高校生の認識度の変化 北村 欽哉
静岡へ移住した紅葉山楽人(1) 樋口 雄彦
『聞き書き 静岡の女性 二〇世
紀を生きる』発刊のお知らせ
◇380 2010.5 B5 4p 200円
5月例会レジュメ 合評会 森武
麿編著『1950年代と地域社会
神奈川小田原地域を対象とし
て』(現代史料出版、2009年6月、
383頁) 橋本 誠一
静岡へ移住した紅葉山楽人(2) 樋口 雄彦
『聞き書き 静岡の女性 二〇世
紀を生きる』(ドメス出版)を読
んで 肥田 正巳
『日録・大杉栄伝』(社会評論社)
の発刊
◇381 2010.6 B5 4p 200円
6月例会レジュメ アジア・太平
洋戦争期地域史研究のフロンテ
ィアを手さぐりする―市史編さ
んに参加して 土居 和江
図書紹介
清水啓介『現存奉安殿調査』 村瀬 隆彦
加藤正彦・八耳文之編『黒羽清
隆歴史教育論集』 川上 努
論文紹介 時田鉦平「静岡茶の現
代史おぼえ(戦後64年間)」 村瀬 隆彦
◇382 2010.7 B5 4p 200円
7月例会レジュメ I 自治体にお
ける文書の保存と地域史料 小林 丈広

7月例会レジュメⅡ 伊豆における資料保存の実践 近代伊豆の石材について 西村慎太郎
明治初年静岡の郷宿 橋本 誠一
研究素描

◆静岡県民俗学会誌

〒420-0866静岡市葵区西草深町21-7-302
1977年創刊
homepage3.nifty.com/s-folklore/

◇135 2010.4 A4 6p

平成22年度総会・大会
講演要旨 金子 淳
第3回卒業論文発表会・相談会終
わる 松田香代子
資料報告 遠州地方の位牌分け 富山 昭
シリーズ食(11) サトイモ(里芋) 増田作一郎

静岡の民俗語彙・方言短信
ハリモグ 富山 昭
博物館情報／まつり・イベント情
報

◆静岡歴史研究会 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 TEL054-286-8659

◇128 2010.6 B5 16p

平成22年度総会
第88回研究会 遠藤照夫氏の「大
黒沢・楠沢の金山衆の屋敷跡」
の概要／望月古直氏の「總向遺
跡と『日本書紀』」の概要／松
葉屋幸則氏の「羽林中将(冷泉
隆茂)と中世の須庄津」の概要
近江八話(6) 東山道柏原・番場
の悲劇—増鏡・梅松論からみる

鈴木 康弘
郷土が生んだ偉大な詩人「藤田ま

さと」の遺品展をたずねて 川勝 高士

◆豆州歴史通信 豆州研究社歴史通信部

〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10

◇458 2010.4 B5 4p

1932(昭和7)年 熱海騒擾事件
狩野川改修工事に朝鮮労働者二
百余人が失業して同盟を結成
1940(昭和15)年 伊豆の朝鮮労働
者の就労地域

◇459 2010.4 B5 4p

1940(昭和15)年 韓国人労働者へ
強制労働の時間外に日本化教育
内鮮融和は口実のみ実質は日
本化

1941(昭和16)年 韓国人鉱山労働
者の抵抗

◇460 2010.5 B5 4p

1919(大正8)年、伊豆土肥金山賃
上闘争 戦後の不景気はじま
る。各地で、さかん 第一次世
界大戦で社会に大変化

◇461 2010.5 B5 4p

1920(大正9)年、伊豆土肥金山精
錬所 漁業発展阻止 認可取り
消し運動高まる。

県道下田・伊東の工事を早くして
1925(大正14)年11月14日 河津
町役場所蔵資料

◆駿河 駿河郷土史研究会

〒417-0061静岡県富士市伝法66-2 富士市
立博物館内 TEL0545-21-3380 1965年創刊

◇64 2010.3 B5 187p

表紙解説 富士塚の移り変わり 渡邊 繁治
巻頭言

知るうれしさと語る楽しみ 渡邊 繁治
若林淳之先生を悼む 編集子

河岸段丘のムラ(1) 池谷九万夫
実相寺衆徒愁状 立正安国論 渡辺 繁治
浮島沼開発の水路跡 望月 宏充
曾我八幡宮について(2) 杉山 熙司
困った話 加藤 秀夫
木造の校舎(母校富士高) 鈴木 清見
「羽林さん(冷泉中将)」と中世須
津庄の考察 松葉屋幸則
和算を探る 渡辺 照好
江戸時代の飛脚 渡辺 誠
近世元吉原の成立

一田子の古道説を比定 高田 國義
金剛赤精善神兩宝童子坐像 石川 健三
善得寺関係残像の数々 仁藤宏之助
富士山と女人禁制 和田 嘉夫
幕末維新期における二つの第二東
海道論の考察 田中 淳一
雁堤築堤の一考察 石川 雅也
甲駿を結ぶみち 今昔物語 高柳 基雄
会議(総会・理事会・事務局会議・
各専門部等)の活動報告

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇226 2010.4 A5 33p(抄)

熱田社の和歌と文学(27)—『先代
旧事本紀大成経』の場合 八木意知男
近世初頭熱田社社人の変遷 太田 正弘

◇227 2010.7 A5 32p(抄)

熱田社の和歌と文学(28)
—『われもかう日記』の場合 八木意知男
熱田神宮宝刀襍話(5)
熱田宝刀の村正について 福井 款彦

◆安城民俗 安城民俗談話会

〒446-0026愛知県安城市安城町清水23-4
川合正治方 TEL0566-76-6638

◇34 2010.6 B5 12p

77歳の生き甲斐 榊原 啓修
煮味噌 近藤由美子
東海白寿三十三観音霊場巡礼 阿部 健
地名あれこれなし 加藤 研一
桜咲く甲州路の旅 川合 正治
談話会活動記録

◆基層文化 基層文化研究会

〒465-0017名古屋市長東区つつじが丘201-
26-207 小田雄三方 TEL052-771-3886

◇1 2010.6 B5 28p

巻頭言 周東 一也
「基層文化」創刊に寄せて 姫田 忠義
美濃和紙とモダンアート 森 妙子
越後の川舟 赤羽 正春
資料 拜啓 各位殿 小田 雄三
資料 対談 姫田忠義 VS 川田順
造「舟が教える深く広い世界」
第1回

資料 「基層文化研究会」設立趣
意書(2002.6.23)

◆郷土研究誌かりや

刈谷市郷土文化研究会
〒448-0852愛知県刈谷市住吉町4-1
刈谷中央図書館内 TEL0566-25-6000
1980年創刊

◇31 2010.3 A5 103p

江戸時代尾張名古屋の出版事情 青木 健
教育者・易者の石川文中(榮四郎)
—教育者としての文中 鈴木 廣始
製法技法にみる製塩土器の器形推
移—照光堂坂下遺跡出土資料よ
り 伊藤 利和
加藤紫軒の作品 加藤修／加藤俊彦
今川・織田合戦後の刈谷城郭炎上
平井 芳男

史料紹介 半城土村の「お寺」に
ついて 渡邊哲郎／稲垣恒夫／矢田富治
重原ほうろく 杉浦 卓次

三月三日雛祭りの習俗
—がんど貰いとんご餅 永田 友市
真宗大谷派「観音堂」について 矢田 富治
戦後の心象風景
—学校の思い出から 岡本 建国
宮城道雄と刈谷—1956～2010年 鈴木 哲
市内研修会に参加して
松雲院の由緒と文化財 平井 芳男
県内研修 犬山城下町と寂光院 原田 光敏
平成21年度 刈谷市郷土文化研究
会の歩み

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会
〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜
字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内
TEL0569-65-2880 1966年創刊

◇89 2010.5 A5 80p 500円
全久寺所蔵「木造地藏菩薩立像」中村 祥
名古屋城築城の採石地—篠島(3)
石橋伊鶴／辻徳忠／松本亀男
清正の枕石と中村光起 高田 祐吉
名古屋城と篠島の矢穴 石橋 伊鶴
「みなみ」創刊から44年
三つの逸話と私の虎之巻 大岩 隆
脈絡潭 加藤喜代吉
三方原の戦い—三方原の戦いへ武
田軍は信濃から南下したのか？

安原 俊実
知多半島の中世産業遺産 村田 修
歩兵第229聯隊通信隊 ニュージ
ョージャ島ムンダ 馬蹄山戦闘
記 鶴海 士郎

資料紹介 風流漫筆「知多めぐり」
—折本・昭和12年発行・稲垣有
編著 永田 文夫

源氏の軍資金 南知多町誌
南知多の人 大道寺忠七 中村 祥

◆東海近代史研究 東海近代史研究会
〒482-0044岩倉市宮前町2-75 西形久司方
TEL0587-66-7569 1979年創刊

◇31 2010.6 B5 152p
巻頭言 高木 茂樹
“帝国”体制下の都市構想と地域
アイデンティティ—「大名古屋
論」をめぐる(1) 岡田 洋司
明治憲法と旧民権派—1889年2月
の『新愛知』の記事を中心に 稲田 雅洋
史料紹介 名古屋の社会主義者鈴
木橋夫と遠州三倉村との交流 田村 貞雄
シリーズ・地域に根ざし平和を語
りつぐ(1)
半田戦災史の掘りおこしと継承

佐藤 明夫
戦時下の小田原地方を記録する
会 矢野 慎一
「草莽」—そのさまざまな肖像(2) 秦 達之
資料紹介 名古屋三・二四空襲の
作戦任務報告書(中) 西形 久司
書評 高橋敏著『清水次郎長 幕
末維新と博徒の世界』 秦 達之
歴史の小径
少年兵の反抗 秦 達之
追悼 大江志乃夫先生「新手—
生」の研究者人生 田村 貞雄
東欧道中膝栗毛 西形 久司

◆豊田市史研究
〒471-0079愛知県豊田市陣中町1-19-1
豊田市教育委員会文化財課市史編さん室
TEL0565-32-0570 2010年創刊

◇1 2010.3 A4 130p
刊行によせて 鈴木 公平

発刊によせて 阿部 和俊
旭地区榎本・常福寺の十一面観音
菩薩立像について 見田 隆鑑
豊田市における夏型気圧配置の大
気環境 大和田道雄／神谷俊彦
縄文時代の石鍾類について—豊田
市今朝平遺跡出土資料の分析を
中心に 川添 和暁
統計指標からみた旧豊田・加茂地
域の変化 1950-2005 平川 雄一
豊田市に生息するドブガイとアズ
キガイ 川瀬 基弘
調査報告「粟津家申物帳」 安藤 弥
天保七年三州加茂一揆
—史料と叙述・研究の紹介 長谷川伸三
新修豊田市史編さん活動記録／新
修豊田市史編さん関係者名簿

◆年報 近現代史研究 近現代史研究会
〒464-8601名古屋千種区不老町
名古屋大学文学研究科日本史学研究室気付
TEL052-789-2228

◇2 2010.3 B5 86p
《特集 移行期・転換期における社会と経済》
特集にあたって 研究委員会
日本の工業化と「在来的経済発展」
—小農経済から都市型産業集積
へ 谷本 雅之
明治前期地域研究のいくつかの論
点—滋賀県の事例から 高久嶺之介
研究ノート
愛知県の名所旧跡調査 石川 寛
書評
川田稔著『浜口雄幸と永田鉄山』 井筒 康人
加藤聖文著『「大日本帝国」崩壊
—東アジアの1945年—』 関口 哲矢
2009年度近現代研究会総会報告

◆年報 中世史研究 中世史研究会
〒464-8601名古屋千種区不老町
名古屋大学文学部日本史研究室気付
TEL052-789-2228

◇35 2010.5 A5 185p
播磨国における山名氏権力の地域
支配構造—郡単位の統治機構に
注目して 稲垣 翔
南北朝期室町幕府における「当参
奉公人」と軍勢催促 渡邊 元観
聖・山伏がうみだした戦国期の本
願—多賀社本願不動院を事例と
して 工藤 克洋
鎌倉府の書札礼—『鎌倉年中行事』
の分析を中心に 小久保嘉紀
史料紹介 戦国期大坂本願寺造営
記録二冊 安藤 弥

◆蓬左 名古屋市蓬左文庫
〒461-0023名古屋市東区徳川町1001
TEL052-935-2173 housa.city.nagoya.jp

◇80 2010.3 A4 8p
蓬左文庫・徳川美術館開館75周年
の歩み 桐原 千文
平成22年4月7日(水)～5月23日(日)
展示室1・2 徳川美術館 春
季特別展 王者の華 牡丹
平成22年5月26日(水)～7月25日
(日) 展示室1・2 家康のま
つり—名古屋東照宮祭礼—
平成22年7月28日(水)～9月26日
(日) 展示室1・2 大名古屋
城展
東照宮祭礼の山車

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円

◇547 (50-3) 2010.5 B5 8p 600円
 ワンツァ村の仮面舞踊(前)—ブー
 タン・ハ地方の正月行事 久保田裕道
 中国安徽省の春節 沼崎 麻矢
 大矢田ひんこ祭り見学記 鷺野 正昭
 ◇548 (50-4) 2010.7 B5 8p 600円
 埼玉・二丁目の獅子舞 石川 博司
 ワンツァ村の仮面舞踊(後)—ブー
 タン・ハ地方の正月行事 久保田裕道
 まつり同好会の五十周年 記念事
 業実施のお知らせとお願い

◆民俗と風俗 日本民俗史学会中部支部
 〒465-0064名古屋市名東区大針1-204
 衣の民俗館 TEL052-701-7568 年5000円

◇20 2010.3 B5 192p
 トルコにみる伝統手芸
 —オヤに関する一考察 大塚 有里
 長崎市歴史民俗資料館所蔵「教育
 女子技藝圖會」に関する史的考
 察 柿山 哲治
 名古屋における扇子製造について
 の覚書 長谷川洋一
 中国の少数民族の衣装について 近藤 英明
 戦時統制期の鈴鎌毛織工場関連資
 料とその目録(1)—生産・流通
 関係資料を中心に 横川 公子
 「琉球人坐楽之図」絵巻にみる琉
 球人風俗の考察 植木ちか子
 『はな橘』にみる明治期の菓子業
 界—上菓子屋の権威 須川 妙子
 押さえ瓦—三州瓦における瓦製品
 の一例 天野 卓哉
 名古屋城石垣刻紋考(2) 窪 佳世
 ハイダとタヒチの文化復興とイレ
 ズミの復活 桑原 牧子
 初心者向け狂言教材の制作
 —『仏師』の英文教材化

ウィリアム・ベトルシャック
 / 飯塚恵理人

座談会記録 丸山先生に考古学研
 究の真髄を聞く 木下紘美/楠見真央
 随筆 人間の美 久田 順子
 随筆 小唄の近代 穂積 和夫
 書評/第21回学位論文報告要旨
 『民俗と風俗』『研究紀要』総目次・
 執筆者索引(創刊号～第20号)

◆皇學館史学 皇學館大学史学会
 〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
 皇學館大学文学部国史学科研究室
 TEL0596-22-6456 1986年創刊
 kokushi.kogakkan-u.ac.jp

◇25 2010.3 A5 138p
 渡辺寛教授の御退任にあたって 清水 潔
 渡辺寛教授略歴及び著作等目録
 (付講義・演習一覧)
 講演 敷田年治翁—その人と学問 渡辺 寛
 近世における伊勢国山田周辺地域
 と「差配人」—榎倉氏を中心に 谷戸 佑紀
 神社祭神名の記し方に関連して 鎌田 純一

◆史料 皇學館大学史料編纂所報
 〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
 TEL0596-22-6462

◇226 2010.6 B5 20p 200円
 『摂津国風土記』「比売嶋」小考 荊木 美行
 いにしへの伊勢(6)—絵葉書・古
 写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司
 ◇227 2010.9 B5 20p 200円
 名例律及び断獄律の条文復元につ
 いて—奈良時代法律復元の一
 方 法 上野 利三
 『日本後紀』延暦十八年十二月戊

戌条の「譜講」は「譜譚」か 白井伊佐牟
 正倉院文書の写本—架蔵『正倉
 院古文書寫』の紹介 荊木 美行
 いにしへの伊勢(7)—絵葉書・古写
 真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

◆三重の古文化
 三重郷土会
 〒514-0006三重県津市広明町252
 茅原弘方 TEL059-228-0783 年3000円

◇95 2010.3 A5 150p
 多度山の和鏡群と経塚 小玉 道明
 安楽寺木造阿弥陀如来立像につ
 て—調査報告と今後の課題 藤田 直信
 安濃、阿由多神社の神像・棟札・
 宗源宣旨 浅生 悦生
 「栗真庄小川村観音寺」銘の鰐口 和田 年弥
 津市白山町の円空作木造大日如来
 坐像について—新知見の円空仏
 龍川 和也

戊辰戦争と盲目の桑名町人榎村保
 寿の歎願運動—「榎村保寿談話
 筆記」の信憑性も兼ねて 水谷 憲二
 松阪市飯高町舟戸の五輪塔 駒田 利治
 松坂商人・竹内家(津嶋屋)の江戸
 期の経営について 大喜多甫文
 伊東富太郎の足跡(3)—香取秀真 石神 教親
 鳥羽竜発見秘録(三重県の白亜紀
 研究史) 萩原 正夫
 一志郡内の遺跡探訪
 —(続)考古少年のノートから 岩野 見司
 地域に残る文化財—文化財を活か
 したまちづくり 和氣 清章
 座談会 史跡斎宮跡国指定30年を振り返って
 辻孝雄/西山嘉治/
 木戸口眞澄/倉田直純
 「世界遺産登録」から5年 川端 守
 松浦武四郎記念館友の会の活動 飯田 秀

2009年、三重の文芸事情 藤田 明
 史料復刻 鈴鹿市「中尾家文書」
 三重郷土会古文書勉強会

新刊紹介
 伊勢神宮に仕える皇女斎宮跡
 新聞記事から 浅生 悦生
 事務局日誌 茅原 弘

◇付録 2010.3 A5 155p
 《探訪 三重の古文化》
 都から地方へ中世文化の伝播 平松 令三
 鎌倉時代北勢地区土豪の宗教生活 平松 令三
 神社の棟札が語る村の歴史 平松 令三
 かんこ踊りの響きと歌声 平松 令三
 高田山専修寺真慧の伊勢国教化 平松 令三
 寺内町一身田 平松 令三
 白塚の通夜講とししこ念仏 平松 令三
 伊勢市小町塚の瓦経が語る来世へ
 の願い 平松 令三
 志摩片田の大般若経をめぐって 平松 令三

近畿

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団
 〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
 TEL077-522-8369 年3160円
 www.shiga-bunshin.or.jp

◇131 (34-2) 2010.4 B5 92p 630円
 《特集 東海道本線・草津線全線開通120年》
 歴史に彩られた鉄道 ぶらり各駅
 停車—東海道線・草津線 辻 良樹
 湖国レディス・アイ(22) 吹雪の
 ワカサギ釣り…滋賀の魅力に触
 れて 横田 加奈
 滋賀のかくれ里(15) 石をたずね
 て(1) 石塔寺の石造三重塔 いかいゆり子
 興味津津 私の新江(7)
 白いオコナイ MOTOKO
 あの町この町(28) 甲良町 今関 信子

滋賀の伝説と民話「ネズミの婿探し」 渡邊守順／斉藤裕子
 湖国藝術紀行(4) 映画「キクとイサム」から五十年(下) 梅澤 幸平
 ふるさと四季の味(27) 先人の知恵に学ぶ身欠きにしん料理 小川 久子
 編集長対談 湖に生きる(36) 大津市長 目片信さん 根津眞澄／馬場和実
 近江人物伝(5) 西野恵荘 木村 至宏
 湖国 人・物・風景(20) 近江商人のふるさととは 歌人・文人たちの故郷 五個荘(東近江市) 苗村 和正
 ごきげんさん(32) 滋賀県立琵琶湖環境科学研究センター長 内藤正明さん 辻村 琴美
 近江の海 おーい老いと呼んでみる(20) 一筆書きの琵琶湖 熊谷栄三郎
 北から南から 西川清子／岸野洋／江竜喜信 植田司／今井信／奥田安都佐
 故・中井二三雄編集長の遺稿「流れゆく時の早さかな」
 続・ふるさと歴史散歩「白鬚神社から」—高島市勝野近辺 早藤 貞二
 再発見！滋賀の文学(10) 近江の心(2) 「この子らを世の光に」井上 次雄
 やんちゃ坊主伝 戦中戦後編(10) 敗戦後の干拓動員 高橋 勉
 大谷昭宏のハートツーハート(25) 湖国の伝統と文化 動く“暖簾” だった名編集長を偲ぶ 大谷 昭弘
 水源の森を訪ねて(30) 高時川本流 檀上 俊雄
 伝承に見る淡海(28) 水没した阿曾津千軒と阿曾津婆の話 黄地百合子

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
 TEL0749-22-6100

www.city.hikone.shiga.jp/museum/

◇89 2010.6 A4 4p
 シリーズ戦国開幕 戦国巻の1「激動の佐和山城—群雄割拠の時代—」、戦国巻の2「激動の佐和山城—石田三成の時代—」／テーマ展「鬼神と霊—能にみる異界—」／テーマ展「井伊家伝来茶道具名品選—名物茶器から直弼まで—」
 金亀玉鶴 井伊直忠と中村直彦—井伊家伝来の能面を見る—一視点 降矢 淳子
 刊行物のごあんない 『彦根城博物館研究紀要』第21号—湖東焼絵付師・自然斎特集号、彦根藩士の履歴史料『彦根藩史料叢書侍中由緒帳』11

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
 TEL0740-36-1414 年4800円

◇559 2010.4 B5 12p 400円
 日本人は島国根性からの脱皮を—自然環境によって各民族の人生観が異なる 菅沼晃次郎
 戦時中の出版物(1) 吉岡 郁夫
 近江と柳田民俗学(7) —珍石奇岩説と北近江 馬場杉右衛門
 湖北の芭蕉句碑と有名無名句碑— 敦賀・大垣の芭蕉の足取り 馬場杉右衛門
 奥琵琶湖周辺の伝(10) —阪敦琵琶湖運河の夢 馬場杉右衛門
 「伏せ替え工事」について —旧びわ町曾根 粕測 宏昭
 誕生祝いの裸の写真について 粕測 宏昭
 合切袋(合才袋)について 粕測 宏昭
 自転車用角形ランプについて 粕測 宏昭

明智光秀伝説の中世城郭発見(2) —犬上郡多賀町佐目 長谷川博美
 「高槻クラブスポーツ少年団」と共に—回想記(14) 奥山 芳夫
 ◇560 2010.5 B5 12p 400円
 建部伝内賢文の書の評価論(1) —芸術書と実用書の狭間 中村 武三
 戦時中の出版物(2) 吉岡 郁夫
 奥琵琶湖周辺の伝承(11)—敦賀連隊史蹟碑とトラック島の敦賀連隊 馬場杉右衛門
 近江湖西街道の伝承(1) —蓮如上人御影の北陸下向 馬場杉右衛門
 明智光秀伝説の中世城郭発見(3) —犬上郡多賀町佐目 長谷川博美
 滋賀の石造文化財(中世)の概観について(1) 福沢 邦夫
 自然の摂理を知ろう 田中 春二
 軽石について 粕測 宏昭
 灯心について 粕測 宏昭
 「高槻クラブスポーツ少年団」と共に—回想記(15) 奥山 芳夫
 ◇561 2010.6 B5 12p 400円
 建部伝内賢文の書の評価論(2) —芸術書と実用書の狭間 中村 武三
 戦時中の出版物(3)—原田三夫『氣象の化学絵話』 吉岡 郁夫
 近江湖西街道の伝承(2) —浅井氏の湖西進出 馬場杉右衛門
 米原市丹生溪谷の城(1) —松尾寺一本松の城 長谷川博美
 滋賀の石造文化財(中世)の概観について(2) 福沢 邦夫
 『坂の上の雲』の時代を庶民の視点で描いた『明治の風』 野村 宗一
 糸巻きについて 粕測 宏昭
 「高槻クラブスポーツ少年団」と共に—回想記(16) 奥山 芳夫

戦争と平和を体験して思う—人類の死生観は地理的・歴史的な生活環境によって異なる 菅沼晃次郎
 ◇562 2010.7 B5 12p 400円
 ヒマワリと太陽 吉岡 郁夫
 杖のフォークロア(1) 北野 晃
 戦時中の出版物(4) 『子供の科学』 吉岡 郁夫
 建部伝内賢文の書の評価論(3) —親王と伝内賢文との対比 中村 武三
 米原市丹生溪谷の城(2) —本城の発見・枝折 長谷川博美
 近江湖西街道の伝承(3) —信長金ヶ崎の敗走 馬場杉右衛門
 滋賀の石造文化財(中世)の概観について(3) 福沢 邦夫
 竹割りの道具について 粕測 宏昭
 「高槻クラブスポーツ少年団」と共に—回想記(17) 奥山 芳夫

◆京都民俗 京都民俗学談話会

〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96
 仏教大学文学部 八木透研究室気付
 TEL075-491-2141 年4000円

◇27 2010.3 A5 150p
 算置考—中世から近世初期までの占い師の実態を探って ハイエク・アテイアス
 流通民具概念再考 加藤 幸治
 由緒の効能—名古屋における木工 挽物業と職祖伝承の現在 木村 裕樹
 流行りだす神仏—その構造と思想 村田 典生
 東大寺播磨別所・浄土寺伽藍配置考—重源の迎講との関連 山田 貴生
 初期城崎温泉と温泉寺 柴田 久徳
 研究会報告

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
中村修方 FAX075-392-3743 年4000円
www.k5.dion.ne.jp/~pan/kodaishinoumi/
◇60 2010.6 A5 192p 1500円
巻頭言 文学の嘘 半沢 英一
歴史の理論・実証・叙述について
の断章—中村修さんの「初期国
家論」に寄せて 原 秀三郎
初期国家論（再録） 中村 修
地域での文化財保護について—チ
リ共和国北部サンペドロ・デ・
アタカマでの青年海外協力隊の
経験を基礎にして 市木 尚利
上代特殊仮名の根本的解明(14) 坂田 隆
会員ひろば
「茨城と佐保」追記 中村 修
うましようはし 渡部 正路
アンデス通信(13) 市木 尚利
〈小特集 『古代史の海』創刊十五周年記念
一言集〉
十五年をふり返って 白崎昭一郎
創刊十五周年おめでとうござい
ます 河越 尚司
『古代日本海文化』から『古代史
の海』への四半世紀 下司 和男
『古代史の海』十五周年に思う 中井かをり
十五周年記念号発刊おめでとうご
ざいます 山口 順久
『古代史の海』創刊十五周年おめ
てとうござい
ます 河野 宏文
創刊十五周年おめでとうござい
ます 今尾 文昭
創刊十五周年おめでとうござい
ます 辻川 哲朗
創刊十五周年おめでとうござい
ます 櫻井 信也
創刊十五周年おめでとうござい
ます

中村 貞史
創刊十五周年おめでとうござい
ます 野田 昌夫
古代の文化を未来につなぐ 富岡 正美
天皇という不思議 奥村 光雄
これからもずっと読者です 森 清
創刊十五周年おめでとうござい
ます 岩尾 守久
創刊十五周年おめでとうござい
ます 金森 邦夫
『古代史の海』創刊15周年誠にお
めでとうござい
ます 泉 正勝
創刊15周年をお慶びいたします 長野 靖
創刊十五周年おめでとうござい
ます 原田 勅
創刊15周年おめでとうござい
ます 寺田 文雄
創刊15周年おめでとうござい
ます 竹本 義昭
創刊十五周年おめでとうござい
ます 竹本 雅昭
創刊十五周年おめでとうござい
ます 豊中歴史同好会
創刊十五周年おめでとうござい
ます 齊藤 盛之
『古代史の海』創刊十五周年に寄
せて 森下りのり子
『古代史の海』誌60号刊行を祝す 明賀 猛
『太平御覧』所引「魏志倭人伝」
について—『魏書』引用説の検
討 下司 和男
印南の石棚を持つ古墳 重村 英雄
常世神にみる古代の神と虫 渡辺瑞穂子
エジプト・トルコ・ギリシャ紀行
金森 邦夫
小説 ホムタ・オシクマ戦争(1) 河野 宏文

◆史迹と美術 史迹美術同好会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
FAX075-441-3159 年8000円
◇804 (80-4) 2010.5 A5 34p 915円
京都市内の石造アーチ橋(上) 加藤 繁生
鬼瓦百選(83) 小林 章男
風水研究(5)
『营造宅経』和訳(1) 寺本 健三
第944回例会
高野山に涼を求めて 丸山 貞
第945回例会 自然—ぱいの東吉
野村付近の文化財 東 暲
平安遷都1300年祭のご案内
◇805 (80-5) 2010.6 A5 34p 915円
鬼瓦百選(84) 小林 章男
風水研究(5)
『营造宅経』和訳(2) 寺本 健三
京都市内の石造アーチ橋(中) 加藤 繁生
第946回例会前日会 鎌倉時代奈
良大仏殿の復興に尽くした重源
上人の信仰と技を山口市徳地に
訪ねる 東 暲
第946回例会 重源上人の遺徳を
受けた大内・毛利氏の遺跡・遺
物を防府市・山口市に訪ねる 東 暲
関係誌紹介
◇806 (80-6) 2010.7 A5 34p 915円
鬼瓦百選(85) 小林 章男
京都市内の石造アーチ橋(下) 加藤 繁生
風水研究(5)
『营造宅経』和訳(3) 寺本 健三
山田長政の考察 佐藤 郁太
第947回例会 和泉地区に伝わる
文化財を訪ねて 松永 修輔
新刊紹介 石造美術探訪記Ⅶ-2
『埼玉県南部の画像板碑』(村田
和義著) 中西 亨

口絵写真解説 西大谷めがね橋多
色石版図について 中西 亨
関係誌紹介

◆地名探究 京都地名研究会
〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
糸井通浩方 TEL0774-44-7636
年3000円 2003年創刊
www.geocities.jp/Kyotochimei/
◇8 2010.3 A4 82p
巻頭言 三人の意味 吉田 金彦
山背の古道を地名から探る—広隆
寺を通過する「斜めの道」の存
在 片平 博文
地名に見る「す・つ」の問題—丹
後の地名「久次」をめぐって 糸井 通浩
京都の地名と説話文学
—院政期の記録と比較して 安藤 哲郎
西国33所観音巡礼と京の寺院
—2008年・花山法皇没千年忌 山崎 泰正
「宇治十帖」と宇治—文学と地名 小寺 慶昭
京の上人町・木食応其 山崎 泰正
中世の境界争いを秘める比良山系
・折立山 綱本 逸雄
バス停「生田口(おいだくち)」 清水 弘
建部大社と宇治上神社 石田 天祐
平成21年度活動報告

◆史談福智山 福知山史談会
〒620-0884福知山市堀495-3
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546
◇694 2010.1 B5 6p
仏谷と磨子親王伝説 塩見 昭吾
由良川舟運の課題について 住本 剛史
◇695 2010.2 B5 4p
平成22年度福知山史談会総会報告
(編集者より)
記念講演 「福知山藩主松平忠房

- と仁清焼」講師 梶山博史氏
◇696 2010.3 B5 4p
平成22年度総会の記念講演について
大槻 伸
コラム 広峰古墳出土の盤龍鏡、
いよいよ本領発揮 塩見 昭吾
◇697 2010.4 B5 4p
平成22年度春の例会 室尾山谷観
音寺の歴史を中心に—南山を探訪
の概略(編集者より)
◇698 2010.5 B5 6p
連絡運輸からみた中小私鉄の輸送
—北丹鉄道の事例を中心に 住本 剛史
◇699 2010.6 B5 4p
連絡運輸からみた中小私鉄の輸送
—北丹鉄道の事例を中心に(2) 住本 剛史
- ◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
糸井通浩方 TEL0774-44-7636 年3000円
www.geocities.jp/Kyotochimei/
◇33 2010.6 A4 8p
平成22年度京都地名研究会総会報
告／第9回京都地名シンポジウ
ム報告(語形の遡行—風土記の
地名語源譚 内田賢徳／古の太
秦—応仁天皇の歌謡から 吉田
金彦) 笹川 博司
一筆あれこれ 吉田 金彦
第28回京都地名フォーラム／次々
回のフォーラム予定／新刊紹介
列島縦断地名逍遙
- ◆鉄砲史研究 鉄砲史研究会
〒607-8345京都市山科区西野離宮町2-1
山科南団地E棟213 岡崎清方
TEL075-594-3145 年10000円
◇365 2010.4 A4 77p 2500円

- 鉄砲小道具の種類とその用途につ
いて—特に火薬入・口薬入の中
心に 小西 雅徳
効率的だった日本の火縄銃と装具
須川 薫雄
救命投索砲について 安田 修
国友鉄砲鍛冶小屋の現状 岡崎 清
無可動・遭難信号用ピストルの一
例 峯田 元治
資料紹介 峯田元治・中江秀雄著
「江戸後期の鑄鉄製大砲」 中原 正二
- ◆ノートル・クリティーク 歴史と批評
ノートル・クリティーク編集委員会
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学文学部 小林啓治研究室
2008年創刊
◇3 2010.5 A5 75p 1000円
合唱の“力”—敗戦後の合唱運動
とうたごえ運動への射程 河西 秀哉
1960年代京都における沖縄返還運
動—佐次田勉氏に聞く 櫻澤 誠
書評
國學院大學研究開発推進センタ
—編『慰霊と顕彰の間 近現
代日本の戦死者観をめぐって』
白川 哲夫
高野昭雄著『近代都市の形成と
在日朝鮮人』 山本 崇記
小林啓治著『戦争の日本史21
総力戦とデモクラシー—第一
次世界大戦・シベリア干涉戦
争』 小野寺真人
新刊紹介 小森崇弘著『戦国期禁
裏と公家社会の文化史—後土御
門天皇期を中心に』 山本 倫弘

- ◆洛北史学 洛北史学会
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学文学部歴史学科内
TEL075-703-5256 1999年創刊
◇12 2010.6 B5 145p
戦国期、禪寺の入寺制度に関する
—考察—特に妙心寺を中心に 竹貫友佳子
日本近世における産物記録と土産
・名物・時献上—伊予大洲藩の
伊予簾と鮎 東 昇
唐宋人肉食考 塩 卓悟
景宗期の政局と党争—峻少・緩少
の分派問題を中心に 中 純夫
古墳時代中期における小札式付属
具の基礎的検討—付属具を構成
する小札の用途と装着部位 初村 武寛
書評
渡辺新一郎著『魏書』食貨志・
『隋書』食貨志訳注 丸橋 充拓
菱田哲郎著『古代日本 国家形
成の考古学』 竹原 伸仁
新刊紹介 小島道裕著『描かれた
戦国の京都 洛中洛外図屏風を
読む』
大会・例会報告要旨
- ◆立命館平和研究
立命館大学国際平和ミュージアム紀要
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 2000年創刊
www.ritsumeai.ac.jp/kic/a06/
◇11 2010.3 A4 91p
刊行にあたって 高杉 巴彦
アメリカ政権の脅威認識と核抑止
政策—核兵器廃絶のカギ・アメ
リカの変化と可能性を探る 浅井 基文
「沖縄戦」の戦後史—「軍手の論
理」と「住民の論理」のはざま

- 櫻澤 誠
彫刻家本郷新の「わだつみの声」
像通覧 断絶と継承から平和を
構築するために 佐藤 広也
博物館学と平和学の融合の試み—
新聞を教材とした授業実践紹介
榎英一／兼清順子
- ◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151
www.ritsumeai.ac.jp/kic/a06/
◇17-3 2010.3 A4 24p
スポット ミュージアムの所蔵品
「電車優待乗車券」
巻頭つれづれ 中野信夫さん、百
歳にして逝く 安斎 育郎
館長だより 地球市民教育・平和
教育と学校教育 高杉 巴彦
ミニ企画展開催報告(2009年10月
～2010年1月)
ここが見どころ 戦争展示の難し
さ(1)—「表現しようのないも
の」に向き合って 小関 素明
運営委員リレー連載
IT技術と平和 大島登志一
おすすめの一冊 藤田みどり著
『アフリカ「発見」：日本におけ
るアフリカ像の変遷』(岩波書
店 2005年5月) 須藤 直人
事業報告
- ◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
◇268 2010.4 B5 12p
佐野と井原(下) 井田 寿邦
宮座と女性—泉南の事例をもとに

研究ノートとして(2) 松本 紀郎
 大宮神社の蹟在(1) 上田 繁之
 ◇269 2010.5 B5 12p
 初井(もみい)か、初井(かしい)か
 —地名の歴史学 廣田 浩治
 宮座と女性—泉南の事例をもとに
 研究ノートとして(3) 松本 紀郎
 大宮神社の蹟在(2) 上田 繁之
 移行期の群像(68)
 寺僧の人々(29) 井田 寿邦
 ◇270 2010.6 B5 12p
 貝塚市 八品神社 北山 理
 宮座と女性—泉南の事例をもとに
 研究ノートとして(4) 松本 紀郎
 移行期の群像(69)
 寺僧の人々(30) 井田 寿邦
 ◇271 2010.7 B5 12p
 鳥取荘山中谷と根来寺
 —戦国期の新出古文書紹介 廣田 浩治
 貝塚市 八品神社 金石文資料(2) 北山 理
 09年度を振り返る 事務局

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会
 〒572-0824大阪府寝屋川市萱島東1-6-17
 TEL072-823-2486 1993年創刊
 www.eonet.ne.jp/~minshusi/
 ◇64 2010.3 A5 136p 1000円
 博物館史から見る橋下府政の博物館論 犬塚 康博
 市民にとっての博物館とは—弥生文化博物館廃止問題から一年半 小林 義孝
 徳島県立憲法記念館をめぐる憲法意識—1947～1950年代を中心に 後藤 正人
 1945年 淡路由良要塞の少年たち 鳥田 耕

〈特集 アジアを歩く〉
 ベトナム南部の旅—ドイモイ下の
 ホーチミン周辺を訪ねて 二宮 一郎
 華北平原横断バスの旅(上)
 —三国志の舞台と内陸部の今 高谷 均
 「幸福」満ちるヒマラヤの小国
 —ブータン 中野 実
 阪南市内に点在した避病舎(下)—
 貝塚市内の避病施設と大阪府南
 部の医療体制 中川 義朗
 グラビア 自然居士屋敷跡—阪南
 市自然田 林 耕二

◆大阪歴史懇談会会報
 〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2
 TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊
 www.homepage2.nifty.com/rekikon/
 ◇308 (27-4) 2010.4 B5 8p
 卑弥呼の都? 現地説明会より
 (1) 「東」は「南」 古代は方
 向音痴? 稲垣 隆造
 3月例会報告(第283回)「海から見た
 日本国の起源について」道家
 康之助氏/「香春(かわら)藩に
 ついて」久保敏博氏
 ◇309 (27-5) 2010.5 B5 21p
 卑弥呼の都? 現地説明会より
 (2) 太陽信仰? 西から東の
 建物 稲垣 隆造
 4月例会報告(第284回)「纏向遺跡
 で見つかった大型建物の性格」
 西川寿勝氏
 見学会報告「夜須来祭 何故に奇
 祭とよばれるのか」—源氏物語
 きっかけの今宮神社から紫式部
 のお墓まで 稲垣 隆造
 千葉周作の出身地と名刀の謎 松坂 定徳
 京都の大名墓について(2) 田村 紘一

◇310 (27-6) 2010.6 B5 12p
 卑弥呼の都? 現地説明会より(3)
 素人から見た疑問と今後 稲垣 隆造
 5月例会報告(第285回)「『歴史街
 道』の魅力—新しい日本の旅の
 楽しみ方—」玄道文昭氏/古文
 書講座(第121回)「不通証文」
 石川道子氏
 見学会報告「京都府木津川市の歴
 史散歩」 吉川 三郎
 千葉周作の出身地と名刀の謎(7)
 ～(9) 松坂 定徳
 京都の大名墓について(3) 田村 紘一
 ◇311 (27-7) 2010.7 B5 12p
 巻頭言 道が時代をつくってきた
 井川 光正
 6月例会報告(第286回)「緒方洪庵
 の秘話」染谷武爾氏
 5月見学会報告「奈良西方寺から
 平城遷都千三百年祭に行く」 入野 清
 千葉周作の出身地と名刀の謎(10)
 ～(12) 松坂 定徳

◆大塩研究 大塩事件研究会
 〒530-0053大阪市北区末広町1-7
 成正寺内 TEL06-6361-6212
 ◇62 2010.3 A5 118p
 パネルディスカッション 近世後
 期の大阪と摂津・河内・和泉—
 大塩事件の背景をさぐる 酒井 一
 大阪と摂津について 中川すがね
 近世後期の河内農村 常松 隆嗣
 和泉国について 曾我 友良
 パネルディスカッションに参加し
 て 奥田 麻希
 近世朱子学批判の思想的底流—安
 藤昌益と大塩平八郎をめぐる
 森田 康夫

大塩事件と吉見英太郎(下) 倉島 幸雄
 吉見英太郎略年譜 倉島 幸雄
 造幣局前に新たに槐を植樹 大塩事件研究会
 つながって面白い 井上 宏

◆家系研究 家系研究協議会
 〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26 島
 野穰方 TEL072-634-5909 年5000円 1981
 年創刊 www.geocities.jp/kakenkyou/
 ◇49 2010.4 B5 118p
 系図資料 『姓氏原始録』(12) 武田 光弘
 岩崎弥太郎の家系 宝賀 寿男
 珍姓のルーツ(14) 中田みのる
 城所一族の来歴と家系 安原 繁俊
 “大浦氏の出自”と“二つの南部
 の流れ”(4) 吉井 功兒
 真説津軽為信物語(中の2)—大石
 内蔵助の高祖母近衛卿の落胤
 か、時慶卿記の真実 佐藤 博
 伊豆八丈島菊池氏の系譜について
 —菊池治五郎を中心に 菊池 利行
 我が輩は黒猫ペペである 西村 彦次
 日本人と「七仏」の謎
 日本七仏の謎(3) 川村 一彦
 コラム 奇名変名大集合・変名編
 巻十 雄倉氏 眞野 幹也

◆家系研究協議会会報
 〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26
 島野穰方 TEL072-634-5909 年5000円
 www.geocities.jp/kakenkyou/
 ◇32 2010.4 B5 8p
 巻頭言 安原 繁俊
 家系研究協議会 冬の例会報告 島野 穰
 家研協たより/図書内容案内/図
 書出版案内/受贈図書・資料
 珍名さんいらっしゃい(29) 眞野 幹也

- ◆河童通心 和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
TEL072-251-2586 年2400円
- ◇317 2010.4 A5 16p
河童誕生譚とユダヤ人渡来伝説 和田 寛
- ◇318 2010.5 A5 20p
河童の文化史 平成期(1) 和田 寛
- ◇319 2010.6 A5 24p
河童の文化史 平成期(2) 和田 寛
- ◇320 2010.7 A5 30p
河童の文化史 平成期(3) 和田 寛
- ◆河内長野市郷土研究会誌
〒586-0032大阪府河内長野市栄町21-11
椋本進方 TEL0721-52-3394 年3000円
1979年創刊
- ◇52 2010.4 B5 93p
巻頭言 椋本 進
北条美濃守氏規の小塩村陣屋は実
在したか 竹鼻 康次
資料紹介 戦中・戦後の阿倍野
橋・河内長野・富田林附近の劇
場に関する2・3の資料の紹介
松本弘(裕之)
- 石造物に窪みあり
—その習俗のひろがり 松尾巴留美
東叡山の石灯籠
—膳所藩主本多俊次奉獻 玉城 幸男
資料紹介
高野電車のちらしについて 松本弘(裕之)
河内鐵道株式会社・運輸課のち
らしについて 松本弘(裕之)
- 日本一美しい墓地都市(墓地との
共生) 浅井 五郎
戦争遺跡・紀元二千六百年記念の
碑を求めて 井上 元良
「天見の監視哨」・監視哨の証明書
について 井上 元良

- 鬼住村研究 菜莢木村に移住した
鬼住村村民 中筋喜春(喜昭)
文案紀行—河内を中心として 椋本 進
第10回知ったのはりまっか?
河内講座資料より 椋本 進
平成21年度事業報告
安原幹也/今道幸夫/井上元良
河内長野委託事業について 椋本 進
河内長野市文化連盟事業報告(平
成21年度) 椋本 進
記念事業委員会報告(平成21年度)
(40周年記念事業委員会・会誌
50号記念事業委員会) 安原 幹也

- ◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円
- ◇725 2010.4 A4 8p 300円
生駒・信貴をめざした鉄路 石田 成年
宇治の建築—宇治上神社、宇治神
社、興聖寺、平等院 矢ヶ崎善太郎
- ◇726 2010.5 A4 10p 300円
大和の大黒天 神田 雅章
近鉄沿線の建築(7)
奈良の学校建築 川島 智生
- ◇727 2010.6 A4 8p 300円
五條市の仏像 赤川 一博
岸和田城下町と貝塚寺内町を歩く
大澤 研一
- 奈良県立橿原考古学研究所附属博
物館 平安遷都1300年記念春季
特別展 大唐皇帝陵展
- ◇728 2010.7 A4 8p 300円
吉野川「潮」紀行 池田 淳
堺燈台と旧市内を巡る 近藤 康司

- ◆近畿民俗通信 近畿民俗学会
〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5
原泰根方 TEL06-6709-8533
- ◇4 2010.6 A4 8p
大阪湾の漁業(1) 小藤 政子
聞き書き 奥能登のアエノコト 佐野 尚子
泉鏡花と民俗学 奥村 隆彦
祭り・行事・展覧会
- ◇5 2010.9 A4 4p
磯の静御前伝承 明川 忠夫
ある真言宗寺院の住持継承次第一
播磨国網干円融寺慈芳の場合 奥山 芳夫
平成22年度総会報告 田中 明

- ◆左海民俗 堺民俗会
〒590-0144堺市南区赤坂台1-46-9
TEL072-298-6331 年3000円
- ◇133 2010.5 B5 8p
《特集 味噌・醤油》
「さしすせそ」 秋原 俊彦
紀州湯浅と醤油 熊ノ郷安生
味噌雑感 岸 繁司
お味噌とお醤油 川村 淳二
遠里小野の油 岸 繁司
石敢當 秋原 俊彦
例会報告と一口メモ
12月例会報告 加賀屋新田と住
吉街道を歩く 川村 淳二
1月例会報告 新春ハイキング
と伊丹郷町散策 山口邦雄/佐原浩二
2月例会報告
西高野街道を歩く(1) 山崎 琢磨
追悼 堺民俗会と中本輝男さん 生駒 道弘
- ◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方 TEL06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/

- ◇267 2010.4 B5 14p
スサノオの神話
—八岐大蛇と草薙劍 荆木 美行
塚口先生と行く 尾張の古代史を
探る旅 古高 邦子
- ◇268 2010.5 B5 14p
オホクニヌシと出雲大社 辰巳 和弘
大極殿棟飾り考 岡田 保造
八尾・平野の史跡散策 山口 久幸
- ◇269 2010.6 B5 16p
天之日矛(天日槍)伝説と海人集団
—発掘成果に反映される記紀神
話 坪井 恒彦
4月現地見学
高取町市尾から玉手 野村 武司
新羅と倭の交流 山端 研三
第22回定期総会
- ◆都市文化研究 大阪都市文化研究会
〒552-0003大阪市港区磯路3-11-17
TEL06-6572-7562 年3000円 1987年創刊
www.geocities.com/tobunken/
- ◇29 2010.3 B5 66p 600円
「生野南部地区」の整備事業報告 伊藤 和雄
吹田まち歩きのご案内 刊行ボラ
ンティアガイド「吹田まち案内
人」による解説 岡村 昇二
幕末期大阪の瑜珈祠(由加神社) 鷺原 知良
弘化二年刊『大阪名所廻』(大阪
府立中之島図書館蔵本) 翻刻
—近世大阪の物見遊山 田野 登
東方見聞録 Part2—ルーマニアか
らドイツへ オリент急行の
路 弘津興太郎
大阪の街を歩く 都市文化研究会
2008年定例ウォッチング
都文研の本棚
記念碑の語るアメリカ 暴力と

追悼の風景 辻野 隆雄
大阪「鶴橋」物語
—ごった煮商店街の戦後史 伊藤 和雄
きまぐれ抄介記映画編 熱爛ワ
イン/Die Feuerzangenbowle
川内 義行

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所

〒577-8502大阪府東大阪市小若江3-4-1
TEL06-6721-2332 1989年創刊

◇22 2010.3 A5 422p

《奄美・沖縄の民俗》

八重山薨紀行

—琉球薨文化圏の発見 大脇 潔

近世の道之島海運

—奄美諸島を中心に 胡桃沢勘司

八重山民俗紀行—黒潮生まれる海

域の人と風俗 戸井田克己

奄美のウミガメ漁—島の民俗知識

と琉球・ヤマト文化圏との交流

藤井 弘章

殺生釘補遺(2)

大脇 潔

三戸町の殺生釘—青森県三戸郡三

戸町の佐藤家例

村本恵一郎

書評と紹介

後田多敦著『琉球の国家祭祀制

度—その変容・解体過程—』町 健次郎

野本寛一著『山地母源論2—マ

スの遡上を追って—』鈴木 伸二

柳出国男研究会編『柳田国男・

主題としての「日本」』戸井田克己

桑原康宏著『世界遺産の地 熊

野 その表層と深層』藤井 弘章

付録 民俗学研究所第22回公開講

演会

◆会報むろのつ「鳴屋」友の会

〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457

たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
年3000円 1997年創刊

www.muro-shimaya.jp

◇17 2010.5 B5 49p

誌上インタビュー

人間・宮本常一 田村善次郎

宮本常一略年譜

《特集 宮本常一と瀬戸内海》

宮本常一の旅に学ぶ 谷沢 明

宮本常一の写真と瀬戸内文化 印南 敏秀

宮本常一と郷土大学 新山 玄雄

宮本常一と室津 柏山 泰訓

水で繋がれた歴史の中で(3)

船瀬 岩井 忠彦

広告世相視

十冊の本を読む(7)『ブータン仏

教から見た日本仏教』今枝由郎

著 安井 道夫

町並み探訪(17) 鹿港 八木 雅夫

博物館遊歩(17)

台東区立下町風俗資料館 柏山 泰訓

室津ミュージアムニュース

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学文学部地域連携センター気付

TEL078-803-5565 年1000円

www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/

◇62 2010.5 A4 12p

巻頭言 運営委員としての3年間

を振り返って 森脇 崇文

特集 千葉県文化財救済ネットワ

ークシステム構築推進事業の設

立経緯と事業計画 新 和宏

シンポジウム 震災の経験を「伝

える」—今に継承される関東大

震災と阪神・淡路大震災の〈記

憶〉 板垣貴志／吉川圭太／兒玉州平

兵庫県立歴史博物館ミニ展示「水

損した歴史遺産を救う—2009年

台風9号豪雨被災古文書を中心

に—」

史料ネット古文書返却の旅(1)

森本家文書 河野 未央

2009台風9号被災史料救出活動支

援募金ご協力の御礼／2010年

度歴史資料ネットワーク シン

ポジウム開催のお知らせ

◇63 2010.7 A4 12p

巻頭言 歴史資料ネットワークの

16年目よせて 人見佐知子

2010年度歴史資料ネットワーク総

会の記録 板垣 貴志

兵庫津歴史講演会

—パネルトークを終えて 中野 賢治

兵庫津歴史講演会に参加して 前田 章賀

第5回地域史卒論報告会開催され

る 吉原 大志

地域史卒論報告会感想 井澤 禎明

地域史卒論報告会を終えて 中野 佳和

第5回地域史卒論報告会参加記 細川 絵美

史料ネット古文書返却の旅(2)

長濱家文書 添田 仁

2009台風9号被災史料救出活動支

援募金会計報告

◆生活文化史 史料館だより

神戸深江生活文化史料館

〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7

TEL078-453-4980 1981年創刊

homepage.nifty.com/fukae-museum/

◇38 2010.3 B5 16p

館長退任のごあいさつ 杉浦 昭典

地域と歩み、地域と生きる 大国 正美

横光利一の小説『紋章』と永田酒

造 大国 正美

夙川八景—打出焼

八景が描かれた打出焼 藤川 祐作

みね子氏寄贈の「夙川八景」 樋口 元巳

トライやる・ウィークと史料館 水口 千里

資料登録カード刷新

—データベースとの連携 水口 千里

史料館だよりのPDF型式による

電子化と公開 高田 祐一

深江文化村講演会と「深江塾」の

始動 大国 正美

史料館日誌抄 道谷 卓

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17

西宮神社内 TEL0798-33-0321

◇505 2010.4 B5 8p

平成22年度総会開催

えびずさんの話 吉井 貞俊

えびずの社(12) 西宮の北郊 平井 良朋

東海道新景観 吉井 貞俊

◇506 2010.5 B5 8p

5月行事 美術館見学 韓国の民

画と絵本原画展 西宮市大谷記

念美術館

平成22年度総会開催

西宮四季のまつり 吉井 貞俊

東海道新景観(2) 吉井 貞俊

◇507 2010.6 B5 8p

講演会 ビジネス成功の秘訣・武

士道の智慧が日本を救う

失われた大和心の復活こそビジネ

ス成功の秘訣 武士道の智慧が

日本を救う 梅谷 忠洋

西宮という地名 吉井 貞俊

伊勢参宮本街道を歩く(41)／東海

道新景観(3) 吉井 貞俊

◇508 2010.7 B5 8p

7月行事案内 宝塚製作の映画鑑賞会 三月三日の風—水平社誕生物語
西宮の地図の変遷 吉井 貞俊
伊勢参宮本街道を歩く(42)／東海道新景観(4) 吉井 貞俊

◆福崎町文化 福崎町文化センター
〒679-2212兵庫県神崎郡福崎町福田176-1

◇26 2010.4 A4 16p
柳田国男と「コミュニケーション能力」 小田 富英
随想 山桃忌短歌祭によせて 井奥 輝明
老人大学体験発表「皇居清掃奉仕のおもいで」 西村 文磨
地域の歴史遺産を守る 水害で被災した史料のレスキュー活動紹介—佐用町の水損史料レスキュー活動の体験から 村上由希子
クラブ紹介

文化の向上とは？
公民館(絵画)クラブ 山本 泰毅
福崎町児童合唱団団員募集中!!
福崎アルコバレノ児童合唱団 長谷川隆子
クラブ活動によせて
ちぎり絵クラブ 橋本富貴子
福崎町文化財探訪記(3) 林 彰彦

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0555 年3000円
◇279 (49-2) 2010.4 A5 49p 600円
創刊号でついでか? 「東神戸新聞」—創刊四日後に阪神大水害に遭遇して 吉井 正彦
《特集 三木と豊臣秀吉の史実と史料》
播磨国美囊郡三木町制札をめぐつ

て 伊賀なほゑ
『武功夜話』と三木合戦 宮田 逸民
兵庫の庭園再訪(1)
旧小河氏庭園について 西 桂
第2回落合重信賞に歴史資料ネットワーク
◇280 (49-3) 2010.6 A5 48p 600円
《特集 神戸新興芸術運動とその周辺》
神戸新興芸術運動とその周辺
—特集にあたって 高木 伸夫
自伝の虚と実—林喜芳『神戸文芸雑兵物語』を中心に 高木 伸夫
ダダの目覚め
—『横顔』の受川三九郎 季村 敏夫
火を継ぐ者の意思と試み—季村敏夫『山上の蜘蛛』を読む 加納 成治
聞き書き ありし日のまちと暮らし(33) その名に刻まれた歴史
毛斯倫大橋 井上真理子
私のこの一冊(4) 私の履歴書 森本 米紀
編集部から—三木と淡河への秀吉制札をめぐって

◆あかい奈良 グループ丹
〒630-8144奈良市東九条町6-4 TEL0742-62-3408 年2500円 www.akai-nara.net
◇48 2010.6 A4 46p 500円
小さな奈良の物語(8) 佛足石の下のチカラモチ あかい奈良編集局
特集 知らなかった 遣唐使の旅
あかい奈良が行く古社寺巡礼
天川村 龍泉寺
大和ものまんだら
袋一人の一生と袋 鹿谷 勲
心の風景 みやあとの 井上博道／西村博美
あかい奈良インタビュー 陶芸家
(文化財工芸) 脇田宗孝氏
大和彩食館 菊水楼が創る

涼を招く 夏御膳
奈良の伝統行事 レンズがとらえてた大和の祭り 夏の片隅にた
たずむ地藏尊
あをによし奈良の建造物 美の理由(4) 寢殿造から書院造へ—
住宅建築の変遷をとどめる稀有な
仏堂 十輪院本堂(国宝) 鈴木 嘉吉
特集 平城宮跡
ひとあしのばして
季の瞬 万緑 矢野建彦／矢野桃苑

◆秋篠文化 秋篠音楽堂運営協議会
〒631-8511奈良市西大寺東町2-4-1
ならファミリー6階 TEL0742-35-7070
2003年創刊
◇8 2010.3 A5 60p
法隆寺の聖徳太子信仰と聖霊会の歩み 大野 玄妙
法隆寺の声明 澤田 篤子
—聖霊会を中心として 久保田敏子
四天王寺の聖霊会

◆水平社博物館研究紀要
〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
TEL0745-62-5588 1999年創刊
www.lmahoroba.ne.jp/~suihei/
◇12 2010.3 A5 63p 1000円
初期奈良県水平社の糾弾闘争と行政対応—南葛城郡を中心に 駒井 忠之
大石誠之助と大逆事件 金井 英樹

◆帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要
〒631-0062奈良市帝塚山7-1-1
TEL0742-32-5708 2000年創刊
◇12 2010.3 B5 63+31p
《森郁夫教授退職記念号》
献呈の辞 赤田 光男

且来(あつそ)IV遺跡に関する一考察 矢倉 嘉人
畿内にみられる新羅土器、新羅系
軒丸瓦、新羅人 梁 涼 鉦
享保年間における江戸役者の上
上りについて 伊東 航
法隆寺百済観音像私考 高柴季史子
京丹後市(旧網野町)調査報告
木村友紀／平松典晃
資料紹介
帝塚山大学大学院所蔵の軒瓦 松村 翔太
森郁夫教授略歴・主要著作目録

◆奈良学研究 奈良学学会
〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1997年創刊
◇12 2010.3 A5 112p
大和の神饌 岡本 彰夫
盤珪禪師の吉野山居と「うすひき歌」 大矢 良哲
山上憶良再考 中川登史宏
生駒市北部地域の葬送儀礼と盆行事 高田 照世
法隆寺の仏前供養具
—中・近世の遺品を中心に 関根 俊一
講演録
聖林寺十一面観音とその周辺 井上 一稔
例会報告 例会・公開講座記録

◆日本文化史研究 日本文化史学会
〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1977年創刊
◇41 2010.3 A5 158p
近世大和における広域訴願の一形態—全幕領連合訴願の展開と五
條代官所 谷山 正道

南都寺院の仏舎利相伝 赤田 光男
南紀地方における農耕儀礼と田の
神祭祀 裏 直記
中国景徳鎮窯観音閣遺跡出土の陶
磁器について 中路のぶ代
廬山天台講寺伝来の金剛杵 小林 泰司
文化財の保護・活用と専門的人材
の養成 関根 俊一
研究ノート 1900年パリ万国博覧
会が京都菓子業界に与えた影響

五十嵐雪佳

史料紹介 春日大社蔵金龍神社関
係文書について 服部 敦子

◆文化財の壺 文化財方法論研究会

〒630-8577奈良市二条町2-9-1 奈良文化
財研究所 埋蔵文化財センター遺跡・調
査技術研究所気付 TEL0742-30-6752
www.buntubo.net

◇1 2010.5 A4 39p 700円

文化財の壺 創刊のことは

考古学C Gの具体的作成方法と展
望—古墳時代後期を想定した切
妻型壜穴住居の設計とC G作成

岡本 範之

低コスト3次元スキャナーによる
瓦のデジタルドキュメンテーシ
ョンと比較—瓦調査における3

次元計測の導入と意義 木本 挙周

特殊光撮影による非接触調査—光
学的反応を利用した文化財調査
法の事例

三井 猛

3次元ベクトル変位観測法 木口 裕史
ハギア・ソフィア大聖堂モザイク

の現状記録と材料・技術考察 佐々木淑美

埋蔵文化財保存活用整備事業費に
よる埋蔵文化財洗浄設備の整備
事例

川口 武彦

いよいよ柱穴がみえてきた—発掘
調査補助的手段としての文化財

探査 金田 明大

コラム

展示の壺

お菓子のおかしなはなし 五十嵐雪佳

文化財のための小道具

3Dデジカメ 金田 明大

◆熊野 紀南文化財研究会

〒646-0024田辺市学園6-3 濱岸宏一方

TEL0739-25-0657 年3000円 1969年創刊

◇138 2010.5 A5 61p

〈小特集 南方熊楠関係資料の広がり〉

南方熊楠の見た熊野 濱岸 宏一

南方熊楠と杉村広太郎

—旧南方邸資料を中心に 田村 義也

近世田辺領における追放刑(流罪)

について—居村追放(上) 芝 英一

追悼 伊勢田進氏 杉中浩一郎

直孤紋発見地名表 伊勢田 進

郷土関係新刊紹介 『南紀寺社史

料』 藪田香融編著／文化財ニュー

ース／会合メモ

◆熊野学研究 国際熊野学会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委

員会文化振興課 TEL0735-23-3368

〒168-8555東京都杉並区永福1-9-1 明治大

学和泉校舎 林研究室 TEL03-5300-1298

年3000円 2010年創刊

◇1 2010.3 A5 70p

国際熊野学会設立の経緯と現状

—ご挨拶にかえて 林 雅彦

捨聖・一遍の熊野参籠と成道 長島 尚道

巡り続ける江戸時代の旅人たち—

熊野街道沿いの地域史料から 塚本 明

新宮市阿須賀神社境内御正体埋納

遺跡の基礎的検討 時枝 務

日本文化をささえたヒノキ 村田 源

国際熊野学会会則／国際熊野学会

開催記録／国際熊野学会委員名

簿／国際熊野学会会員名簿

◆国際熊野学会会報

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委

員会文化振興課 TEL0735-23-3368

年3000円 2005年創刊

◇13 2010.4 B5 4p

「渡海伝説」の地で思うこと 平久江剛志

◇14 2010.8 B5 4p

日本書紀と花の窟の信仰 花尻 薫

◆南紀徳川史研究 『南紀徳川史』研究会

〒640-8323和歌山市太田120-6-313

小山誉城方 1986年創刊

◇9 2010.6 A5 86p

紀伊における守護所の変遷 弓倉 弘年

高野政所の構造と機能 岩倉 哲夫

徳川頼宣の母養徳院について 小山 譽城

「御側御用人」という呼称の成立

時期 関宮 暁

大正中中期和歌山県域における近代

産業の展開と構造 三好 國彦

紀州徳川家十一世藩主斉順の治績

(3) 秦 昭長

中国・四国

◆郷土石見 石見郷土研究懇話会

〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15

児島俊平方 TEL0855-22-2567

◇83 2010.4 A5 152p 1200円

柿本人麻呂の歩いた石見世界 関 和彦

浅井村土族大屋兼助外一名の「松

島開拓願」について 杉原 隆

「創作ダンス」

—リズム運動教育小史 岩町 功

石見の民話(完)

—フィールド・ノートから 田中 瑩一

黄櫨(はぜ)しほりのこと 児高 房夫

苦木虎雄先生小記 小林 俊二

石見の滝 宮本 巖

県立大学生と住民参加創作ミュー

ジカル『お鶴島』—わが町の碑

岩町 功

『山河あり』と津和野 林 量三

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内

TEL086-222-2028 年2000円 2002年創刊

◇34 2010.4 A4 10p

豪姫残像(前号継承) 黒田 一紀

宇喜多直家の北野天満宮連歌張行

—宇喜多氏関連説話考(13) 森 俊弘

物語直家記伝 乙子の城 山重十五郎

平成22年度宇喜多家史談会総会報

告 石渡 隆純

紙製模型・大納戸槽 小野田 伸

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市西大寺2-6-36 村上岳方

TEL086-942-6156 年1500円

homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm

◇120 2010.4 B5 40p

岡山藩における居城修輔申請の実

態—江戸後期の事例を中心に 秋田 良

〈特集 小書館『日本の歴史』(近代)を読む〉

書評 牧原憲夫『日本の歴史 十

三 文明国をめざして』 首藤ゆきえ

小松裕『日本の歴史 十四 「い

のち」と帝国日本』を読んで 山下 洋

書評 大門正克『日本の歴史 十

五 戦争と戦後を生きる』 井本 真理

江戸時代からの感想二、三 倉地 克直

「いのち」という視角と個人の経験について 倉敷 伸子
『日本の歴史』近代編の合評会をふりかえって 沢山美果子

◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から
岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505

◇29 2010.3 A5 263p
進化の隣人に学ぶ 伊谷 原一
新田場の履歴—近世の児島湾干拓と干拓地の暮らし 安倉 清博
内田百間—生涯百二十年に寄せて 万城 あき
岡山とトルストイ 太田 健一

◆岡山民俗学会会報
〒700-0062岡山市大安寺中町11-17
次田圭介方 年4000円
◇204 2010.5 B5 16p
追悼 鶴藤鹿忠氏(承前) 人生か
けて民家調査・食習俗探究 太郎良裕子
投稿 みんぞく読書会 次田 圭介
短 信 安倉 清博

2月例会発表要旨
沖新田政田地区民俗調査中間報告
(7)—沖田神社について 次田 圭介
考古学からみた民俗学 安倉 清博
平成22年度総会・研究発表大会報告
平成22年度記念講演要旨 那須与一と井原—中世伝承と史実の狭間 大島 千鶴
平成22年度研究発表大会発表要旨
岡山民俗館資料整理について 木下 浩
備前西大寺会場 元和2(1616)年枝牛玉の考察 丸谷 憲二

鬼イメージの変容—江戸期桃太郎絵本・絵巻における鬼の宝物を中心に 加原奈穂子
美作の築地(つんじ)について—中世居館から近世豪農屋敷へ 尾崎 聡
新刊紹介
『地名と人々の営み』浦上宏著 今田 節子

◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505

◇118 2010.6 A5 14p
随 想
内田百間先生とらっきょう 沖塩 克子
文化財団の思い出 高山 雅之
岡山の人物 人見絹枝 万城 あき
岡山の自然 柵原鉱山 片山 克
岡山の文化財
池田光政公御涼所跡
わが町・わが村の自慢
津山機関庫(津山市)
ふるさとの思い出(新見市)
文化財団ニュース/会員だより

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円
◇270・271 2010.4 A5 62p
《特集 戦国時代の地方文化を考える》
講 演
『新撰菟玖波集』成立の一背景
—大内政弘とその周辺 尾崎 千佳
元就没後の毛利氏周辺—文芸閣
係資料を手がかりとして 西本 寮子
パネルディスカッション
2009年度芸備地方史研究会大会記

事
研究報告要旨
戦国期厳島神社の神事・祭礼
—柵守房頭と大願寺 大知 徳子
東福寺僧の downward と地方武士との交流 中司 健一
芸備展示板
平成22年度春の特別企画展「頼杏坪とその時代—文人代官が見た江戸時代」広島県立歴史民俗資料館
大和ミュージアム第14回企画展
「高松宮と呉と海軍—呉にゆかりの皇族士官の足跡をたどる—」 呉市海事歴史科学館
史跡をあるく 熊野神社
二代目会長渡辺則文先生を悼む 土井 作治
講座「広島県の歴史」の今後について

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 www.3plala.or.jp/big-eye/

◇153 2010.4 A4 12p
神辺、古城山の謎 田口 義之
片山城発見記 小林 定市
平成言の葉物語 後藤 匡史
総鈎史跡探訪記(5) 古城跡の怪奇・家内の遭遇(3) 末森 清司
栗の地名について 根岸 尚克
遍照寺山城跡大団円 藤波平次郎
◇154 2010.6 A4 16p
神辺城と山名丈休 田口 義之
こふんめぐり うすいなおき
感 想 村上絵里花
古墳探訪の感想 大庭 東真

感 想 山下 誼
鑑真和上と日本仏教 出内 博都
天香(具)山 根岸 尚克
東海道五十三次ゆつたり歩き紀行
(6) 箱根宿から三島宿へ 岡田宏一郎
(7) 三島宿から吉原へ 岡田宏一郎
没落の謎 小林 定市
引野誕生伝承の一話 三好 勝芳
奈良まち紀行 坂井 邦典
総鈎史跡探訪記(7)「湖東・明智光秀伝説の城」探訪 末森 清司
能「八島」から 壇ノ浦と檀ノ浦 種本 実
春日神社、1150年を迎えて 後藤 匡史

◆広島郷土史研究会会報
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内 TEL0823-71-0706

◇96 2010.3 A4 22p
日本での田植機発明の先駆者
二反田春三 小栗 康治
藤田家文書の解説 「第Q章 広島水力発電株式会社」と同文書について 上河内良平
藤田家文書 第Q章 藤田家財産目録・起業資料集と関連文書 Q-1広島水力発電所基本資料(3) 小栗 康治
古文書部会・例会報告 吉田 顕治

◆広島民俗 広島民俗学会
〒739-1521広島市安佐北区白木町三田2810
栗原秀雄方 TEL082-829-0341 1974年創刊
◇73 2010.3 A5 56p 500円
「シンポジウム 広島神楽遺産を活かす」基調講演 広島神楽遺産 三村 泰臣
シンポジウム 神楽遺産を活用す

る 寺岡昭治／久保良雄／吉井敏弘
古代の塩づくりで町おこし 松浦 宣秀
塩原の大山供養田植—昔の農業の
知恵や精神を伝える 有田 洋人
書評 『暮らしの中の左右学』小
澤康甫著 岡崎 環

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
新祖隆太郎方 TEL0824-44-2694

◇81 2010.3 B5 14p

甲奴町小童の正願寺の大般若経に
ついて 藤原 一三
高杉町の知波夜比古神社の扁額に
ついて 新祖隆太郎
君田町の「薬師地藏」について 中畑 和彦
歴史随想 三吉隆信の2つの墓 後藤千賀子
三次地方の地名あれこれ(15)
小童(ひち)／餓(かつえ)

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
TEL0848-62-2935

◇229 2010.4 B5 12p

今月の各地
甕天満神社と菅公手掘の井戸 宮原 幸司
山名氏はどのようにして三原に来
たか(3) 樫 博自
福島正則の改易と家臣の去就(完
結編) 大谷 和弘
遺稿「小早川隆景公の遺徳を偲ん
で」(5) 元三原市長 桑木健一
(1910～1970)

◇230 2010.5 B5 12p

今月の各地 スペイン風邪 大谷 和弘
山名氏はどのようにして三原に来
たか(4) 樫 博自
「虚空蔵さん参拝」に参加して

虚空蔵さんから満喫した山水の
ような瀬戸内海 山根 光博
虚空蔵さんと周辺史跡を再認識
したハイキング 正兼 鐵夫
「花の膝栗毛」を完歩して(1) 福岡 幸司
◇231 2010.6 B5 12p

今月の各地 和久原川の変遷 寺迫 保夫
山名氏はどのようにして三原に来
たか(完結編) 樫 博自
「花の膝栗毛」を完歩して(2) 福岡 幸司
H22年度 総会並びに記念講演会
報告 鈴木 健次
遺稿「小早川隆景公の遺徳を偲ん
で」(完結編) 元三原市長 桑
木健一 (1910～1970)

◇232 2010.7 B5 12p

今月の各地 三原の初夏の祭り 田邊 達雄
春のハイキング「虚空蔵さん参拝」
に参加して 大本 静人
「花の膝栗毛」を完歩して(3) 福岡 幸司
「土肥会80周年記念式典」に参加
して 鈴木 健次

◆史窓 徳島地方史研究会

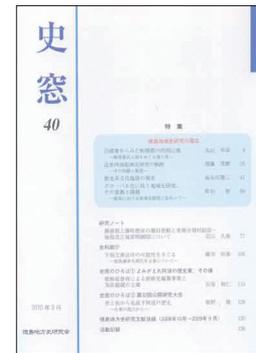
〒779-3233徳島県名西郡石井町石井字石井
1071 金原祐樹方 TEL088-674-2806

◇40 2010.3 A5 141p 1500円

《特集 徳島地方史研究の現在》
由緒書からみた転換期の四国山地
—蜂須賀氏入部をめぐる虚と実
丸山 幸彦
近世阿波絵画史研究の軌跡
—その回顧と展望 須藤 茂樹
歴史系文化施設の現在 長谷川賢二
グローバル化に伴う地域史研究、
その意義と課題—徳島における
地域史研究に加わって 町田 哲
研究ノート 勝浦郡上勝町檜原の

棚田景観と実測分間村絵図・地
租改正地面細図について 羽山 久男
史料紹介 下張文書活用の可能性
をさぐる—徳島藩津名郡代所文
書について 藤田 恒春
史窓のひろば

よみがえれ阿波の歴史家、その
後 朝鮮総督府による朝鮮史
編纂事業と鳥居龍蔵の立場 石尾 和仁
第32回公開研究大会 里と街か
ら見直す阿波の歴史—生業の
視点から 徳野 隆
徳島県地方史研究文献目録(2008
年10月～2009年9月)



*「史窓」は10年前の30号特集で、「徳島地
方史研究会30年の歩みと徳島地域史研究」を
組んでいる。その後、大がかりな市町村合併、
山村の過疎化のさらなる進行、大学や歴史系
文化施設に対する競争原理の導入などが進
み、地域社会も研究者・組織も大きな構造変
化が発生している。そうした状況を踏まえ、
この10年で研究が大きく進んだ分野や、環境
が著しく変化した諸活動について、内省的に
振り返る特集を組んだものである。

丸山氏は、蜂須賀家に係る様々な由緒書の
虚と実を検証し、多くが史実からかけ離れて
いることを明らかにし、中世史と近世史研究

者の協力・共同関係において新たな史実の掘
り起こしの方向性を提起する。須藤氏は、徳
島地域において文化史、特に美術史の研究が
立ち遅れている現状を指摘し、阿波の近世絵
画史研究進展の可能性を徳島藩領淡路との関
係の中で見る。長谷川氏は、指定管理者制度
の導入等により存在そのものが揺らいでいる
歴史系文化施設において、文化の記憶装置と
しての存在理由を明らかにして基礎作りをし
ていくことの必要性を主張。町田氏は、限界
集落や地域再生など現代的な課題に応えうる
地方史研究とは何かを考察し、香寺町史など
を例に、研究者と住民が共に学ぶ研究のあり
方を説く。いずれも徳島地域固有の問題では
なく、地方史研究が置かれている、極めて今
日的で切実な課題であり、考えさせられると
ころが多い。

◆徳島県立博物館研究報告

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文
化の森総合公園 TEL088-668-3636
1991年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇20 2010.3 B5 76p

高知県の鮮新～更新統唐ノ浜層群
穴内層から新たに確認された貝
類(5) 三本健二／中尾賢一
石立山および高ノ瀬峡の陸産貝類
相 多田 昭
徳島県におけるカバマダラの記録
—2009年の調査より
佐々木孝明／小笠航／豊崎勲
四国におけるピロウドマイマイ属
の分類—特にトサピロウドマイ
マイとシコクピロウドマイマイ
について 多田昭／大原健司
徳島県で発生したクロマダラソテ
ツジミの記録 佐々木孝明／岡田賢三

／大原賢二／山田量崇
アサギマダラの移動に関する徳島
県の記録(2009年) 大原賢二／山田量崇
徳島県勝浦町でアカギカメムシを
確認 山田量崇／兼田武典

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇78 2010.3 A4 8p

The Himaiayas

Culture Club 中世の大量出土銭
の謎—かくし銭? まじないの道
具? 高島 芳弘

企画展 文化の森総合公園開園20
周年記念事業「The Himaiayas」

館蔵品紹介 双六盤 磯本 宏紀
速報 タンポポ調査・西日本2010
の予備調査結果がまとまりました

小川 誠
Q & A コダイアママは、海草の
化石なのですか? 辻野 泰之

◆徳島県立文書館だより

〒770-8070徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3700
www.archiv.tokushima-ec.ed.jp

◇30 2009.3 A4 8p

那賀郡領家村分間絵図(文化12年)
学校教育と文書館 計盛眞一朗
文書館の資料室を学校現場へ

—指令綴と墨塗り教科書 徳野 隆
見どころいっぱい
文書館のホームページ

Web版「幻の城下町徳島—失わ
れた城下町へタイムスリップ」
古文書の世界 人足として江戸へ

いく百姓—江戸人足 森 千枝
公開史料の紹介—犬伏家文書・中
財家文書・美馬家文書
動き始めた古文書補修ボランティア

◆新居浜史談 新居浜郷土史談会

〒792-0023愛媛県新居浜市繁本町8-65
新居浜市生涯学習センター内
TEL0897-33-2991

◇379 2010.4 A5 44p 500円

別子銅山の「間符」(坑道)につい
て 入江 義博
目で見える古代の伊予(1) 峠の東

大寺領新居庄—澤路・驛(釋)
路・陶器と工人・文字の歴史 吉本 拓
語り伝えて

弁慶の誇らか出身地の人々 小野 清恒
明治14年の家計簿出費録
—東山内家 喜代吉榮徳

◇380 2010.7 A5 42p 500円

高祖三島神社と甲曾五郎伝説 近藤 基樹
目で見える古代の伊予
峠の東大寺領新居庄(2) 吉本 拓

新居浜文化協会 創立60周年記念
展参加について 千葉 富雅

◆秦史談 秦史談会

〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方 TEL088-875-6671

◇157 2010.5 B5 41p

民権ばあさん物語「馬とはちきさ
ん」(7) 黒船の来た夏
久米生太子／藤本知子

所感雑感 輝ける学舎(高知新聞
から)
土佐勤王党について(幕末ノート

(3)) 広谷喜十郎

コラム
民権桜—千年前の桜の子孫 毛利 俊男
秦の昔話(23) 東谷の巻(2)

秦泉寺城趾の鶏の声 永野美智子
良寛と歌友阿部定珍(2) 岩崎 義郎
俳句 若葉風 西方 郁子

秦地区の手水鉢(2) 松本 紀郎
物貰い(土佐民話会『土佐の民話』
から)

昭和の記憶(12) 中畑 中道
チエリ抄(11) 永国淳哉／藤本知子
松田思斎と岡本寧浦など(幕末ノ

ート(4)) 広谷喜十郎
大柳神社跡を訪ねて(2) 松本 紀郎
岡村庄造氏拓本集から(18) 岡村 庄造

◇158 2010.7 B5 61p

龍馬が須崎・黒岩の家に泊まりに
来たことがあるそうです
今井京子(旧姓黒岩)

神仏の加護と不思議(1) 山本華与子
しまなみ海道史跡めぐり 広谷喜十郎
難病病棟から鼓動(『高知新聞』
より) 田中小代子

民権ばあさん物語「馬とはちきん
さん」(8) 安政の大獄
久米生太子／藤本知子

望月清平と龍馬 岩崎 義郎
チエリ抄(12) 永国淳哉／藤本知子
桂浜の歴史もっと知って(『高知

新聞』より)
コラム 畑 毛利 俊男
戦艦「土佐」の運命 瀬戸 鉄男

富山丸の惨状知って 城西中で紙
芝居上演(『高知新聞』より)
戦後史「或る遺書について」

—きけ わだつみのこえ 毛利 俊男
香我美橋界隈(『土佐の民話』土
佐民話の会から) 藤本 知子

竹村東野と西森三蔵など
幕末ノート(4) 広谷喜十郎
「スナガモリ」夜話(1) 松本 紀郎

地名往来 轟橋(『高知新聞』より)
ジョン万次郎が初めて伝えた「お
お!スザンナ」(『朝日新聞』よ
り)

松本 sun 新聞(高知市愛宕中1年
3組3班)
渡辺松之丞(渡辺一寸) 資料

岡村庄造氏拓本集から(19) 岡村 庄造

九州・沖縄

◆九州史学 九州史学研究会

〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学文学部日本史学研究室内
TEL092-642-2375

www.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
◇155 2010.5 B5 65p
聖武・孝謙・称徳朝における仏教

の政治的意義—鑑真の招請と天
皇への授戒からみた 河上麻由子
城南寺祭の基礎的考察 齋藤 拓海

「応召代議士」の創出—太平洋戦
争期の「協賛」と「統帥」 官田 光史

◆年報 太宰府学 太宰府市市史資料室
〒818-0132福岡県太宰府市国分4-9-1 太宰
府市文化ふれあい館内 TEL092-921-2322

2007年創刊 dasaifu.mma.co.jp
◇4 2010.3 A4 84p
筑前怡土 怡土興福寺十一面観音

像について—西戒壇運照と京大
仏師照暁 八尋 和泉
太宰府の木鸞 柳 智子

研究ノート 太宰府の屋瓦—梅の
文様のある瓦 山村 信榮
資料紹介 永田権平翁民功碑 藤田 理子

少武氏関係文献目録 川添昭二／朱雀信城
市史資料室所蔵資料目録
永田家文書目録

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円

◇182 2010.6 B5 20p

阿弥陀如来坐像

唐津市指定文化財 志佐 惲彦
長谷川雪日の「西国写生」(2) 福井 尚寿
唐津に残った唯一の武家屋敷

(2)一大嶋邸の武家様式茶室と

信長の陣羽織 中里 紀元
殿様を困らせた大盗賊(1) 岸川 龍
鏡地区で手作り郷土本

今秋の発行へ編集中 田中 好美
恵日寺の朝鮮鐘 堀川 義英
考古学における唐津地方研究の成

果(17) ものと生活(5) アワ
ビオコシ(1) 田島 龍太
宇土の藤原鎌足宮 丸田 利實

古文書資料 往来手形 濱口 尚美
春の史跡探訪
—北薩摩と日向路の旅 坂本兵八郎
西都原古墳群と日向神話 松本 和典

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0002長崎県五島市中央町3-26
カメラのササキ内 TEL0559-72-2409

◇89 2010.5 A5 154p (抄)

「交友録」

市川団十郎及び市川猿之助 松原 剛
私の感動した短歌(15) 佐々木祥一
芸術の山・日光東照宮 田森テイ子

心温まる幼少の故郷回顧(5) 『ベ
ベンコ』哀歌—逞しい五島農民
の生活力 山中 彦昭

四万十に友人を訪ねるの記(2) 伴 靖子
五島歳時記「夕陽鑑賞会」 武羅井 高
寅年生まれの孫に寄せて 早瀬 栄子

雪の香 坂口 進
大学生活の思い出 小島 清
富江騒動始末記(4) 竹山 和昭

五島の椿を世界へ—五島椿森林公
園を国際優秀椿園に 比留木忠治
父の手紙に見る激動の「昭和」(5)

九州に於ける網捕鯨の始まり 内海 紀雄
荒木 文朗

◆国見物語 国見町郷土史研究会

〒872-1401国東市国見町伊美2300-1401
国東市教育委員会 国見分室
TEL0978-82-1115 年1000円 1981年創刊

◇29 2010.4 B5 105p 1000円

巻頭言 廣末九州男
別宮社秋季大祭と幟旗 栗本 清弘
下弘坊お堂の再建と村おこし 永井 輝生

姫島の十王像 前田 義隆
聞き慣れない神名を持つ石祠たち
廣末九州男

金丸組のお日待ち祭り 河野 昭一
寺川家の人々(1) 寺川騏一郎
特別寄稿 蘭方医古城玄洲と京城

に渡って活動した息子たち 石田 純郎
大蔵姓小串氏の研究(9) 小串 信正
西方山清浄光寺・許波多社のある

西方寺谷をたずねて 末綱 巖
県内研修「佐伯」の旅に参加して
廣末九州男

新春講演会 飯塚遺跡について 永松みゆき
戦時中の勤労奉仕 小串 重俊
太平洋戦争開戦時の姫島での生活

溝井 和子
随想「神」とは何か 園田 豊
井上靖のエッセイ「石濤」の舞台

裏を読み解く 岐部 豊
コラム 共同井戸ともらい風呂/
わき水と名水について

国見物語目次一覧 第1集～第10集
平成21年度事業報告
表紙写真説明 竹田津川に架かる

アーチ橋の石場橋

◆鹿児島民具 鹿児島民具学会

〒897-0004鹿児島県南さつま市加世田内山
田6278 G-101 井上賢一方
年2000円 1980年創刊

◇22 2010.3 B5 100p

序 知的興味の湧く泉 下野 敏見
白川のショケツクイドン 渡山 恵子
鹿児島県始良町の史跡に成育する

竹 濱田 甫
思島の盆行事 牧島 知子
種子島伊閔沖ヶ浜田のサトウスメ

(黒糖つくり)—阿久根脇本の黒
糖つくりと比較して 牧 洋一郎
トカラのサワラ漁法と漁具 下野 敏見

八重山諸島のドンソン文化 徳留 秋輝
南さつま市の伊勢講行事(1)
—加世田の伊勢講(1) 井上 賢一

徳之島井之川の民俗誌覚書
—和田キヨ姫のシマ語り 本田 碩孝
鹿児島民具学会例会発表要旨

2009年5月～2009年12月
市町村章に見る風土と文化(2) 有村 澄子
会誌『鹿児島民具』既刊号目次

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775
年4000円 1950年創刊

◇137 2010.6 B5 76p

表紙解説 砂盛と鉦・小太鼓打ち

などの飾り物 所崎 平
申木野 羽鳥太郎太郎祭見学記 所崎 平
資料 鹿児島県の昔話(1)

—荒武タミさんの昔話から 下野 敏見
『榎下吟社句集』について 牧 民郎
宮崎県諸県地方の魔仏毀釈 名越 護

空順法印日記について(7) 森田 清美
みんぞく・かわらばん
雲脂防止にお茶やアロエ 牧 民郎

アワビと鎖国・開国私考 小川 三郎
北海道での蛇の話探訪記覚書(1) 本田 碩孝
学会活動報告

◆徳之島郷土研究会報

〒891-7101鹿児島県大島郡徳之島町亀津
2918 徳之島町郷土資料館内
TEL0997-82-2908 年2000円

◇30 2010.3 B5 84+194p

那覇世前夜の徳之島(3) 琉球王
国による徳之島支配はいつから
始まったか? 日高 正太

徳之島民俗語彙誌(18) 川野 誠治
徳之島の語り部—松山光秀氏 川野 誠治
泉芳朗著作年譜 大村 達郎

北緯29度線の人為的境界線—地理
的・経済的・文化的面から 得岡誠二郎
徳之島高校における「郷土研究」

の取り組み—徳之島をどう教え
るか、どう位置づけるか 吉満 庄司
徳之島の闘牛文化 遠藤 智

徳之島高校県民大学「楽しく学ぶ
徳之島学」の記録 吉満 庄司
「松山光秀兄の郷土研究から学ぶ」

覚書 本田 碩孝
徳之島の自然—ヘビ(蛇)を通して
本田 碩孝

徳富重成氏の生活史覚書 本田 碩孝
伊仙町文化協会の歩み 重村 功

「戦後米軍統治下の奄美経済」の研究過程について 三上 絢子
徳「三家録」について—徳之島側の記録を通して薩摩侵攻「秋徳湊の戦い」を理解するために 義岡 明雄
徳之島の成り立ちと自然、そして農業 松岡 由紀
会報10号～16号までの内容紹介

◆沖繩研究ノート

共同研究—南島における民族と宗教
宮城学院女子大学キリスト教文化研究所
〒981-8557仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1
TEL022-277-6210 www.mgu.ac.jp/~kiriken/
◇19 2010.3 B5 76p

書評
比屋根照夫著『戦後沖繩の精神と思想』(明石書店、2009年、278頁) 今林 直樹
近藤健一郎著『近代沖繩における教育と国民統合』(北海道大学出版会、2006年) 割田 聖史
沖繩タイムス「長寿」取材班『沖繩が長寿でなくなる日』を読んで 土屋 純
公開研究会「琉球処分」について 我部 政男
茶と琉球人—近世九州の山村と琉球のあいだ 武井 弘一
島津氏支配下の琉球史像の転回—国家・社会・民衆 豊見山和行
南へのまなざし(3) 岩川 亮

◆季刊 沖繩 (助沖繩協会)

〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9 エー・ゼットキュウビル5階 TEL03-3552-2341
homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/
◇38 (15-1・2) 2010.4 A4 68p 300円

琉球弧の内発的発展 松島 泰勝
江戸立と琉球の文化芸能—琉球大学開学60周年記念事業から 宮城 隼夫
沖繩の古典音楽について—古典音楽の特徴、稽古風景点描 比嘉 康春
沖繩における公共交通機関の可能性—沖繩の生活・観光・産業の発展を目指すインフラストラクチャー 堤 純一郎
第30回沖繩研究奨励賞
受賞記念講演 熱帯感染症に対する組替えワクチンプラットフォームの創設 新川 武
受賞記念講演 沖繩島に移入されたマングースの素顔と対策のための技術開発 小倉 剛
勉学支援生 Interview
自分の選んだ道信じて 三島 清忠
Topics / 沖繩協会だより / 沖繩覚書

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013沖繩県宮古島市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
◇178 2010.5 B5 6p
5月定例会レジュメ 「朝鮮済州島人漂流史料」について(3) 事務局
6月定例会レジュメ 与那国攻入りについて—1532年説を考える 下地 和宏
「琉球の自治」を考える集いへの案内 5月15日市中央公民館で開かれる 下地 和宏
3月定例会のあらまし
『南島旅行見聞記』の紹介 仲宗根將二
第35回定期総会開かれる—宮古郷土史研究会 砂川 幸夫
追悼・敬愛する砂川明芳先生を偲

んで 郷土史への熱き思いに学ぶ 下地 和宏
池間島の〈民間社会学者〉
前泊徳正さん生誕百年 仲宗根將二
◇179 2010.7 B5 8p
7月定例会レジュメ 宮古の文学碑をたずねて 砂川幸夫／佐渡山政子
8月定例会レジュメ 仲宗根豊見親の八重山について(3)—忠導氏家譜の記録「嘉靖年間鬼虎討伐」をどうみるか 下地 利幸
朝鮮済州島人「見聞記」に学ぶ(3)—5月定例会より 下地 和宏
「与那国攻め入り」の年代考—6月例会より 下地 和宏
「ゆいまーる琉球の自治の集い in 宮古」 下地 和宏
「野原岳の変」を考える—「宮古島頭」創設とのからみで 下地 和宏
各学校で「平和学習」博物館では特別企画展と講話 仲宗根將二
新しい作家の誕生
平良好児賞に森田たもつ 宮川 耕次
市文化協会第5回定期総会開く
来間泰男教授著『稲作の起源・伝来と“海上の道”』 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆上北町史資料集 下 みちのく双書53
青森県文化財保護協会(〒030-0111 青森県青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内 TEL017-739-4211) 2010年3月 A5 181頁
1986年に刊行された『上北町史』上巻の編纂・執筆のために収集された資料を紹介する資料集下巻。上巻(2008年刊)、中巻(2009年刊)に引き続き、弘化3年徳万才村三助組「村高帳」をはじめとして明治3年にいたるまで、

戊辰戦争の影響をうけての七戸管内の農民と馬の移動に関する史料など、幕末・維新期の36点の史料を翻刻・収録する。

◆吉田屋源兵衛日記 第九冊の三

元治元年十月より
持館泰編 相馬郷土研究会(〒976-8601 福島県相馬市中村字大手先13 相馬市教育文化センター博物館内 TEL0244-37-2191) 2009年10月 A5 132頁 1500円
幕末から明治初年にかけて相馬藩の商人、吉田屋源兵衛によって書かれた日記『吉田屋日記』の翻刻版。本書には、水戸天狗党の乱をはじめ、いよいよ維新への道を歩みだした文久4年(1864(2月20日改元))の中村藩を中心とした世相を記した第9冊10月から12月の記事を取録する。付録として「慶応元年相馬中村四町棟割略図」を付す。

◆寒川町史調査報告書17 浜降祭日記(3)

寒川町史編集委員会編 寒川町(〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川町文書館 TEL0467-75-3691) 2010年3月 B5 210頁
調査報告書第12集(2002年3月)、第14集(2004年3月)に収録された明治14年(1881)から昭和4年(1929)までの浜降祭の記録に続き、昭和5年から14年までの浜降祭についての日記や回議文書等を綴った「自昭和五年至昭和十四年 浜降祭綴」(寒川神社文書)を翻刻する。解説 昭和初期の浜降祭について(圭室文雄)

◆遠山霜月祭

南信濃1 和田・八重河内・南和田編
飯田市美術博物館(〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655 TEL0265-22-8118)・遠山常民大学(〒399-0034 長野県飯田市南信濃和田1186 TEL0260-34-2364) 2010年3月 A4 205頁
飯田市上村・南信濃に伝承される国指定重要無形民俗文化財「遠山の霜月祭」のうち、南

信濃和田・南和田・八重河内地区の「遠山谷南部」地域に伝承される祭りについての調査報告書である。刊行に寄せて(深尾善一郎)／総説(遠山谷南部の立地と歴史的な環境、遠山霜月祭りの概観、遠山谷南部の祭りの概観)／霜月祭りをおこなう神社(和田・諏訪神社、八重河内・八幡社、大町・遠山天満宮、祭りの途絶えた神社)／祭りの内容—和田を中心に(事前の準備、宵祭り 前日(12月12日)の準備、祭場の設営と祭具、本祭り 本日(12月13日)、三日(サンニチ))／面／論考 遠山谷南部の霜月祭り—その特徴と秘められた意味(櫻井弘人)

◆収蔵資料調査報告書12

宇治市の写真資料2
宇治市歴史資料館編・刊(〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260) 2010年3月 B5 59頁

昨年刊行された収蔵資料調査報告書11に引き続き、1984年の開館以来収集してきた資料から、宇治市広報課が撮影した市制施行まもない時期の歴史的写真フィルムを中心に紹介する。市制施行直後の写真資料について／宇治市市政だより等掲載写真一覧／宇治市広報課撮影フィルム目録2／40年誌未使用写真フィルム目録／資料紹介 市政要覧掲載写真

◆神護寺領丹波国吉富荘故地調査報告書

八木町史編さん事業資料調査報告書2
八木町史編さん事業事務局・南丹市教育委員会社会教育課編 南丹市教育委員会(〒622-0000 京都府南丹市小桜町47 TEL0771-68-0055) 2009年3月 A4 131頁
八木町史編さん事業歴史資料調査の一環として実施した神護寺領丹波国吉富荘故地を対象とした荘園調査の報告書である。調査の概要／現地調査編(新庄用水と水利組織の概要、船枝地区、室橋地区、諸畑地区、野条地区、池上地区、日置地区、氷所地区)／調査のま

とめ 新庄用水の成立と展開(神村和輝)／特論1 断章・中世後期の吉富荘(坂本亮太)／特論2 船枝区有文書に見る帝釈天堂(三好英樹)／資料編(中世史料、近世史料、掲載史料一覧)／付図 新庄用水灌漑地域水利図

◆小畠文書調査報告書

八木町史編さん事業資料調査報告書3
八木町史編さん事業事務局・南丹市教育委員会社会教育課編 南丹市育委員会(同上) 2010年 A4 56頁
八木町史編さん事業歴史資料調査の一環として平成21年度に実施した「延喜式」船井郡十座のひとつである摩気神社蔵「小畠文書」(南丹市立文化博物館寄託資料)の調査報告書である。摩気神社蔵小畠文書の伝来(犬持雅哉)／摩気神社蔵小畠文書と小畠氏(神村和輝)／小畠氏文書一覧／目録編／史料編(中世文書、近世文書、近世帳簿)

◆茄子作村中西家文書の研究—小身旗本長井家の幕末維新 枚方市史年報別冊
馬部隆弘編著 枚方市立中央図書館市史資料室(〒573-1159 大阪府枚方市車塚2-1-1 TEL050-7105-8154) 2010年3月 B5 96頁
昭和61年(1986)の枚方市史完了後も毎年刊行されている『枚方市史年報』別冊の最新刊。河内国交野郡茄子作村の中西家文書のうち、安政3年から明治元年までの旗本長井家関係の書状群など52点(参考5点)を収録する。

◆三田市史8 考古編

三田市まちづくり部生涯学習支援室生涯学習課市史編さん担当編 三田市(〒669-1532 兵庫県三田市屋敷町12-27 TEL079-559-4466) 2010年3月 B5 980頁
『三田市史』全12巻のうちの第10回配本。地域の主要な遺跡174箇所を中心に、三田市の考古学的特色を総合的に明らかにする。旧石器時代(旧石器時代のあらし、旧石器時代の主要遺跡)／縄文時代(縄文時代のあらし、

縄文時代の主要遺跡)／弥生時代(弥生時代のあらし、弥生時代の主要遺跡)／古墳時代(古墳時代のあらし、古墳時代の主要遺跡)／奈良時代・平墳時代(考古学からみた奈良・平安時代、奈良・平安時代の主要遺跡)／中・近世の遺跡(考古学からみた中・近世、中・近世の主要遺跡と周辺遺跡)／市史編さんに伴う考古学的調査の成果(青龍寺裏山古墳群の調査、宮脇古墳群第12号墳の調査、岡ノ谷古墳の調査、東仲古墳の調査、沢山古墳群の調査)／三田市域遺跡一覧／文献一覧／写真・図・表目次／付図 三

田市遺跡分布図

◆新修米子市史だより 合冊号

新修米子市史完結を祝う会編 米子市史編さん関係資料整理担当(〒683-0822 鳥取県米子市中町20 TEL0859-22-7208) 2010年3月 A4 244頁

1996年3月に第1回配本「資料編 写真」を刊行して以来、18年を経て完結となった『新修米子市史』(全15巻)とともに終刊を迎えた『新修米子市史だより』の創刊号(1995年3月)から第30号(2010年2月)までを合本収録する。

◆後記

地方史研究雑誌の誌名は凡そ三種類に大別できる。「アイヌ語地名研究会会報」のように設置母体名を冠したもの、「屯田」(北海道屯田倶楽部)や「北海道地域文化研究」(北海道地域文化学会)のように研究対象を明らかにしたもの、そして、「文化情報」(北海道文化財保護協会)や本誌のように性格・用途を表現したものである。これらで全体の九割方が収まる。そうした中であって、新庄古文書の会(山形県)の「聴雪」は異色と云っていい。文学的な響きから何がしか連想するものはあったが、改めて事務局長の大場英一氏に照会したところ、果たして想像以上の感銘深い答えが返ってきた。送っていただいた同誌第10号の氏自身の巻頭文と、第11号の伊藤善一会長の巻頭文などによれば、誌名の由来は概ね次のとおりである。

創刊は1997年で、始めは「新庄古文書の会誌」として、手書きとワープロ印字交じりのコピー印刷で発行した。2006年に第10号を記念して講師の友義助氏に新誌名の命名を依頼し、巻号を継承して「聴雪」と改題した。命名に当たり友義氏は次のよう語った。「聴」は元来「容れる」「許す」の意であり、県庁が始め「県廳」と書いたのは、県民の声なき声を聞き入れる役所であったからである。雪国において、人間は元より草木、動物もが、学び取った知恵で巧みに雪と折り合いをつけて生きてきた。雪はまた、俗世の雑音を吸い取ってしまう大きな包容力がある。雪国の地で人々は黙々と暮らしてきた。古文書の学習は単に懐古趣味ではなく、そこに残されてきた古文書一枚一枚を、雪のかすかな声に聞き耳を立てる積りで読み取り、「由って来た」道を明らかにして、どう生きればよいのか、明日の社会はどうあるのが望ましいかを知らせてくれるものだと。まさに、地方史研究の在るべき姿勢を言い当てたこれ以上の言葉はあるまい。

長い後記になってしまったが、是非多くに皆さんに知っていただきたく紹介した次第である。「地方史情報」が第100号という一つの区切りを迎え、初心に立ち返ってさらに精進を重ねていかなければならないと考えていた時に、「聴雪」の素晴らしい思いに出会うことができたことは幸せであった。(飯澤)

地方史情報 100 2010年(平成22年)12月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 ☎03-3326-3757